

(様式第 10)

海 大 第 9 5 2 号
平成 3 0 年 1 0 月 2 3 日

厚生労働大臣

殿

北海道大学総長 名 和 豊 春 (印)

北海道大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 29 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
氏 名	国立大学法人北海道大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

国立大学法人北海道大学 北海道大学病院

3 所在の場所

〒060－8648 札幌市北区北14条西5丁目 電話(011) 716 － 1161
--

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1呼吸器内科 ②消化器内科 ③循環器内科 4腎臓内科 ⑤神経内科 ⑥血液内科 7内分泌内科 8代謝内科 9感染症内科 10アレルギー疾患内科またはアレルギー科 11リウマチ科	
診療実績 呼吸器内科、感染症内科、腎臓内科、内分泌内科、リウマチ科及び代謝内科は内科、アレルギーは耳鼻咽喉科が当該医療の提供を行っている。	

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 ③乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 6心臓血管外科 7内分泌外科 ⑧小児外科	
診療実績 心臓外科、血管外科及び心臓血管外科は循環器外科、内分泌外科は乳腺外科が当該医療の提供を行っている。	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 7産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 ①小児歯科 ②矯正歯科 ③口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 腫瘍内科	2 循環器外科	3 形成外科	4 リハビリテーション科	5 病理診断科	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21			

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精 神	感染症	結 核	療 養	一 般	合 計
70床	0床	0床	0床	874床	944床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	246人	387人	516.1人	看 護 補 助 者	129人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	100人	126人	155.1人	理 学 療 法 士	16人	臨床検査技師	80人
薬 剤 師	64人	0人	64人	作 業 療 法 士	9人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	10人	そ の 他	0人
助 産 師	19人	0人	19人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	856人	27人	883人	臨 床 工 学 士	19人	医療社会事業従事者	22人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	10人
歯科衛生士	12人	0人	12人	歯 科 技 工 士	5人	事 務 職 員	308人
管理栄養士	7人	0人	7人	診療放射線技師	55人	そ の 他 の 職 員	142人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	69人	眼 科 専 門 医	22人
外 科 専 門 医	64人	耳鼻咽喉科専門医	14人
精 神 科 専 門 医	18人	放 射 線 科 専 門 医	37人
小 児 科 専 門 医	40人	脳神経外科専門医	18人
皮 膚 科 専 門 医	12人	整 形 外 科 専 門 医	39人
泌尿器科専門医	18人	麻 酔 科 専 門 医	27人
産婦人科専門医	21人	救 急 科 専 門 医	19人
		合 計	418人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (寶金清博) 任命年月日 平成25年4月1日

「リスクマネジメント委員会委員」	
ME機器管理センター長	平成22年4月1日～
医療安全管理部長（副病院長）	平成22年9月1日～
病院長	平成25年4月1日～現在に至る

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	745.7人	14.2人	759.9人
1 日当たり平均外来患者数	2,342.1人	688.6人	3,030.7人
1 日 当 たり 平 均 調 剤 数	1,227.9 剤		
必要医師数	211.0人		
必要歯科医師数	38.0人		
必要薬剤師数	26.0人		
必要（准）看護師数	483.0人		

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施 設 名	床面積	主要構造	設 備		概 要	
集中治療室	920m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病 床 数	10床	心 電 計	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
			人工呼吸装置	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	心細動除去装置	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
			その他の救急蘇生装置	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	ペースメーカー	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 222m ²		病床数		6床	
	[移動式の場合] 台 数					
医 薬 品 情報管理室	[専用室の場合] 床 積 13m ²		[共用室の場合] 共用する室名			
化学検査室	93m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	173m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) オートクレーブ			
病理検査室	799m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 切り出し台			
病理解剖室	208m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 剖検台			
研 究 室	2,031m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備) 安全キャビネット			
講 義 室	37m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	1室	収容定員	50人
図 書 室	178m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	4室	蔵 書 数	1,400冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		86. 6%	逆紹介率		46. 1 %
算出根拠	A：紹介患者の数		14,997人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,376人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		744人		
	D：初診の患者の数		18,168人		

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
大島寿美子	北星学園大学		医師・患者関係に精通	無	2
加藤紘之	斗南病院		医療安全に精通	無	1
橋本暁良	札幌医科大学		医療安全に精通	無	1
中村隆	札幌総合法律事務所	○	法律に精通	無	1
生駒一憲	北海道大学病院		医療を提供する者	有	3

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本学ホームページ及び本院ホームページ	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
陽子線治療	57人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経胎盤的抗不整脈薬投与療法	0人
オクトレオチド皮下注射療法	1人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のデモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにデモゾロミド内服投与の維持療法	2人
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	3人
11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断	11人
リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法	1人
周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法	0人
デモゾロミド用量強化療法	0人
11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断	11人
陽子線治療（肝細胞がん）	3人
陽子線治療（肝内胆管がん）	0人
膀胱癌腹膜転移に対するS-1+パクリタキセル経静脈腹腔内投与併用療法	0人
陽子線治療（根治切除が可能な肝細胞がん）【陽子線治療を実施する施設】	0人
マルチプレックス遺伝子検査（進行再発固形がん）	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	9	56	ベーチェット病	220
2	筋萎縮性側索硬化症	24	57	特発性拡張型心筋症	84
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	64
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	9	60	再生不良性貧血	49
6	パーキンソン病	212	61	自己免疫性溶血性貧血	5
7	大脳皮質基底核変性症	12	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	3	63	特発性血小板減少性紫斑病	98
9	神経有棘赤血球症	2	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トウス病	0	65	原発性免疫不全症候群	40
11	重症筋無力症	70	66	IgA 腎症	33
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	144
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	98	68	黄色靱帯骨化症	14
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	17	69	後縦靱帯骨化症	109
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	4
16	クロー・深瀬症候群	3	71	特発性大腿骨頭壊死症	162
17	多系統萎縮症	30	72	下垂体性ADH分泌異常症	50
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	149	73	下垂体性TSH分泌亢進症	9
19	ライソゾーム病	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	13
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	34
21	ミトコンドリア病	13	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	163	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	99
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	260
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	1	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	25
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	2
28	全身性アミロイドーシス	14	83	アジソン病	3
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	300
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	34
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	33
32	自己食食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	34
34	神経線維腫症	40	89	リンパ脈管筋腫症	21
35	天疱瘡	62	90	網膜色素変性症	41
36	表皮水疱症	8	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	15	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性肝硬変	78
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	8
40	高安動脈炎	64	95	自己免疫性肝炎	28
41	巨細胞性動脈炎	5	96	クローン病	121
42	結節性多発動脈炎	32	97	潰瘍性大腸炎	221
43	顕微鏡的多発血管炎	46	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	23	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	10	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	14	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	20	102	ルビンシュタイン・ティビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	103	CFC症候群	1
49	全身性エリテマトーデス	504	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	163	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	115	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	51	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	346	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	17	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	7	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	32
113	筋ジストロフィー	6	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	5
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	8
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181	クルーゾン症候群	1
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	2
142	ミオクロニー欠神てんかん	1	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	3	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	3	210	単心室症	1

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	3
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	49	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	271	強直性脊椎炎	8
224	紫斑病性腎炎	4	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	7	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	5	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	4	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	4	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンconi貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	3
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	4
249	グルタル酸血症1型	1	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性腭炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	1	300	IgG4関連疾患	8
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	1	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	1	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	12

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナパン病	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／L MX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	1	330	先天性気管狭窄症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1 精神病棟13対1)	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・臨床研修病院入院診療加算 1基幹型 2協力型	・救急搬送患者地域連携受入加算
・救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・超急性期脳卒中加算	・後発医薬品使用体制加算2
・妊産婦緊急搬送入院加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・医師事務作業補助体制加算1	・データ提出加算2
・急性期看護補助体制加算1	・入退院支援加算2
・看護職員夜間配置加算	・認知症ケア加算2
・看護補助加算2	・精神疾患診療体制加算2
・療養環境加算	・精神科急性期医師配置加算
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室管理料3, 4
・無菌治療室管理加算1及び2	・総合周産期特定集中治療室管理料 (母体・胎児集中治療室管理料)
・緩和ケア診療加算	・総合周産期特定集中治療室管理料 (新生児集中治療室管理料)
・精神科身体合併症管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・小児入院医療管理料2
・摂食障害入院医療管理加算	・地域歯科診療支援病院歯科初診料
・がん診療連携拠点病院加算	・歯科外来診療環境体制加算
・医療安全対策加算1	・歯科診療特別対応連携加算
・感染防止対策加算1	
・感染防止対策地域連携加算	
・抗菌薬適正使用支援加算	
・患者サポート体制充実加算	
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
・ハイリスク妊娠管理加算	
・ハイリスク分娩管理加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・植込型除細動器移行期加算	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・高度難聴指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・喘息治療管理料	・持続血糖測定器加算
・糖尿病合併症管理料	・造血器腫瘍遺伝子検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・遺伝学的検査
・がん患者指導管理料1	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)
・がん患者指導管理料2	・抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・がん患者指導管理料3	・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
・外来緩和ケア管理料	・検体検査管理加算(IV)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後、造血幹細胞移植後)	・国際標準検査管理加算
・糖尿病透析予防指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・小児運動器疾患指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・時間内歩行試験
・外来放射線照射診療料	・胎児心エコー法
・ニコチン依存症管理料	・ヘッドアップティルト試験
・療養・就労両立支援指導料の注2に規定する相談体制充実加算	・人工膀胱
・がん治療連携計画策定料	・皮下連続式グルコース測定
・がん治療連携管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・肝炎インターフェロン治療計画料	・長期脳波ビデオ同時記録検査1
・排尿自立指導料	・脳磁図(旧 神経磁気診断)
・ハイリスク妊産婦連携指導料1 ハイリスク妊産婦連携指導料2	・脳波検査判断料1
・薬剤管理指導料	・遠隔脳波診断
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・神経学的検査
・医療機器安全管理料1	・補聴器適合検査
・医療機器安全管理料2&歯科	・ロービジョン検査判断料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・小児食物アレルギー負荷検査	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・内服・点滴誘発試験	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る)
・センチネルリンパ節生検(併用)	・医療保護入院等診療料
・CT透視下気管支鏡検査加算	・硬膜外自家血注入
・画像診断管理加算1(歯科以外)	・エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)
・ポジトロン断層撮影 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・人工腎臓
・CT撮影及びMRI撮影	・導入期加算2
・冠動脈CT撮影加算	・透析液水質確保加算
・心臓MRI撮影加算	・慢性維持透析濾過加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・一酸化窒素吸入療法
・外来化学療法加算1	・磁気による膀胱等刺激法
・無菌製剤処理料	・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算
・心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ	・皮膚移植術(死体)
・初期加算	・組織拡張器による再建手術[乳房(再建手術)の場合に限る]
・脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ	・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る)
・初期加算	・腫瘍脊椎骨全摘術
・運動器リハビリテーション料Ⅰ	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・初期加算	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。) 脳刺激装置交換術
・呼吸器リハビリテーション料Ⅰ	・脊髄刺激装置植込術 脊髄刺激装置交換術
・初期加算	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
・がん患者リハビリテーション料	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・児童思春期精神科専門管理加算	・緑内障手術[緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの)]
・救急患者精神科継続支援料	・緑内障手術[水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術]
・認知療法・認知行動療法1	・網膜再建術
・精神科作業療法	・人工内耳植込術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工内耳植込術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腹腔鏡下肝切除術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・生体部分肝移植術
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る) 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る)	・同種死体肝移植術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・肺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
・食道縫合術(穿孔、損傷)等(内視鏡によるもの)	・同種死体膵移植術 同種死体膵腎移植術
・経皮的冠動脈形成術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・経皮的大動脈弁置換術	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・ペースメーカー移植術 ペースメーカー交換術 リードレスペースメーカー移植術	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・植込型心電図記録計移植術 植込型心電図記録計摘出術	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・両心室ペースメーカー移植術 両心室ペースメーカー交換術	・同種死体腎移植術
・植込型除細動器移植術 植込型除細動器交換術	・生体腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術 両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	・膀胱水圧拡張術
・経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・大動脈バルーンポンピング法(IABP法)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・同種心移植術	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・胃瘻造設術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・腹腔鏡下胃切除術等(内視鏡支援機器を用いるもの)	・輸血管理料 I
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・コーディネート体制充実加算
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・粒子線治療 1 希少な疾病にたいして実施した場合 □ 陽子線治療の場合 ※先進医療で実施されていた疾患について保険適用	・
・粒子線治療 2 1以外の特定の疾病に対して実施した場合 □ 陽子線治療の場合 ※先進医療で実施されていた疾患について保険適用	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1,044回(突発的な移植カンファは入れていません)
剖 検 の 状 況	剖検症例数 34例 / 剖検率 7.3%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
網羅的がん遺伝子検査による膵がん個別化治療の実現可能性の検証に関する研究	林 秀幸	がん遺伝子診断部	1,170,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：門間 太輔	門間 太輔	スポーツ医学診療科	1,000,000	補委	日本スポーツ治療医学研究会
歩行律動同期型脳・末梢神経筋ハイブリッド刺激による神経可塑性誘導と歩行機能回復	小金丸 聡子	リハビリテーション科	3,250,000	補委	日本学術振興会
イオマゼニルSPECTとMRI拡散尖度画像を用いた高次脳機能障害の脳機能解析	生駒 一憲	リハビリテーション科	1,560,000	補委	日本学術振興会
高齢ラットにおけるストレッチによる筋力増強効果の分子生物学的検討	池田 聡	リハビリテーション科	1,560,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：堀 弘明	堀 弘明	リハビリテーション科	680,000	補委	日本理学療法士学会
統合失調症に対する認知リハビリテーションが脳の神経活動に与える効果の解明	井上 貴雄	リハビリテーション部	1,820,000	補委	日本学術振興会
瞑想が外傷性脳損傷患者の脳活動、認知機能に与える影響	吉田 一生	リハビリテーション部	1,170,000	補委	日本学術振興会
ダイナミック CT による虚血性心疾患の定量評価と被ばく量軽減の試み	加藤 千恵次	核医学診療科	1,430,000	補委	日本学術振興会
Precision Medicine時代を切り拓く11C標識メチオニンの脳腫瘍診断に関する研究－薬剤自動合成装置の医療機器承認取得を目指して－	志賀 哲	核医学診療科	84,646,000	補委	日本医療研究開発機構
[18F]DiFAによる革新的がん診断PET低酸素イメージングシステム	志賀 哲	核医学診療科	53,820,000	補委	日本医療研究開発機構
131I-MIBG内照射療法患者登録・治療実施、治療実施環境整備の有効性検証	志賀 哲	核医学診療科	1,300,000	補委	日本医療研究開発機構
PET用低酸素イメージング薬剤であるFMISOを用いた心サルコイドーシスの評価	真鍋 治	核医学診療科	1,820,000	補委	日本学術振興会
新規放射性薬剤IIMUによる頭頸部癌化学療法の治療前効果予測法の確立	平田 健司	核医学診療科	1,950,000	補委	日本学術振興会
咬合違和感症候群と口腔内知覚閾値の関連性－脳磁図にSPM解析を応用した定量評価－	佐藤 華織	冠橋義歯補綴科	1,560,000	補委	日本学術振興会
睡眠時咀嚼筋活動の発現パターン解析による睡眠時無呼吸症候群スクリーニングへの挑戦	斎藤 未来	冠橋義歯補綴学教室（冠橋義歯補綴科）	400,000	補委	日本学術振興会
マルチセンターリサーチによる日中覚醒時ブラキシズムの診断基準確立への挑戦	山口 泰彦	冠橋義歯補綴科	8,470,000	補委	日本学術振興会
歯肉縁下支台歯形態の光学印象法への挑戦－近赤外光拡散シミュレーションの応用－	上田 康夫	冠橋義歯補綴科	1,300,000	補委	日本学術振興会
FGF23シグナル破綻における骨・血管のカルシウムパラドックス	長谷川 智香	冠橋義歯補綴科	2,210,000	補委	日本学術振興会
顎口腔疾患の病態形成におけるエpiジェネティックな制御機構の解明	浮田 万由美	冠橋義歯補綴科	1,170,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：公益財団法人秋山記念生命科学振興財団：浮田 万由美	浮田 万由美	冠橋義歯補綴科	500,000	補委	秋山記念生命科学振興財団
結膜EMZLにおけるRAS系の関与	安藤 亮	眼科	1,170,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
糖尿病網膜症における α -クリスタリンのリン酸化機序	加瀬 諭	眼科	1,560,000	補委	日本学術振興会
眼部腫瘍の全国症例登録システムの構築に関する研究	加瀬 諭	眼科	650,000	補委	国立がん研究センター
アンジオポエチン2阻害によるぶどう膜炎軽症化の検討	岩田 大樹	眼科	1,300,000	補委	日本学術振興会
受容体結合プロレニン系を標的とした網脈絡膜疾患治療戦略の確立	石田 晋	眼科	4,160,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：石田 晋	石田 晋	眼科	200,000	補委	(財)伊藤医薬学術交流財団
糖尿病網膜症における血管内皮増殖因子受容体の糖鎖変化	石田 晋	眼科	1,820,000	補委	日本学術振興会
人工多能性幹細胞由来のマクロファージ様免疫抑制性細胞を用いたぶどう膜網膜炎の制御	南場 研一	眼科	1,430,000	補委	日本学術振興会
正常眼圧緑内障モデルマウスにおける熱ショック蛋白質を介した網膜神経保護	木嶋 理紀	眼科	1,430,000	補委	日本学術振興会
糖尿病網膜症におけるポリアミン代謝経路の病態関与	野田 航介	眼科	1,560,000	補委	日本学術振興会
新規開発したハイドロキシアパタイト薄膜処理によるインプラント治療適応拡大への挑戦	伊藤 達郎	義歯補綴科	1,430,000	補委	日本学術振興会
スマートナノバイオマテリアルの開発と口腔領域における臨床応用への展開	横山 敦郎	義歯補綴科	4,810,000	補委	日本学術振興会
義歯作製治療時のストレス解析とハグ・抱擁効果を応用した新たなストレス緩和法の構築	後藤 まりえ	義歯補綴科	910,000	補委	日本学術振興会
咬合、咀嚼機能と姿勢の相互関連性に関する包括的探索	坂口 究	義歯補綴科	650,000	補委	日本学術振興会
高機能化カーボンナノホーンを応用した新たなGBR法の開発	小松原 浩実	義歯補綴科	1,690,000	補委	日本学術振興会
カーボンナノ物質修飾による革新的表面構造を有するインプラントの開発	平田 恵理	義歯補綴科	1,300,000	補委	日本学術振興会
オッセオインテグレーション関連因子を用いた新規インプラント周囲骨再生治療の開発	堀内 留美	義歯補綴科	2,730,000	補委	日本学術振興会
自然免疫炎症反応・凝固線溶反応の心停止蘇生後臓器不全への関与	丸藤 哲	救急科	6,060,000	補委	日本学術振興会
矯正学的持続的機械ストレス環境におけるポドプラニン依存性骨再生機構に関する研究	金 壯律	矯正歯科	1,300,000	補委	日本学術振興会
エナメル質を保全できる矯正歯科治療一大気圧低温プラズマと蛍光物質の応用一	山方 秀一	矯正歯科	910,000	補委	日本学術振興会
薬剤徐放作用をもつ新規歯科矯正用接着材の開発	中西 康	矯正歯科	1,430,000	補委	日本学術振興会
呼吸器上皮に存在するM細胞の生理的・病理的条件における機能の解明	武藤 麻未	矯正歯科	1,430,000	補委	日本学術振興会
乳歯歯髓由来幹細胞による未分化維持機構の同定	福島 久夢	矯正歯科	910,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
郭清術後のリンパ組織再構築術～悪性黒色腫予後の改善を目指して！	古川 洋志	形成外科	5,720,000	補委 日本学術振興会
機能的リンパ組織移植法の開発！	山本 有平	形成外科	5,850,000	補委 日本学術振興会
マクロファージ-筋線維芽細胞系を標的とした慢性GVHD治療法の開発	橋本 大吾	血液内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：橋本 大吾	橋本 大吾	血液内科	3,000,000	補委 持田記念医学薬学振興財団
次世代シーケンスによる再発難治性急性白血病のゲノム構造の解析	小野澤 真弘	血液内科	1,820,000	補委 日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：小野澤 真弘	小野澤 真弘	血液内科	1,000,000	補委 SGH財団
奨学寄附金：医学研究資金：中川 雅夫	中川 雅夫	血液内科	1,000,000	補委 先進医薬研究振興財団
奨学寄附金：医学研究資金：中川 雅夫	中川 雅夫	血液内科	2,000,000	補委 武田科学振興財団
GVHDによる腸内フローラ異常の網羅的解析と治療法の開発	豊嶋 崇徳	血液内科	4,550,000	補委 日本学術振興会
移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間HLA半合致移植法の開発研究	豊嶋 崇徳	血液内科	5,460,000	補委 日本医療研究開発機構
豊嶋 崇徳：骨髄造血と腸内フローラのクロストーク	豊嶋 崇徳	血液内科	2,340,000	補委 日本学術振興会
間葉系幹細胞を用いた広範囲内視鏡的直腸粘膜下層剥離術後狭窄の予防法の開発	桂田 武彦	光学医療診療部	1,430,000	補委 文部科学省
抗菌薬3剤併用による難治性潰瘍性大腸炎の治療	桂田 武彦	光学医療診療部	59,799,999	補委 日本医療研究開発機構
間葉系幹細胞の培養上清を用いた内視鏡的粘膜下層剥離術後の食道狭窄予防	小野 尚子	光学医療診療部	1,300,000	補委 文部科学省
早期食道腺癌・接合部腺癌の蛍光プローブによる検出に関する多施設共同研究	山本 桂子	光学医療診療部	1,560,000	補委 文部科学省
HuRをターゲットとした分子標的薬の開発～がんの制御を目指して～	格口 渉	口腔外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
顎口腔領域疾患において喪失された骨の再生メカニズムの解明	山田 珠希	口腔外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
導電性ナノマテリアルを応用した生体再建材料の開発	松岡 真琴	口腔外科	390,000	補委 日本学術振興会
関節窩内での関節頭位置描出への挑戦ー精度の高い外科的矯正治療を目指してー	松下 和裕	口腔外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
奨学寄附金：歯学研究資金：松下 和裕	松下 和裕	口腔外科	100,000	補委 伊藤医薬学術交流財団
がんの進展に伴う腫瘍血管内皮マーカーの発現ダイナミクスの解明	松田 光平	口腔外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
骨吸収抑制剤の休薬は顎骨壊死発症の予防に有効か？マウスによる検討	鄭 漢忠	口腔外科	1,820,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
低酸素誘導因子を標的とした分子イメージング支援新規口腔癌治療戦略の確立にむけて	宮腰 昌明	口腔内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
交感神経活動の変化が慢性咀嚼筋障害の治療効果や筋病理・筋活動に及ぼす影響	佐藤 淳	口腔内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
腫瘍血管内皮サイトカインレセプターの口腔癌の予後予測診断法への応用	佐藤 千晴	口腔内科	2,340,000	補委	日本学術振興会
マクロファージをターゲットにしたBRONJ発症機序の解明と治療法の開発	佐藤 明	口腔内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
MRONJへの多血小板フィブリンによる治療戦略とPETを用いた新規評価法の確立	浅香 卓哉	口腔内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
効率的な抗がん剤治療を目指したPET低酸素分子イメージングと腫瘍血管の対比検討	大賀 則孝	口腔内科	1,820,000	補委	日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死の積極的な治療法の開発－マウスによる検討	中村 裕介	口腔内科	2,347,476	補委	日本学術振興会
肥満II型糖尿病モデルSDT fattyラット顎骨におけるビスホスホネートの作用	坪井 香奈子	口腔内科	2,340,000	補委	日本学術振興会
骨特異性血管と骨芽細胞系細胞の細胞連携に関する組織化学的アプローチ	土屋 恵李佳	口腔内科	1,430,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：土屋 恵李佳	土屋 恵李佳	口腔内科	200,000	補委	伊藤医薬財団
ビスホスホネート関連顎骨壊死に対する高気圧酸素療法のPETと骨シンチによる評価	北川 善政	口腔内科	300,000	補委	日本学術振興会
治療抵抗性を反映した革新的分子イメージングに基づく新しい口腔癌治療戦略	北川 善政	口腔内科	4,810,000	補委	日本学術振興会
奨学寄付金：歯学研究資金：北川 善政	北川 善政	口腔内科	250,000	補委	伊藤医薬財団
奨学寄付金：歯学研究資金：北川 善政	北川 善政	口腔内科	200,000	補委	杉野芽財団
低侵襲化をめざした口唇口蓋裂治療体系の開発と多施設比較による有効性の検証	三古谷 忠	高次口腔医療センター	1,430,000	補委	日本学術振興会
血管内皮細胞の異常性の獲得に対し低酸素環境が及ぼす影響に関する研究	近藤 美弥子	高齢者歯科	1,430,000	補委	日本学術振興会
口腔扁平上皮癌のリンパ節転移能の獲得に伴う免疫抑制機構の改変とその調節因子の制御	山崎 裕	高齢者歯科	65,000	補委	日本学術振興会
唾液を用いたフローサイトメトリー解析による難治性口腔粘膜疾患の病因解明への挑戦	山崎 裕	高齢者歯科	1,300,000	補委	日本学術振興会
麻酔薬による担癌動物の免疫抑制環境の改変と癌悪性化の分子機構	山崎 裕	高齢者歯科	130,000	補委	日本学術振興会
機能獲得型変異TP53による口腔がんの悪性化進展の機序解析	中澤 誠多朗	高齢者歯科	1,170,000	補委	日本学術振興会
生体モデル膜および培養細胞における全身麻酔薬の作用部位に関する研究	渋谷 真希子	歯科麻酔学教室（歯科麻酔科）	1,200,000	補委	日本学術振興会
ナノテクノロジーの保存修復学への応用	松本 真理子	歯冠修復科	1,950,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
新たな根面う蝕治療に向けたバイオアクティブ材料とナノテク材料の応用	田中 享	歯冠修復科	1,560,000	補委	日本学術振興会
自律神経活動モニターシステムと精神鎮静法を用いた安心・安全な高齢者歯科治療の確立	下地 伸司	歯周・歯内療法科	1,820,000	補委	日本学術振興会
高周波電流で細胞の増殖と分化を促進する革新的骨再生療法の開発	菅谷 勉	歯周・歯内療法科	1,300,000	補委	日本学術振興会
Ag/ナノカーボンを用いた抗菌性スキャフォールドの開発と歯周組織再生効果	西田 絵利香	歯周・歯内療法科	1,300,000	補委	日本学術振興会
高齢者歯科治療時のリスク改善に効果的な精神鎮静法の応用方法の確立	竹生 寛恵	歯周・歯内療法科	1,300,000	補委	日本学術振興会
α TCP複合化レジンとBMP-2を用いたインプラント周囲炎の治療法の開発	中塚 愛	歯周・歯内療法科	1,430,000	補委	日本学術振興会
骨細胞による周囲骨基質の溶解および石灰化沈着における微細構造学的検索	本郷 裕美	歯周・歯内療法科	1,430,000	補委	日本学術振興会
複数のスキャホールドを用いた新規空間的ドラッグデリバリーシステムの開発	齋藤 恵美子	歯周・歯内療法科	2,470,000	補委	日本学術振興会
遺伝子変異および発現分子解析に基づく外耳道扁平上皮癌に対する治療戦略構築	森田 真也	耳鼻咽喉科	2,080,000	補委	文科省
アレルギー性鼻炎の根治を指向したSIRT1活性化剤の基礎的研究	中丸 裕爾	耳鼻咽喉科	1,040,000	補委	文科省
眼球運動-前庭系相互作用を利用した新しい平衡リハビリテーションの開発	藤原 圭志	耳鼻咽喉科	650,000	補委	文科省
奨学寄附金：医学研究資金：藤原 圭志	藤原 圭志	耳鼻咽喉科	200,000	補委	国際耳鼻咽喉科学振興会
ゲノム、プロテオーム解析による後天性真珠腫シグナル伝達ネットワークの解明	福田 篤	耳鼻咽喉科	1,040,000	補委	文科省
進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発に関する研究	本間 明宏	耳鼻咽喉科	20,000,000	補委	AMED
奨学寄附金：医学研究資金：鈴木 崇祥	鈴木 崇祥	耳鼻咽喉科	200,000	補委	伊藤医薬学術交流財団
好酸球性副鼻腔炎の根治を施行したSIRT-1活性化剤の基礎的研究	鈴木 正宣	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委	文科省
IL-6による免疫抑制を介した大腸がん肝転移機構の解明と新規治療法開発	高橋 典彦	手術部	1,430,000	補委	日本学術振興会
HER2陽性再発転移の唾液腺癌に対する個別化治療の開発	秋田 弘俊	腫瘍内科	45,000,000	補委	AMED
PD-L1の遺伝子変異および糖鎖修飾の意義とバイオマーカー開発に関する研究	秋田 弘俊	腫瘍内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：秋田 弘俊	秋田 弘俊	腫瘍内科	2,000,000	補委	喫煙科学研究財団
糖転移酵素を標的とする非小細胞肺癌の創薬シーズ創出に関する研究	本間 理央	腫瘍内科	1,300,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：木下 一郎	木下 一郎	腫瘍内科	1,000,000	補委	秋山記念生命科学振興財団

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
非小細胞肺癌における抗癌薬耐性化の克服を目指したヒストン修飾酵素阻害療法の開発	木下 一郎	腫瘍内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
熱可塑性樹脂と熱伝導部材を用いた術中変形可能な新しい人工弁輪の開発	松居 喜郎	循環器・呼吸器外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
経カテーテル大動脈弁置換術の有効性・最適化・費用対効果を明らかにする研究	安斉 俊久	循環器内科	8,302,774	補委	日本医療研究開発機構
循環器緩和ケアにおける診療の質評価に関する研究	安斉 俊久	循環器内科	7,818,795	補委	日本医療研究開発機構
奨学寄附金：医学研究資金：永井 利幸	永井 利幸	循環器内科	1,000,000	補委	大和証券ヘルス財団
免疫応答に着目した心臓サルコイドーシスに対する新規診断法およびリスク層別法の開発	永井 利幸	循環器内科	56,518	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：永井 利幸	永井 利幸	循環器内科	3,000,000	補委	ファイザーヘルスリサーチ振
心血管病における心臓周囲脂肪ミトコンドリアの役割	横田 卓	循環器内科	1,170,000	補委	日本学術振興会
ナノカプセルを用いた拡張型心筋症に対するミトコンドリアをターゲットとした新規治療法の開発	絹川 真太郎	循環器内科	20,280,000	補委	日本医療研究開発機構
奨学寄附金：医学研究資金：相川 忠夫	相川 忠夫	循環器内科	2,000,000	補委	上原記念生命科学財団
奨学寄附金：医学研究資金：相川 忠夫	相川 忠夫	循環器内科	300,000	補委	福田記念医療技術振興財団
奨学寄附金：医学研究資金：相川 忠夫	相川 忠夫	循環器内科	300,000	補委	立石化学技術振興財団
奨学寄附金：医学研究資金：相川 忠夫	相川 忠夫	循環器内科	1,000,000	補委	日本心臓財団
経皮的冠動脈形成術および冠動脈バイパス術の冠血流量予備能に対する効果の検討	納谷 昌直	循環器内科	1,560,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：福島 新	福島 新	循環器内科	500,000	補委	喫煙科学研究財団
奨学寄附金：医学研究資金：福島 新	福島 新	循環器内科	1,000,000	補委	宮田心臓病研究振興基金
奨学寄附金：医学研究資金：福島 新	福島 新	循環器内科	500,000	補委	石本記念デサントスポーツ科
奨学寄附金：医学研究資金：福島 新	福島 新	循環器内科	2,000,000	補委	武田科学振興財団
先天性心疾患におけるアセチル化修飾の役割の検討	福島 新	循環器内科	2,730,000	補委	日本学術振興会
歯牙種発症に関する研究	菊入 崇	小児・障害者歯科	1,820,000	補委	日本学術振興会
幼少期身体抑制を経験したラットのストレス反応性亢進と大脳辺縁系及び視床下部の関係	吉原 俊博	小児・障害者歯科	1,300,000	補委	日本学術振興会
ポリフェノールを応用した生活歯髄切断材料の開発	中村 光一	小児・障害者歯科	780,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
複雑な乳歯根管系の制御ー確実な歯根吸収抑制と吸収部修復機構発現の解明ー	八若 保孝	小児・障害者 歯科	1,820,000	補委 日本学術振興会
治験の実施に関する研究 [ブレンツキシマブベドチン]	井口 晶裕	小児科	348,000	補委 日本医師会
難治性神経芽腫に対するIL2、CSF併用ch14.18免疫療法の国内臨床開発	井口 晶裕	小児科	1,000,000	補委 地方独立行政法人大阪市民
活性化壁側上皮細胞に着目した新規治療標的の探索	岡本 孝之	小児科	1,170,000	補委 日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：岡本 孝之	岡本 孝之	小児科	500,000	補委 秋山記念生命科学振興財団
アンジェルマン症候群における認知記憶機能障害のメカニズムと治療法の探索	江川 潔	小児科	1,430,000	補委 日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：江川 潔	江川 潔	小児科	1,100,000	補委 母子健康協会
奨学寄附金：医学研究資金：竹崎 俊一郎	竹崎 俊一郎	小児科	1,000,000	補委 秋山記念生命科学振興財団
インプリンティング疾患の病因病態解明	中村 明枝	小児科	1,300,000	補委 国立成育医療研究センター
偽性副甲状腺機能低下症1bにおけるインプリンティング異常発症機序の解明	中村 明枝	小児科	1,848,328	補委 日本学術振興会
治験の実施に関する研究 [WT1ペプチドワクチン]	長 祐子	小児科	400,000	補委 日本医師会
限局性皮質異形成II型のでんかん発作に対するシロリムスの有効性と安全性に関する無対照非盲検医師主導治験	白石 秀明	小児科	1,600,000	補委 昭和大学
子どもの言語機能はどのように形成され修復されるのか？ー脳磁図による検討ー	白石 秀明	小児科	1,560,000	補委 日本学術振興会
Imaging技術を基盤としたミトコンドリア心筋症の診断法・新診断基準の確立	武田 充人	小児科	1,430,000	補委 日本学術振興会
バイオマーカーを用いた川崎病急性期治療法選択に関する研究	武田 充人	小児科	300,000	補委 日本医科大学病院
ミトコンドリア病診療マニュアルの改定を見据えた、診療に直結させるミトコンドリア病・各臨床病型のエビデンス創出研究	武田 充人	小児科	450,000	補委 千葉がんセンター
単心室循環症候群の患者記録の後方視的調査	武田 充人	小児科	520,000	補委 東京女子医科大学
原発性免疫不全症に対するex vivo遺伝子・細胞治療の治験実施体制の構築と人材育成に関する研究	有賀 正	小児科	1,300,000	補委 国立成育医療研究センター
慢性拒絶反応における血管平滑筋細胞に対する制御性T細胞の効果の検討	財津 雅昭	消化器外科 I	1,950,000	補委 日本学術振興会
14-3-3とNrf2の制御による革新的な心停止腎グラフトの灌流修復法の開発	深井 原	消化器外科 I	1,950,000	補委 日本学術振興会
肝癌細胞株における糖鎖異常と浸潤能との関連性の解析	神山 俊哉	消化器外科 I	1,560,000	補委 日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
APC結合タンパクEB1による膵癌の放射線抵抗性の画期的診断とその分子機構の解明	折茂 達也	消化器外科 I	1,820,000	補委	日本学術振興会
大腸がん微少環境下における抗原提示細胞の機能制御を基軸とした新規治療法の開発	大野陽介	消化器外科 I	1,690,000	補委	日本学術振興会
膵島移植における長期グラフト生着のための治療法の開発	渡辺 正明	消化器外科 I	2,080,000	補委	日本学術振興会
脂肪肝切除後の分子病態解明と抗酸化能増強による易障害性、易転移性克服法の開発	島田 慎吾	消化器外科 I	1,560,000	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患における神経ペプチドシグナルの制御機構解明と疾患治療への応用	武富 紹信	消化器外科 I	6,890,000	補委	日本学術振興会
炎症性腸疾患における神経ペプチドシグナルの制御機構解明と疾患治療への応用	武富 紹信	消化器外科 I	1,800,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：武富 紹信	武富 紹信	消化器外科 I	200,000	補委	伊藤医薬学術交流財団
奨学寄附金：医学研究資金：武富 紹信	武富 紹信	消化器外科 I	5,000,000	補委	上原記念生命財団
肝芽腫の発生・進展過程におけるDNAメチル化異常の解明	本多 昌平	消化器外科 I	130,000	補委	日本学術振興会
胃癌に対する新規蛍光腹腔鏡システムを用いた光線力学的術中リンパ節転移診断法の確立	海老原 裕磨	消化器外科 II	2,080,000	補委	文部科学省
膵癌におけるバイオマーカーの探索および新規治療法の開発	浅野 賢道	消化器外科 II	1,170,000	補委	文部科学省
地域における重症外傷患者の救命率改善を目指した新規DCSトレーニングコースの開発	村上 壮一	消化器外科 II	1,300,000	補委	文部科学省
胆道癌リンパ節転移巣における浸潤・増殖機序に関する検討	中西 喜嗣	消化器外科 II	1,430,000	補委	文部科学省
難治性固形癌の局所免疫環境に着目した手術期の個別化免疫化学療法の開発	土川 貴裕	消化器外科 II	2,340,000	補委	文部科学省
全国がん登録と連携した臓器がん登録による大規模コホート研究の推進及び高質診療データベースの為のNC	平野 聡	消化器外科 II	120,000	補委	厚生労働省
蛍光イメージングの応用による肝門部領域癌センチネルリンパ節の同定方法の確立	野路 武寛	消化器外科 II	1,040,000	補委	文部科学省
肝硬変の組織病態を修復する新規細胞薬物治療法の探索	坂本 直哉	消化器内科	4,940,000	補委	文部科学省
生体高分子シミュレーションによる抗ウイルス薬耐性化仮想アッセイシステムの構築	坂本 直哉	消化器内科	1,430,000	補委	文部科学省
慢性肝疾患の組織病態進展機構の解析および血清組織糖鎖の網羅的探索による予後予測マーカーの構築	坂本 直哉	消化器内科	36,000,000	補委	日本医療研究開発機構
HCVに対するカルニチンの抗ウイルス/抗脂肪化/抗酸化効果の基礎的・臨床的検討	小川 浩司	消化器内科	910,000	補委	文部科学省
B型肝炎ウイルスcccDNA排除を目指した新規抗ウイルス治療の開発	森川 賢一	消化器内科	1,560,000	補委	文部科学省
C末端欠損HBx遺伝子インテグレーションによる肝発癌・悪性化機構の検討	須田 剛生	消化器内科	1,560,000	補委	文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
クローン病に対する羊膜由来間葉系幹細胞のfirst-in-human臨床試験	大西 俊介	消化器内科	40,000,000	補委 日本医療研究開発機構
HBV感染における自然免疫系センサー分子の探索	中井 正人	消化器内科	1,300,000	補委 文部科学省
脊髄空洞症の素因遺伝子解析	佐々木 秀直	神経内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
多系統委縮症の自然歴とその修飾因子に関する研究	佐々木 秀直	神経内科	9,580,000	補委 日本医療研究開発機構
言語理解の脳内機構	大槻 美佳	神経内科	650,000	補委 日本学術振興会
家族性進行性核上性麻痺における遺伝子解析研究に基づいた進行性核上性麻痺の病態解析	矢部 一郎	神経内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
治験の実施に関する研究 [サリドマイド]	矢部 一郎	神経内科	494,500	補委 日本医師会
治験の実施に関する研究 [ペランパネル]	矢部 一郎	神経内科	500,000	補委 日本医師会
複合細胞移植による新規末梢神経再生方法の開発	永野 裕介	整形外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
軸索再生に至適なシュワン細胞の同定	河村 太介	整形外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：角家 健	角家 健	整形外科	800,000	補委 ブレインサイエンス振興財団
奨学寄附金：医学研究資金：角家 健	角家 健	整形外科	1,500,000	補委 寿原財団
奨学寄附金：医学研究資金：角家 健	角家 健	整形外科	1,000,000	補委 秋山記念生命科学振興財団
奨学寄附金：医学研究資金：角家 健	角家 健	整形外科	2,000,000	補委 テルモ生命科学芸術財団
神経幹細胞移植による慢性期脊髄損傷での神経回路再形成	角家 健	整形外科	1,690,000	補委 日本学術振興会
スフィンゴ糖脂質機能解析を基盤とした関節疾患の病態解明と新規治療法の開発	岩崎 倫政	整形外科	4,290,000	補委 日本学術振興会
変形性関節症発症機序の解明に向けた軟骨変性制御機構における糖鎖機能解析	岩崎 倫政	整形外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
被損傷靱帯に出現する幹細胞様細胞が移植腱再構築過程を促進する分子機序の統合的解明	近藤 英司	整形外科	7,150,000	補委 日本学術振興会
被損傷靱帯に出現する幹細胞様細胞が移植腱再構築過程を促進する分子機序の統合的解明	近藤 英司	整形外科	2,300,000	補委 日本学術振興会
アポトーシス応答機構を標的とした椎間板変性制御に関する統合的研究	山田 勝久	整形外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
ダブルネットワークハイドロゲルを用いた新しい人工椎間板開発	山田 勝久	整形外科	400,000	補委 ノーステック財団
奨学寄附金：医学研究資金：小野寺 智洋	小野寺 智洋	整形外科	3,500,000	補委 日本整形外科学会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
変形性関節症制圧を目指した新規免疫ネットワーク解析手法を用いた治療薬の開発	小野寺 智洋	整形外科	2,470,000	補委	日本学術振興会
手掌腱膜における線維化制御機構の解明	松井 雄一郎	整形外科	1,690,000	補委	日本学術振興会
癌関連糖鎖抗原を介した転移性骨腫瘍の骨破壊進展メカニズムの解明と阻害効果の検討	新井 隆太	整形外科	1,170,000	補委	日本学術振興会
高純度硬化性ゲルによる椎間板組織自然再生誘導法の開発と組織再生メカニズムの解明	須藤 英毅	整形外科	6,630,000	補委	日本学術振興会
脊髄損傷に対する新規神経保護薬の開発	浅野 毅	整形外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
人工膝・股関節置換術適用患者の荷重免荷型トレッドミルにおける三次元歩行計測	入江 徹	整形外科	1,040,000	補委	日本学術振興会
免疫グロブリン様受容体群による骨代謝制御機構の解明	高畑 雅彦	整形外科	4,300,000	補委	日本学術振興会
新規骨質評価法を用いたin vivoにおけるステロイド性骨粗鬆症骨質に関する研究	高畑 雅彦	整形外科	200,000	補委	日本学術振興会
分子・結晶とマイクロ構造体の変形相互作用による骨組織強度特性	高畑 雅彦	整形外科	250,000	補委	日本学術振興会
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	高畑 雅彦	整形外科	250,000	補委	厚生労働省
奨学寄附金：医学研究資金：高畑 雅彦	高畑 雅彦	整形外科	1,000,000	補委	三井生命財団
奨学寄附金：医学研究資金：高畑 雅彦	高畑 雅彦	整形外科	600,000	補委	骨粗鬆症財団
奨学寄附金：医学研究資金：高畑 雅彦	高畑 雅彦	整形外科	1,000,000	補委	日本リウマチ財団
奨学寄附金：医学研究資金：高畑 雅彦	高畑 雅彦	整形外科	5,000,000	補委	三菱財団
双極性障害に対する認知リハビリテーションと集団認知行動療法の有効性に関する研究	賀古 勇輝	精神科神経科	650,000	補委	日本学術振興会
新規陰性症状評価システムの構築と、陰性症状の生物学的基盤の探索	橋本 直樹	精神科神経科	1,690,000	補委	日本学術振興会
青年期の抑うつ症状に関わる要因の縦断的研究	朝倉 聡	精神科神経科	1,300,000	補委	日本学術振興会
外傷急性期凝固障害における血管内皮細胞上の抗血栓能の変化に関する研究	早川 峰司	先進急性期医療センター	1,170,000	補委	日本学術振興会
脂肪肝グラフトのミトコンドリア機能と抗酸化能を増強する画期的な肝体外灌流法の開発	嶋村 剛	臓器移植医療部	3,900,000	補委	日本学術振興会
脂肪肝グラフトのミトコンドリア機能と抗酸化能を増強する画期的な肝体外灌流法の開発	嶋村 剛	臓器移植医療部	1,500,000	補委	日本学術振興会
腫瘍血管特異的マーカーを標的とした次世代肺癌治療の開発	樋田 泰浩	地域医療連携福祉センター	4,030,000	補委	日本学術振興会
腫瘍血管特異的マーカーを標的とした次世代肺癌治療の開発	樋田 泰浩	地域医療連携福祉センター	2,300,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
気管支擦過肺癌細胞の培養による肺癌診断と治療法の探索	菊地 英毅	内科Ⅰ	1,560,000	補委	日本学術振興会
アレルギー性気管支肺真菌症の新・診断基準の検証と新規治療開発	今野 哲	内科Ⅰ	500,000	補委	日本医療研究開発機構
奨学寄附金：医学研究資金：今野 哲	今野 哲	内科Ⅰ	1,000,000	補委	(財)大和証券
肥満が気管支喘息病態に及ぼす分子生物学的機序の解明	今野 哲	内科Ⅰ	2,340,000	補委	日本学術振興会
遺伝子スクリーニング基盤（LC-SCRUM-Japan）を利用した、MET遺伝子異常陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	榊原 純	内科Ⅰ	650,000	補委	日本医療研究開発機構
希少遺伝子変異を有する小細胞肺癌に対する新規治療法の確立に関する研究	榊原 純	内科Ⅰ	500,000	補委	日本医療研究開発機構
治験の実施に関する研究〔レンバチニブ（胸腺癌）〕	榊原 純	内科Ⅰ	499,980	補委	日本医師会
呼吸器疾患における気腫・気道・血流の総合的評価法の確立	清水 薫子	内科Ⅰ	1,040,000	補委	日本学術振興会
生体内の異物・不要物排除機構の解明とその制御による疾患治療	西村 正治	内科Ⅰ	5,200,000	補委	日本医療研究開発機構
閉塞性肺疾患の多様性の理解と個別化治療に向けた探索的研究	西村 正治	内科Ⅰ	9,940,000	補委	日本学術振興会
高齢者の小細胞肺癌に対する新たな標準的治療の確立に関する研究	朝比奈 肇	内科Ⅰ	200,000	補委	日本医療研究開発機構
重症肺高血圧症に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究	辻野 一三	内科Ⅰ	260,000	補委	日本医療研究開発機構
リンパ脈管筋腫症に対するラパマイシン長期内服の効果と安全性評価のためのコホート調査	鈴木 雅	内科Ⅰ	500,000	補委	日本医療研究開発機構
自己免疫性肺胞蛋白症に対する酵母由来組換えGM-CSF吸入の多施設共同医師主導治験	鈴木 雅	内科Ⅰ	3,869,999	補委	日本医療研究開発機構
末梢血エクソソームRNA解析による閉塞性肺疾患の類似性・相違点・合併病態の解明	鈴木 雅	内科Ⅰ	1,300,000	補委	日本学術振興会
免疫抑制剤の効果的な併用による難治性膠原病治療プロトコール作成のための研究	渥美 達也	内科Ⅱ	16,899,999	補委	日本医療研究開発機構
抗リン脂質抗体症候群の流産モデルマウスの作成	奥 健志	内科Ⅱ	1,560,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチにおけるオートファジーとシトルリン化抗原提示との関連	加藤 将	内科Ⅱ	1,430,000	補委	日本学術振興会
多発性嚢胞腎における嚢胞増悪の機序、および予後予測因子の解明	西尾 妙織	内科Ⅱ	2,080,000	補委	日本学術振興会
抗リン脂質抗体症候群における自己抗体産生機序の解明	藤枝 雄一郎	内科Ⅱ	1,040,000	補委	日本学術振興会
関節リウマチ滑膜に高発現するRasGRP4が滑膜増殖を促すメカニズムに関する研究	保田 晋助	免疫・代謝内科学分野（内科Ⅱ）	1,430,000	補委	日本学術振興会
NETsによる単球分化を介した自己免疫機序の解明	坊垣 暁之	免疫・代謝内科学分野（内科Ⅱ）	1,560,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ヒト血管移植片に対する抗ドナー抗体の病的意義と免疫抑制性細胞による治療効果の検討	後藤 了一	乳腺外科	1,300,000	補委	日本学術振興会
晩期再発乳癌の予測因子の同定と再発メカニズムの解明 一 個別化治療を目指して	山下 啓子	乳腺外科	1,950,000	補委	日本学術振興会
骨髄間質細胞移植による癒着性くも膜炎及び難治性神経障害性疼痛に対する治療法の確立	関 俊隆	脳神経外科	910,000	補委	日本学術振興会
合併症発症低減を実現する低侵襲スパイナルドレナージセットの開発・海外展開	山口 秀	脳神経外科	336,960	補委	日本医療研究開発機構
神経膠腫におけるマイクロRNA解析を用いたメチオンin取り込み機序の探索	山口 秀	脳神経外科	2,600,000	補委	日本学術振興会
iPS細胞を用いた、もやもや病における脳出血発症メカニズムの解析と予防薬の研究	数又 研	脳神経外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：川堀 真人	川堀 真人	脳神経外科	500,000	補委	日本脳神経財団
脳虚血再灌流障害に対するスフィンゴリン脂質の保護効果	川堀 真人	脳神経外科	1,040,000	補委	日本学術振興会
易破裂大型脳動脈瘤の新規動物モデルとヒト臨床標本による破裂防止薬剤治療法の開拓	中山 若樹	脳神経外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
ソフトマター工学を利用した“見える”粒子塞栓物質の開発	長内 俊也	脳神経外科	1,430,000	補委	日本学術振興会
冷却人工酸素運搬体の経動脈選択的投与による脳保護療法の開発	病) 鏡谷 武雄	脳神経外科	1,100,000	補委	日本学術振興会
もやもや病（ウィリス動脈輪閉塞症）の診断、治療に関する研究	寶金 清博	脳神経外科	8,750,000	補委	厚生労働省
もやもや病診療の質を高めるためのエビデンス構築を目指した包括的研究	寶金 清博	脳神経外科	9,880,000	補委	日本医療研究開発機構
新たな培養・移植・イメージング技術を駆使した自己骨髄間質細胞移植による脳梗塞再生治療	寶金 清博	脳神経外科	65,000,000	補委	日本医療研究開発機構
もやもや病iPS由来血管内皮細胞でみられるインテグリン発現低下の病態的意義の解明	濱内 祝嗣	脳神経外科	3,510,000	補委	日本学術振興会
高信頼性内視鏡外科医育成のための継続的教育モデルの構築	安部 崇重	泌尿器科	1,560,000	補委	日本学術振興会
胎児期の環境化学物質曝露が性分化に与える影響と遺伝子多型による修飾	今 雅史	泌尿器科	1,430,000	補委	日本学術振興会
腫瘍血管トランスポーター阻害による尿路上皮癌薬剤耐性の克服	篠原 信雄	泌尿器科	1,690,000	補委	日本学術振興会
胎児期の内分泌かく乱物質への曝露が性分化・性腺機能に及ぼす影響に関する研究	守屋 仁彦	泌尿器科	2,470,000	補委	日本学術振興会
尿路上皮癌微小転移に対するAKR1C1を標的とした治療法の開発	松本 隆児	泌尿器科	1,430,000	補委	日本学術振興会
下部尿路閉塞膀胱の慢性期における膀胱リモデリングとセロトニン受容体に関する研究	菅野 由岐子	泌尿器科	2,340,000	補委	日本学術振興会
3次元 in vitro 転移モデルの開発	大澤 崇宏	泌尿器科	1,300,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ダイオキシン類介在性のアンドロゲン受容体変異体分解による去勢抵抗性前立腺癌の制御	病)丸山 覚	泌尿器科	2,860,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：夏賀 健	夏賀 健	皮膚科	1,600,000	補委	長寿科学振興財団
創傷治癒における上皮系幹細胞のダイナミクス	夏賀 健	皮膚科	2,080,000	補委	日本学術振興会
自己免疫性水疱症発症におけるTh17細胞の働きの解明	岩田 浩明	皮膚科	1,560,000	補委	日本学術振興会
水疱性類天疱瘡抗原反応性T細胞株の樹立と応用	氏家 英之	皮膚科	7,150,000	補委	日本学術振興会
劣性栄養障害型表皮水疱症の線維芽細胞が創傷治癒と癌発生に果たす機能を解明する	秦 洋郎	皮膚科	2,600,000	補委	日本学術振興会
先天性魚鱗癬における自然治癒機構の解明	清水 宏	皮膚科	7,800,000	補委	日本学術振興会
復帰変異モザイク表皮水疱症モデルマウスの作製と新規遺伝子治療法の開発	清水 宏	皮膚科	18,330,000	補委	日本学術振興会
復帰変異モザイク (Revertant mosaicism) を応用した先天性難治性皮膚疾患に対する自家培養表皮シート療法	清水 宏	皮膚科	30,000,000	補委	独立行政法人医薬基盤研究
クラススイッチ導入モノクローナル抗体を用いた水疱性類天疱瘡の病態機序の解明	西江 渉	皮膚科	1,690,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：西江 渉	西江 渉	皮膚科	5,000,000	補委	マルホ・高木皮膚科学振興財団
免疫寛容が破綻し発症する画期的水疱性類天疱瘡モデルの作成と応用	西江 渉	皮膚科	5,460,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：泉 健太郎	泉 健太郎	皮膚科	300,000	補委	小西国際交流財団
水疱性類天疱瘡におけるIgE自己抗体を介した紅斑形成機序の解明	泉 健太郎	皮膚科	2,080,000	補委	日本学術振興会
復帰変異モザイクを応用したiPS細胞による表皮水疱症の治療	藤田 靖幸	皮膚科	1,430,000	補委	日本学術振興会
ノンコーディングRNAによる角化調節メカニズムの解明	乃村 俊史	皮膚科	1,560,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：乃村 俊史	乃村 俊史	皮膚科	500,000	補委	秋山記念生命科学振興財団
奨学寄附金：医学研究資金：乃村 俊史	乃村 俊史	皮膚科	500,000	補委	金原一郎記念医学医療振興
奨学寄附金：医学研究資金：柳 輝希	柳 輝希	皮膚科	1,000,000	補委	安田記念医学財団
奨学寄附金：医学研究資金：柳 輝希	柳 輝希	皮膚科	1,500,000	補委	寿原記念財団
奨学寄附金：医学研究資金：柳 輝希	柳 輝希	皮膚科	2,000,000	補委	上原記念生命科学財団
奨学寄附金：医学研究資金：柳 輝希	柳 輝希	皮膚科	2,000,000	補委	武田科学振興財団

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
RH0シグナル経路制御分子群を用いた新規の膵癌分子診断法および標的治療法の開発	三橋 智子	病理診断科	1,560,000	補委	日本学術振興会
NKG2DシステムによるuNK細胞制御と胎盤形成の検討	大塚 紀幸	病理診断科	1,170,000	補委	日本学術振興会
肺血管壁肥厚を誘導する細胞周囲環境の解析と新規バイオマーカーの探索	谷野 美智枝	病理診断科	1,820,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：田中 伸哉	田中 伸哉	病理診断科	200,000	補委	伊藤医薬学術交流財団
ジスルフィド結合を介したタイト結合機能調節：細胞増殖因子としての機能解明	田中 敏	病理診断科	2,080,000	補委	日本学術振興会
線量勾配を考慮した新しい線量分布解析法の確立	石川 正純	分子追跡放射線医療寄附研究部門	3,120,000	補委	日本学術振興会
確率論的LQモデルによる放射線治療効果予測法の研究	鬼丸 力也	放射線医学分野	2,730,000	補委	日本学術振興会
ヘリウム・陽子線ハイブリッド治療の研究開発	白土 博樹	放射線医学分野	4,290,000	補委	日本学術振興会
微粒子腫瘍マーカーとリアルタイム3次元透視を融合した次世代高精度粒子線治療技術の開発	白土 博樹	放射線医学分野	234,716,001	補委	AMED
4D-CBCTと治療計画CTの容積マッチング法による4D-IGRTの試み	清水 伸一	放射線治療医学分野	3,120,000	補委	日本学術振興会
量子線手術（クオンタム・ビーム・サージェリー）と放射線照射後手術における治療中の迅速な判断・決定を支援するための診断支援機器・	清水 伸一	放射線治療医学分野	20,003,254	補委	AMED
低酸素癌を標的とした陽子線治療に関する研究	安田 耕一	放射線治療科	780,000	補委	日本学術振興会
低酸素細胞を有する原発性肺癌に対する動体追跡放射線治療の研究	井上 哲也	放射線治療科	240,000	補委	日本学術振興会
Radiomicsを用いた肝癌に対する“個別化”陽子線治療法の確立	加藤 徳雄	放射線治療科	1,170,000	補委	日本学術振興会
次世代の体幹部定位放射線治療を実現する動体追跡回転照射の基盤技術開発	宮本 直樹	放射線治療科	4,420,000	補委	日本学術振興会
CBCT画像を用いた線量評価に基づく治療効果誘導放射線治療技術の開発	高尾 聖心	放射線治療科	1,560,000	補委	日本学術振興会
イン・シリコ・サロゲートエンドポイントによる術後陽子線治療の晩期有害事象の評価	木下 留美子	放射線治療科	650,000	補委	日本学術振興会
肺腫瘍における非侵襲的導電率イメージングシステム開発	タ キン キン	放射線診断科	2,600,000	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：菊池 穂香	菊池 穂香	放射線診断科	300,000	補委	公益財団法人伊藤医薬学術
心サルコイドーシス診断における包括的全身造影CT検査および解析法の確立	真鍋 徳子	放射線診断科	1,300,000	補委	日本学術振興会
MRIを用いた頭頸部腫瘍の治療感受性マップおよび高精度予後予測診断法の開発	藤間 憲幸	放射線診断科	650,000	補委	日本学術振興会
高齢者の体表観察ツールの開発による虐待への早期介入	兵頭 秀樹	放射線診断科	130,000	補委	日本学術振興会

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
動物モデルによる死後造影画像解析と組織学的検討・死後画像診断への応用	兵頭 秀樹	放射線診断科	3,120,000	補委	日本学術振興会
乳癌の個別化治療に向けたMRIのRadiomics解析による治療効果予測	加藤 扶美	放射線部	2,080,000	補委	日本学術振興会
0-17酸素MRIによる細胞内代謝の仮視化	工藤 與亮	放射線部	7,020,000	補委	日本学術振興会
QSMとVBMのハイブリッド撮像・解析による認知症の早期診断MRI	工藤 與亮	放射線部	39,419,077	補委	AMED
酸素の安定同位体0-17を用いた次世代MRI検査法の開発	工藤 與亮	放射線部	60,000,000	補委	AMED
マイクロカテーテルのカニューレション難易度解明と科学的トレーニングシステムの開発	曾山 武士	放射線部	1,040,000	補委	日本学術振興会
薬剤感受性試験結果に基づく抗MRSA薬治療の最適化～菌血症治療効果改善の試み	鏡 圭介	薬剤部	350,000	補委	日本学術振興会
ベバシズマブ誘発性高血圧に対する降圧薬の効果比較検討	高桑 志帆	薬剤部	300,000	補委	日本学術振興会
エピルビンシンを用いた肝動脈化学塞栓術施行時の制吐薬による消化器症状予防効果の評価	坂本 達彦	薬剤部	420,000	補委	日本学術振興会
抗MRSA薬ダプトマイシンによる骨格筋毒性回避のための基盤研究	山田 武宏	薬剤部	1,834,031	補委	日本学術振興会
MCTの機能・発現阻害に基づいたがん細胞の転移・浸潤の抑制効果の検証	小林 正紀	薬剤部	1,100,000	補委	日本学術振興会
同種造血幹細胞移植後におけるダサチニブのPK/PD解析に基づく投与量の最適化	田澤 佑基	薬剤部	550,000	補委	日本学術振興会
マグネシウム投与時の腎臓内シスプラチン量減少メカニズムの解明	齋藤 佳敬	薬剤部	550,000	補委	日本学術振興会
新しい唾液pH判定キットの開発	兼平 孝	予防歯科	227,666	補委	日本学術振興会
胸部悪性疾患に対する腫瘍特異的細径ナノ粒子を用いた光線力学的治療法の確立	加藤 達哉	臨床研修センター	694,942	補委	日本学術振興会
奨学寄附金：医学研究資金：加藤 達哉	加藤 達哉	臨床研修センター	1,000,000	補委	秋山記念生命科学振興財団
奨学寄附金：医学研究資金：加藤 達哉	加藤 達哉	臨床研修センター	500,000	補委	内視鏡医学研究振興財団
非小細胞肺癌の根治に向けた術後補助化学療法後の新規ペプチドワクチン維持療法の開発研究の試験解析実施・症例登録管理	加藤 達哉	臨床研修センター	500,000	補委	AMED・日本医療研究開発機構
ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	石森 直樹	臨床研修センター	55,999,999	補委	日本医療研究開発機構
橋渡し研究：新規医療技術の持続的創出を実現するオープンアクセス型拠点形成	寶金 清博	病院長	164,800,000	補委	日本医療研究開発機構

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Goudarzi H, Araki A, Itoh S, Sasaki S, Miyashita C, Mitsui T, Nakazawa H, Nonomura K, Kishi R	内科Ⅰ	The Association of Prenatal Exposure to Perfluorinated Chemicals with Glucocorticoid and Androgenic Hormones in Cord Blood Samples: The Hokkaido Study	Environ Health Perspect, 125(1):111-118(2017年1月)	Original Article
2	Ikezawa Y, Asahina H, Oizumi S, Watanabe M, Takamura K,Kawai Y, Yamada N, Harada T, Kinoshita I, Fujita Y, Miyauchi E, Ogi T, Amano T, Furuta M, Sakakibara-Konishi J, Nishihara H, Dosaka-Akita H, Isobe H,	内科Ⅰ	A randomized phase II trial of erlotinib vs. S-1 as a third- or fourth-line therapy for patients with wild-type EGFR non-small cell lung cancer (HOT1002)	Cancer Chemother Pharmacol, 80(5): 955-963(2017年11月)	Original Article
3	Ikezawa Y, Sakakibara-Konishi J, Mizugaki H, Oizumi S, Nishimura M	内科Ⅰ	Inhibition of Notch and HIF enhances the antitumor effect of radiation in Notch expressing lung cancer	Int J Clin Oncol, 22(1): 59-69(2017年2月)	Original Article
4	Ikezawa Y, Shinagawa N, Sukoh N, Morimoto M, Kikuchi H, Watanabe M, Nakano K, Oizumi S, Nhisimura M	内科Ⅰ	Usefulness of endobronchial ultrasonography with a guide sheath and virtual bronchoscopic navigation for ground-glass opacity lesions	Ann Thorac Surg, 103(2):470-475(2017年2月)	Original Article
5	Kikuchi H, Sakakibara-Konishi J, Furuta M, Yokouchi H, Nishihara H, Yamazaki S, Uramoto H, Tanaka F, Harada M, Akie K, Sugaya F, Fujita Y, Takamura K, Kojima T, Harada T, Higuchi M, Honjo O, Minami Y, Watanabe N,	内科Ⅰ	Expression of Notch1 and Numb in small cell lung cancer	Oncotarget, 8(6):10348-10358(2017年2月)	Original Article
6	Kimura H, Konno S, Makita H, Taniguchi N, Kimura H, Goudarzi H, Shimizu K, Suzuki M, Shijubo N, Shigehara K, Ono J, Izuhara K, Ito YM, Nishimura M	内科Ⅰ	Serum periostin is associated with body mass index and allergic rhinitis in healthy and asthmatic subjects	Allergol Int, S1323-8930:30167-3(2017年7月)	Original Article
7	Kimura H, Konno S, Nakamaru Y, Makita H, Taniguchi N, Shimizu K, Suzuki M, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Nishimura M	内科Ⅰ	Sinus Computed Tomographic Findings in Adult Smokers and Nonsmokers with Asthma. Analysis of Clinical Indices and Biomarkers	Ann Am Thorac Soc, 14(3): 332-341(2017年5月)	Original Article
8	Kimura H, Suzuki M, Konno S, Shindou H, Shimizu T, Nagase T, Miyazaki T, Nishimura M	内科Ⅰ	Orchestrating role of apoptosis inhibitor of macrophage in the resolution of acute lung injury	J Immunol, 199: 3870-3882(2017年12月)	Original Article
9	Konno S, Makita H, Suzuki M, Shimizu K, Kimura H, Kimura H, Nishimura M	内科Ⅰ	Acute bronchodilator responses to β 2-agonist and anticholinergic agent in COPD: Their different associations with exacerbation	Respir Med, 127:14-20(2017年6月)	Original Article
10	Ohira H, Mc Ardle B, deKemp RA, Nery PB, Juneau D, Renaud JM, Klein R, Clarkin O, MacDonald K, Leung E,Nair G, Beanlands RS, Birnie D	内科Ⅰ	Inter-and Intra-observer agreement of FDG-PET/CT image interpretation in patients referred for assessment of Cardiac Sarcoidosis	J Nucl Med, 58(8): 1324-1329(2017)	Original Article
11	Sakakibara-Konishi J, Ikezawa Y, Oizumi S, Kikuchi J, Kikuchi E, Mizugaki H, Kinoshita I, Dosaka-Akita H, Nishimura M	内科Ⅰ	Combined antitumor effect of γ -secretase inhibitor and ABT-737 in Notch-expressing non-small cell lung cancer	Int J Clin Oncol, 22(2):257-268(2017年4月)	Original Article
12	Shimizu K, Tsujino I, Sato T, Sugimoto A, Nakaya T, Watanabe T, Ohira H, Ito Y, Nishimura M	内科Ⅰ	Performance of computed tomography-derived pulmonary vasculature metrics in the diagnosis and haemodynamic assessment of pulmonary arterial hypertension	Eur J Radiol, 96: 31-38(2017年11月)	Original Article
13	Ohira H, Yoshinaga K, Manabe O, Oyama-Manabe N, Tsujino I, Nishimura M, Tamaki N	内科Ⅰ	Clinical Application of 18F-fluorodeoxyglucose PET and LGE CMR inCardiac Sarcoidosis	Ann Nucl Cardiol, 3(1):125-130(2017)	Others
14	Atsumi T, Tanaka Y, Yamamoto K, Takeuchi T, Yamanaka H, Ishiguro N, Eguchi K, Watanabe A, Origasa H, Yasuda S, Yamanishi Y, Kita Y, Matsubara T, Iwamoto M, Shoji T, Togo O, Okada T, van der Heide D,	内科Ⅱ	Clinical benefit of 1-year certolizumab pegol (CZP) add-on therapy to methotrexate treatment in patients with early rheumatoid arthritis was observed following CZP discontinuation: 2-year results of the C-OPERA study, a phase III randomised	Ann Rheum Dis. 2017 Aug;76(8):1348-1356. doi: 10.1136/annrheumdis-2016-210246. Epub 2017 Feb 2.	Original Article
15	Sakano R, Saito K, Kamishima T, Nishida M, Horie T, Noguchi A, Kono M, Sutherland K, Atsumi T.	超音波センター	Power Doppler signal calibration in the finger joint between two models of ultrasound machine: a pilot study using a phantom and joints in patients with rheumatoid arthritis.	Acta Radiol. 2017 Oct;58(10):1238-1244. doi: 10.1177/0284185116685923. Epub 2017 Jan 13.	Original Article
16	Atsumi T, Ando Y, Matsuda S, Tomizawa S, Tanaka R, Takagi N, Nakasone A.	内科Ⅱ	Prodromal signs and symptoms of serious infections with tocilizumab treatment for rheumatoid arthritis: Text mining of the Japanese postmarketing adverse event-reporting database.	Mod Rheumatol. 2018 May;28(3):435-443. doi: 10.1080/14397595.2017.1366007. Epub 2017 Sep 7.	Original Article
17	Atsumi T, Fujio K, Yamaoka K, Tomobe M, Kuroyanagi K, Kameda H.	内科Ⅱ	Safety and effectiveness of subcutaneous tocilizumab in patients with rheumatoid arthritis in a real-world clinical setting.	Mod Rheumatol. 2018 Jan 8:1-9. doi: 10.1080/14397595.2017.1416760. [Epub ahead of print]	Original Article
18	Yasuda S, Ohmura K, Kanazawa H, Kurita T, Kon Y, Ishii T, Fujieda Y, Jodo S, Tanimura K, Minami M, Izumiyama T, Matsumoto T, Amasaki Y, Suzuki Y, Kasahara H, Yamauchi N, Kato M, Kamishima T,	内科Ⅱ	Maintenance treatment using abatacept with dose reduction after achievement of low disease activity in patients with rheumatoid arthritis (MATADOR) – A prospective, multicenter, single arm pilot clinical trial.	Mod Rheumatol. 2017 Nov;27(6):930-937. doi: 10.1080/14397595.2017.1286714. Epub 2017 Feb 16.	Original Article
19	Shimizu Y, Yasuda S, Kimura T, Nishio S, Kono M, Ohmura K, Shimamura S, Kono M, Fujieda Y, Kato M, Oku K, Bohgaki T, Fukasawa Y, Tanaka S, Atsumi T.	内科Ⅱ	Interferon-inducible Mx1 protein is highly expressed in renal tissues from treatment-naïve lupus nephritis, but not in those under immunosuppressive treatment.	Mod Rheumatol. 2018 Jul;28(4):661-669. doi: 10.1080/14397595.2017.1404711. Epub 2017 Nov 30.	Original Article
20	Amengual O, Forastiero R, Sugiura-Ogasawara M, Otomo K, Oku K, Favas C, Delgado Alves J, Žigon P, Ambrožič A, Tomšič M, Ruiz-Arruza I, Ruiz-Irastorza G, Bertolaccini ML, Norman GL, Shums Z, Arai J,	内科Ⅱ	Evaluation of phosphatidylserine-dependent antiprothrombin antibody testing for the diagnosis of antiphospholipid syndrome: results of an international multicentre study.	Lupus. 2017 Mar;26(3):266-276. doi: 10.1177/0961203316660203. Epub 2016 Aug 20.	Review
21	Watanabe T, Oku K, Amengual O, Hisada R, Ohmura K, Nakagawa I, Shida H, Bohgaki T, Horita T, Yasuda S, Atsumi T.	内科Ⅱ	Effects of statins on thrombosis development in patients with systemic lupus erythematosus and antiphospholipid antibodies.	Lupus. 2018 Feb;27(2):225-234. doi: 10.1177/0961203317716787. Epub 2017 Jun 28.	Original Article
22	Oku K, Amengual O, Yasuda S, Atsumi T.	内科Ⅱ	How to Identify High-Risk APS Patients: Clinical Utility and Predictive Values of Validated Scores.	Curr Rheumatol Rep. 2017 Aug;19(8):51. doi: 10.1007/s11926-017-0674-4.	Review
23	Oku K, Atsumi T, Akiyama Y, Amano H, Azuma N, Bohgaki T, Asanuma YF, Horita T, Hosoya T, Ichinose K, Kato M, Katsumata Y, Kawaguchi Y, Kawakami A, Koga T, Kohsaka H, Kondo Y, Kubo K, Kuwana M,	内科Ⅱ	Evaluation of the alternative classification criteria of systemic lupus erythematosus established by Systemic Lupus International Collaborating Clinics (SLICC).	Mod Rheumatol. 2018 Jul;28(4):642-648. doi: 10.1080/14397595.2017.1385154. Epub 2017 Nov 9.	Original Article
24	Kato M, Atsumi T.	内科Ⅱ	Pulmonary arterial hypertension associated with connective tissue diseases: A review focusing on distinctive clinical aspects.	Eur J Clin Invest. 2018 Feb;48(2). doi: 10.1111/eci.12876. Epub 2017 Dec 28. Review.	Review
25	Kono M, Kamishima T, Yasuda S, Sakamoto K, Abe S, Noguchi A, Watanabe T, Shimizu Y, Oku K, Bohgaki T, Amengual O, Horita T, Atsumi T.	内科Ⅱ	Effectiveness of whole-body magnetic resonance imaging for the efficacy of biologic anti-rheumatic drugs in patients with rheumatoid arthritis: A retrospective pilot study.	Mod Rheumatol. 2017 Nov;27(6):953-960. doi: 10.1080/14397595.2016.1276425. Epub 2017 Feb 1.	Original Article
26	Noguchi A, Kato M, Kono M, Ohmura K, Ohira H, Tsujino I, Oyama-Manabe N, Oku K, Bohgaki T, Horita T, Yasuda S, Nishimura M, Atsumi T.	内科Ⅱ	Bi-ventricular interplay in patients with systemic sclerosis-associated pulmonary arterial hypertension: Detection by cardiac magnetic resonance.	Mod Rheumatol. 2017 May;27(3):481-488. doi: 10.1080/14397595.2016.1218597. Epub 2016 Aug 18.	Original Article
27	Nakamura H, Sugai T, Kato M, Hatanaka KC, Atsumi T.	内科Ⅱ	Subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma with haemophagocytic syndrome during tocilizumab therapy for juvenile idiopathic arthritis.	Clin Exp Rheumatol. 2017 Jan-Feb;35(1):174. Epub 2017 Jan 5	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
28	Nakamura H, Amengual O, Horita T, Kato M, Oku K, Bohgaki T, Yasuda S, Atsumi T.	内科Ⅱ	Acute aortic thrombosis related to antiphospholipid antibodies.	Lupus. 2017 Jun;26(7):783–784. doi: 10.1177/0961203316678672. Epub 2016 Nov 16.	Case report
29	Nakamura H, Kato M, Nakaya T, Kono M, Tanimura S, Sato T, Fujieda Y, Oku K, Ohira H, Bohgaki T, Yasuda S, Tsujino I, Nishimura M, Atsumi T.	内科Ⅱ	Decreased haptoglobin levels inversely correlated with pulmonary artery pressure in patients with pulmonary arterial hypertension: A cross-sectional study.	Medicine (Baltimore). 2017 Oct;96(43):e8349. doi: 10.1097/MD.00000000000008349.	Original Article
30	Nakamura H, Oku K, Amengual O, Ohmura K, Fujieda Y, Kato M, Bohgaki T, Yasuda S, Atsumi T.	内科Ⅱ	First-Line, Non-Criterial Antiphospholipid Antibody Testing for the Diagnosis of Antiphospholipid Syndrome in Clinical Practice: A Combination of Anti- β 2 -Glycoprotein I Domain I and Anti-Phosphatidylserine/Prothrombin Complex Antibodies Tests.	Arthritis Care Res (Hoboken). 2018 Apr;70(4):627–634. doi: 10.1002/acr.23310.	Original Article
31	Nakamura H, Odani T, Yasuda S, Noguchi A, Fujieda Y, Kato M, Oku K, Bohgaki T, Sugita J, Endo T, Teshima T, Atsumi T.	内科Ⅱ	Autologous haematopoietic stem cell transplantation for Japanese patients with systemic sclerosis: Long-term follow-up on a phase II trial and treatment-related fatal cardiomyopathy.	Mod Rheumatol. 2018 Jan 8:1–6. doi: 10.1080/14397595.2017.1416920.	Original Article
32	Nakamura H, Kato M, Nogochi A, Ohira H, Tsujino I, Atsumi T.	内科Ⅱ	Efficient detection of pulmonary arterial hypertension using serum haptoglobin level and cardiac MRI in patients with connective tissue diseases: a pilot study.	Clin Exp Rheumatol. 2018 Mar-Apr;36(2):345–346. Epub 2018 Feb 15.	Original Article
33	Sugawara E, Kato M, Hisada R, Oku K, Bohgaki T, Horita T, Yasuda S, Atsumi T.	内科Ⅱ	Treatment of Vasodilator-resistant Mixed Connective Tissue Disease-associated Pulmonary Arterial Hypertension with Glucocorticoid and Cyclophosphamide.	Intern Med. 2017;56(4):445–448. doi: 10.2169/internalmedicine.56.7668. Epub 2017 Feb 15.	Case report
34	Hisada R, Kato M, Sugawara E, Fujieda Y, Oku K, Bohgaki T, Amengual O, Yasuda S, Atsumi T.	内科Ⅱ	Thrombotic risk stratification by platelet count in patients with antiphospholipid antibodies: a longitudinal study.	J Thromb Haemost. 2017 Sep;15(9):1782–1787. doi: 10.1111/jth.13763. Epub 2017 Aug 5.	Original Article
35	Kono M, Yasuda S, Atsumi T.	内科Ⅱ	Takayasu Arteritis with Varied-size Vessel Involvement.	J Rheumatol. 2017 Jan;44(1):125–126. doi: 10.3899/jrheum.160933.	Case report
36	Kono M, Yasuda S, Kono M, Atsumi T.	内科Ⅱ	Tocilizumab reduced production of systemic sclerosis-related autoantibodies and anti-cyclic citrullinated protein antibodies in two patients with overlapping systemic sclerosis and rheumatoid arthritis.	Scand J Rheumatol. 2018 May;47(3):248–250. doi: 10.1080/03009742.2017.1297482. Epub 2017 May 8.	Case report
37	Tanimura S, Fujieda Y, Kono M, Shibata Y, Hisada R, Sugawara E, Nakamura H, Ohmura K, Shimamura S, Mitani A, Shida H, Watanabe T, Kato M, Oku K, Bohgaki T, Amengual O, Yasuda S, Shimizu C, Atsumi T.	内科Ⅱ	Clinical significance of plasma presepsin levels in patients with systemic lupus erythematosus.	Mod Rheumatol. 2017 Dec 14:1–7. doi: 10.1080/14397595.2017.1408755.	Original Article
38	Nakamura A, Iwami D, Miyoshi H, Morita K, Taguri M, Terauchi Y, Shinohara N, Atsumi T.	内科Ⅱ	Impact of renal transplantation on glucose tolerance in Japanese recipients with impaired glucose tolerance.	Diabet Med. 2017 Apr;34(4):569–576. doi: 10.1111/dme.13199. Epub 2016 Oct 7.	Original Article
39	Cho KY, Miyoshi H, Nakamura A, Kurita T, Atsumi T.	内科Ⅱ	Hyponatremia can be a powerful predictor of the development of isolated ACTH deficiency associated with nivolumab treatment.	Endocr J. 2017 Feb 27;64(2):235–236. doi: 10.1507/endocrj.EJ16-0596. Epub 2017 Jan 6.	Letter
40	Nomoto H, Kimachi K, Miyoshi H, Kameda H, Cho KY, Nakamura A, Nagai S, Kondo T, Atsumi T.	内科Ⅱ	Effects of 50 mg vildagliptin twice daily vs. 50 mg sitagliptin once daily on blood glucose fluctuations evaluated by long-term self-monitoring of blood glucose.	Endocr J. 2017 Apr 29;64(4):417–424. doi: 10.1507/endocrj.EJ16-0546. Epub 2017 Mar 3.	Original Article
41	Nomoto H, Miyoshi H, Sugawara H, Ono K, Yanagiya S, Oita M, Nakamura A, Atsumi T.	内科Ⅱ	A randomized controlled trial comparing the effects of dapagliflozin and DPP-4 inhibitors on glucose variability and metabolic parameters in patients with type 2 diabetes mellitus on insulin.	Diabetol Metab Syndr. 2017 Jul 17;9:54. doi: 10.1186/s13098-017-0255-8. eCollection 2017.	Original Article
42	Nomoto H, Miyoshi H, Nakamura A, Nagai S, Kitao N, Shimizu C, Atsumi T.	内科Ⅱ	A case of osteomalacia due to deranged mineral balance caused by saccharated ferric oxide and short-bowel syndrome: A case report.	Medicine (Baltimore). 2017 Sep;96(39):e8147. doi: 10.1097/MD.00000000000008147.	Case report
43	Nomoto H, Miyoshi H, Nakamura A, Nagai S, Shimizu C, Atsumi T.	内科Ⅱ	Potential Importance of a Histopathological Analysis in Thyroidal Diseases with High Serum IgG4 Levels.	Intern Med. 2018 Feb 1;57(3):453. doi: 10.2169/internalmedicine.9507-17. Epub 2017 Nov 1.	Case report
44	Nomoto H, Oita M.	内科Ⅱ	Thyrotoxicosis in Graves’ Disease with Invasive Laryngeal Cancer.	Intern Med. 2018 May 15;57(10):1495–1496. doi: 10.2169/internalmedicine.9644-17. Epub 2017 Dec 27.	Case report
45	Miya A, Nakamura A, Miyoshi H, Cho KY, Nagai S, Kurihara Y, Aoki S, Taguri M, Terauchi Y, Atsumi T.	内科Ⅱ	Satisfaction of switching to combination therapy with lixisenatide and basal insulin in patients with type 2 diabetes receiving multiple daily insulin injection therapy: A randomized controlled trial.	J Diabetes Investig. 2018 Jan;9(1):119–126. doi: 10.1111/jdi.12654. Epub 2017 Jul 10.	Original Article
46	Kitao N, Miyoshi H, Furumoto T, Ono K, Nomoto H, Miya A, Yamamoto C, Inoue A, Tsuchida K, Manda N, Kurihara Y, Aoki S, Nakamura A, Atsumi T; SAIS Study Group.	内科Ⅱ	The effects of vildagliptin compared with metformin on vascular endothelial function and metabolic parameters: a randomized, controlled trial (Sapporo Athero-Incretin Study 3).	Cardiovasc Diabetol. 2017 Oct 10;16(1):125. doi: 10.1186/s12933-017-0607-6.	Original Article
47	Kondo A, Nakamura A, Takeuchi J, Miyoshi H, Atsumi T.	内科Ⅱ	Insulin-Induced Distant Site Lipatrophy.	Diabetes Care. 2017 Jun;40(6):e67–e68. doi: 10.2337/dc16-2385. Epub 2017 Apr 10.	Case report
48	Takahashi K, Nakamura A, Miyoshi H, Nomoto H, Kameda H, Cho KY, Nagai S, Shimizu C, Taguri M, Terauchi Y, Atsumi T.	内科Ⅱ	Factors associated with an inadequate hypoglycemia in the insulin tolerance test in Japanese patients with suspected or proven hypopituitarism.	Endocr J. 2017 Apr 29;64(4):387–392. doi: 10.1507/endocrj.EJ16-0332. Epub 2017 Mar 3.	Original Article
49	Takase T, Nakamura A, Miyoshi H, Yamamoto C, Atsumi T.	内科Ⅱ	Amelioration of fatty liver index in patients with type 2 diabetes on ipragliflozin: an association with glucose-lowering effects.	Endocr J. 2017 Mar 31;64(3):363–367. doi: 10.1507/endocrj.EJ16-0295. Epub 2016 Dec 13.	Original Article
50	Oita M, Miyoshi H, Ono K, Nakamura A, Cho KY, Nomoto H, Yamamoto K, Omori K, Manda N, Kurihara Y, Aoki S, Atsumi T.	内科Ⅱ	Satisfaction and efficacy of switching from daily dipeptidyl peptidase-4 inhibitors to weekly trelagliptin in patients with type 2 diabetes-Randomized controlled study.	Endocr J. 2018 Feb 26;65(2):141–150. doi: 10.1507/endocrj.EJ17-0303. Epub 2017 Oct 31.	Original Article
51	Yamamoto J, Nishio S, Hattanda F, Nakazawa D, Kimura T, Sata M, Makita M, Ishikawa Y, Atsumi T.	内科Ⅱ	Branched-chain amino acids enhance cyst development in autosomal dominant polycystic kidney disease.	Kidney Int. 2017 Aug;92(2):377–387. doi: 10.1016/j.kint.2017.01.021. Epub 2017 Mar 22.	Original Article
52	Kawakubo K, et al.	消化器内科	Gastrointestinal: Transurethral endoscopic retrograde pancreatography.	J Gastroenterol Hepatol. 2017 Nov;32(11):1791.	Case report
53	Kato S, et al.	消化器内科	Effect of endoscopic transpapillary biliary drainage with/without endoscopic sphincterotomy on post-endoscopic retrograde cholangiopancreatography pancreatitis in patients with biliary stricture (E-BEST): a protocol for a multicentre randomised	BMJ Open. 2017 Aug 11;7(8):e017160.	Others
54	Kawakubo K, et al.	消化器内科	Mesenchymal stem cell therapy for acute and chronic pancreatitis.	J Gastroenterol. 2018 Jan;53(1):1–5.	Review
55	Kawakubo K, Kuwatani M, Sakamoto N	消化器内科	Too short to choose biliary drainage?	Gastrointest Endosc. 2017 Mar;85(3):690.	Letter
56	Miyamoto S*, Matsuno Y, Kato M, Kudo T, Ono S, Shimizu Y, Sakamoto N.	光学医療診療部	Parietal Cell Protrusions and Dilated Oxyntic Glands from Use of Vonoprazan,	Am J Gastroenterol 112(12), 1899–1901, 2017	Others

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
57	Miyamoto S, Kato M, Tsuda M, Matsuda K, Muranaka T, Abiko S, Ono M, Mizushima T, Omori S, Yamamoto K, Mabe K, Ono S, Kudo T, Shimizu Y, Sakamoto N.	光学医療診療部	Gastric mucosal cracked and cobblestone-like changes resulting from proton pump inhibitor use.	Dig Endosc. 2017 May;29(3):307–313.	Original Article
58	Ono S, Kato M, Nakagawa S, Mabe K, Sakamoto N.	光学医療診療部	Vonoprazan improves the efficacy of Helicobacter pylori eradication therapy with a regimen consisting of clarithromycin and metronidazole in patients allergic to penicillin.	Helicobacter. 2017 Jun;22(3).	Original Article
59	Miyamoto S, Kudo T, Kato M, Matsuda K, Abiko S, Tsuda M, Mizushima T, Yamamoto K, Ono S, Shimizu Y, Sakamoto N.	光学医療診療部	Endoscopic ultrasonography features of gastric mucosal cobblestone-like changes from a proton-pump inhibitor.	Clin J Gastroenterol. 2017 Jun;10(3):220–223.	Case report
60	Sho T, Suda G, Nagasaka A, Yamamoto Y, Furuya K, Kumagai K, Uebayashi M, Terashita K, Kobayashi T, Tsunematsu I, Onodera M, Meguro T, Kimura M, Ito J, Umemura M, Izumi T, Kawagishi N, Ohara M, Ono Y.	消化器内科	Safety and efficacy of sofosbuvir and ribavirin for genotype 2 hepatitis C Japanese patients with renal dysfunction.	Hepatol Res. 2018 Jun;48(7):529–538.	Original Article
61	Suda G, Ogawa K, Morikawa K, Sakamoto N.	消化器内科	Treatment of hepatitis C in special populations.	J Gastroenterol. 2018 May;53(5):591–605.	Review
62	Nakai M, Ogawa K, Takeda R, Ohara M, Kawagishi N, Izumi T, Umemura M, Ito J, Sho T, Suda G, Morikawa K, Sakamoto N.	消化器内科	Increased serum C-reactive protein and decreased urinary aquaporin 2 levels are predictive of the efficacy of tolvaptan in patients with liver cirrhosis.	Hepatol Res. 2018 Feb;48(3):E311–E319	Original Article
63	Maehara O, Suda G, Natsuizaka M, Ohnishi S, Komatsu Y, Sato F, Nakai M, Sho T, Morikawa K, Ogawa K, Shimazaki T, Kimura M, Asano A, Fujimoto Y, Ohashi S, Kagawa S, Kinugasa H, Naganuma S, Whelan KA, Suda G, Ito J, Nagasaka A, Yamamoto Y, Furuya K, Okamoto M, Terashita K, Kobayashi T, Tsunematsu I, Yoshida J, Meguro T, Ohara M, Kawagishi N, Kimura M, Umemura M, Izumi T, Tsukuda Y, Nakai M, Sho T,	消化器内科	Fibroblast growth factor-2-mediated FGFR/Erk signaling supports maintenance of cancer stem-like cells in esophageal squamous cell carcinoma.	Carcinogenesis. 2017 Oct 26;38(11):1073–1083.	Original Article
64	Suda G, Ito J, Nagasaka A, Yamamoto Y, Furuya K, Okamoto M, Terashita K, Kobayashi T, Tsunematsu I, Yoshida J, Meguro T, Ohara M, Kawagishi N, Kimura M, Umemura M, Izumi T, Tsukuda Y, Nakai M, Sho T,	消化器内科	Add-on effects of fluvastatin in simeprevir/pegylated-interferon/ribavirin combination therapy for patients with genotype 1 hepatitis C virus infection: a randomized controlled study.	Hepatol Res. 2018 Feb;48(3):E146–E154	Original Article
65	Kawagishi N, Suda G, Onozawa M, Kimura M, Maehara O, Ohara M, Izumi T, Umemura M, Ito J, Nakai M, Sho T, Natsuizka M, Morikawa K, Ogawa K, Sakamoto N.	消化器内科	Comparing the risk of hepatitis B virus reactivation between direct-acting antiviral therapies and interferon-based therapies for hepatitis C.	J Viral Hepat. 2017 Dec;24(12):1098–1106	Original Article
66	Sho T, Nakanishi M, Morikawa K*, Ohara M, Kawagishi N, Izumi T, Umemura M, Ito J, Nakai M, Suda G, Ogawa K, Chuma M, Meguro T, Nakamura M, Nagasaka A, Horimoto H, Yamamoto Y, Sakamoto N.	消化器内科	A Phase I Study of Combination Therapy with Sorafenib and 5-Fluorouracil in Patients with Advanced Hepatocellular Carcinoma.	Drugs R D. 2017 Sep;17(3):381–388.	Original Article
67	Suda G, Furusyo N, Toyoda H, Kawakami Y, Ikeda H, Suzuki M, Arataki K, Mori N, Tsuji K, Katamura Y, Takaguchi K, Ishikawa T, Tsuji K, Shimada N, Hiraoka A, Yamsaki S, Nakai M, Sho T, Morikawa K, Ogawa K, Kudo	消化器内科	Daclatasvir and asunaprevir in hemodialysis patients with hepatitis C virus infection: a nationwide retrospective study in Japan.	J Gastroenterol. 2018 Jan;53(1):119–128.	Original Article
68	Yoshikawa A, Terashita K, Morikawa K*, Matsuda S, Yamamura T, Sarashina K, Nakano S, Kobayashi Y, Sogabe S, Takahashi K, Haba S, Oda H, Takahashi T, Mivagishima T, Sakamoto N.	消化器内科	Interferon-free therapy with sofosbuvir plus ribavirin for successful treatment of genotype 2 hepatitis C virus with lichen planus: a case report.	Clin J Gastroenterol. 2017 Jun;10(3):270–273.	Original Article
69	Kawagishi N, Suda G, Onozawa M, Kimura M, Maehara O, Ito J, Nakai M, Sho T, Natsuizka M, Morikawa K, Ogawa K, Sakamoto N.	消化器内科	Hepatitis B virus reactivation during hepatitis C direct-acting antiviral therapy in patients with previous HBV infection.	J Hepatol. 2017 Nov;67(5):1106–1108.	Review
70	Suda G, Ogawa K, Yamamoto Y, Katagiri M, Furuya K, Kumagai K, Konno J, Kimura M, Kawagishi N, Ohara M, Umemura M, Ito J, Izumi T, Nakai M, Sho T, Natsuizaka M, Morikawa K, Tsubota A, Shimada N, Iio E, Tanaka Y.	消化器内科	Retreatment with sofosbuvir, ledipasvir, and add-on ribavirin for patients who failed daclatasvir and asunaprevir combination therapy.	J Gastroenterol. 2017 Oct;52(10):1122–1129.	Original Article
71	Kawamoto Y, Komatsu Y, Yuki S, Sawada K, Muranaka T, Harada K, Nakatsumi H, Fukushima H, Ishiguro A, Dazai M, Hatanaka K, Nakamura M, Iwanaga I, Uebayashi M, Sogabe S, Kobayashi Y, Mivagishima T, Ono K,	消化器内科	Study protocol of HGCSG1404 SNOW study: a phase I/II trial of combined chemotherapy of S-1, nab-paclitaxel and oxaliplatin administered biweekly to patients with advanced gastric cancer.	BMC Cancer. 2017 Dec 8;17(1):837.	Others
72	Nagashima K, Katsurada T, Sakamoto N	消化器内科	A Case of Olmesartan-associated Sprue-like Enteropathy	Clinical Gastroenterology and Hepatology, 2017: 13	Case report
73	Kadoguchi T, Takada S, Yokota T, Furihata T, Matsumoto J, Tsuda M, Mizushima W, Fukushima A, Okita K, Kinugawa S:	循環器内科	Deletion of NAD(P)H oxidase 2 prevents angiotensin II-induced skeletal muscle atrophy.	Biomed Res Int, 2018. Jan 2;2018:3194917	Original Article
74	Watanabe M, Feola I, Majumder R, Jangsangthong W, Teplenin AS, Ypey DL, SchaliJ MJ, Zeppenfeld K, de Vries AA, Pijnappels DA:	循環器内科	Optogenetic manipulation of anatomical re-entry by light-guided generation of a reversible local conduction block.	Cardiovasc Res, 2017. 113(3):354–366	Original Article
75	Yokoshiki H, Shimizu A, Mitsuhashi T, Furushima H, Sekiguchi Y, Manaka T, Nishii N, Ueyama T, Morita N, Nitta T, Okumura K:	循環器内科	Members of the Implantable Cardioverter-Defibrillator (ICD) Committee of the Japanese Heart Rhythm Society. Survival and Heart Failure Hospitalization in Patients with Cardiac Resynchronization Therapy with or without a Defibrillator for Regional interaction between myocardial sympathetic denervation, contractile dysfunction, and fibrosis in heart failure with preserved ejection fraction: 11C-hydroxyephedrine PET study.	Circ J, 2017. 81(12):1798–1806	Original Article
76	Aikawa T, Naya M, Obara M, Oyama-Manabe N, Manabe O, Magota K, Ito YM, Katoh C, Tamaki N:	循環器内科	Delayed contrast-enhanced computed tomography in patients with known or suspected cardiac sarcoidosis: a feasibility study.	Eur J Nucl Med Mol Imaging, 2017. 44(11):1897–1905	Original Article
77	Aikawa T, Oyama-Manabe N, Naya M, Ohira H, Sugimoto A, Tsujino I, Obara M, Manabe O, Kudo K, Tsutsui H, Tamaki N:	循環器内科	Relationships of left ventricular strain and strain rate to wall stress and their afterload dependency.	Eur Radiol, 2017. 27(10):4054–4063	Original Article
78	Murai D, Yamada S, Hayashi T, Okada K, Nishino H, Nakabachi M, Yokoyama S, Abe A, Ichikawa A, Ono K, Kaga S, Iwano H, Mikami T, Tsutsui H:	循環器内科	Overestimation by echocardiography of the peak systolic pressure gradient between the right ventricle and right atrium due to tricuspid regurgitation and the usefulness of the early diastolic transpulmonary valve pressure gradient for estimating	Heart Vessels, 2017. 32(5):574–583	Original Article
79	Hioka T, Kaga S, Mikami T, Okada K, Murayama M, Masauzi N, Nakabachi M, Nishino H, Yokoyama S, Nishida M, Iwano H, Sakakibara M, Yamada S, Tsutsui H:	検査・輸血部	Randomized trial of effect of urate-lowering agent febuxostat in chronic heart failure patients with hyperuricemia (LEAF-CHF): study design.	Heart Vessels, 2017. 32(7):833–842	Original Article
80	Yokota T, Fukushima A, Kinugawa S, Okumura T, Murohara T, Tsutsui H:	循環器内科	Pioglitazone improves whole-body aerobic capacity and skeletal muscle energy metabolism in patients with metabolic syndrome.	Int Heart J, 2018. (In press)	Original Article
81	Yokota T, Kinugawa S, Hirabayashi K, Suga T, Takada S, Omokawa M, Kadoguchi T, Takahashi M, Fukushima A, Okita K, Tsutsui H:	循環器内科	Impaired myocardial sympathetic innervation is associated with diastolic dysfunction in heart failure with preserved ejection fraction: 11C-hydroxyephedrine PET study.	J Diabetes Investig, 2017. 8(4):535–541	Original Article
82	Aikawa T, Naya M, Obara M, Manabe O, Tomiyama Y, Magota K, Yamada S, Katoh C, Tamaki N, Tsutsui H:	循環器内科	Early therapeutic effects of adaptive servo-ventilation on cardiac sympathetic nervous function in patients with heart failure evaluated using a combination of (11)C-HED PET and (123)I-MIBG SPECT.	J Nucl Cardiol, 2017. Nov 27. doi: 10.1007/s12350-017-1132-4	Original Article
83	Tokuda Y, Sakakibara M, Yoshinaga K, Yamada S, Kamiya K, Asakawa N, Yoshitani T, Noguchi K, Manabe O, Tamaki N, Tsutsui H:	循環器内科	Volume-based glucose metabolic analysis of FDG PET/CT: The optimum threshold and conditions to suppress physiological myocardial uptake	J Nucl Cardiol, 2017. Dec 14. doi: 10.1007/s12350-017-1122-6.	Original Article
84	Manabe O, Kroenke M, Aikawa T, Murayama A, Naya M, Masuda A, Oyama-Manabe N, Hirata K, Watanabe S, Shiga T, Katoh C, Tamaki N:	核医学診療科	Immunohistochemical identification of Propionibacterium acnes in granuloma and inflammatory cells of myocardial tissues obtained from cardiac sarcoidosis patients.	PLoS One, 2017.12(7): e0179980	Original Article
85	Asakawa N, Uchida K, Sakakibara M, Omote K, Noguchi K, Tokuda Y, Kamiya K, Hatanaka KC, Matsuno Y, Yamada S, Asakawa K, Fukasawa Y, Nagai T, Anzai T, Ikeda Y, Ishibashi-Ueda H, Hirota M, Orii M, Akasaka T,	循環器内科			

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
86	Anzai T.	循環器内科	Inflammatory Mechanisms of Cardiovascular Remodeling.	Circ J. 2018 Feb 23;82(3):629-635. doi: 10.1253/circj.CJ-18-0063. Epub 2018 Feb 7	Review
87	Manabe O, Oyama-Manabe N, Naya M, Aikawa T, Sakakibara M, Tsutsui H, Tamaki N.	核医学診療科	Pitfalls of 18F-FDG PET for evaluating myocardial viability.	J Nucl Cardiol. 2017 Jun;24(3):1110-1113.	Original Article
88	Aikawa T, Naya M, Oyama-Manabe N, Maekawa S, Nambu H, Mitsuyama H, Hirata K, Kanno-Okada H, Tsutsui H.	循環器内科	18F-FDG PET findings of pericardial lymphangiohemangioma.	J Nucl Cardiol. 2017 Jun;24(3):1107-1109.	Original Article
89	Satoshi Takeuchi, Eric M. Rohren, Reham Abdel-Wahab, Lianchun Xiao, Jeffrey S. Morris, Homer A. Macapinlac, Manal M. Hassan, and Ahmed O. Kaseb	腫瘍内科	Refining prognosis of patients with hepatocellular carcinoma through incorporation of metabolic imaging biomarkers	Eur J Nucl Med Mol Imaging 44:969-978, 2017	Original Article
90	Satoshi Takeuchi, Tomohiro Goda, Jun Taguchi, Yuichi Douhata, Rio Honma, Shin Ariga, Yoshihito Ohhara, Yasushi Shimizu, Ichiro Kinoshita, Izumi Fukuda, Yoji Nagashima, Hirotoshi Akita	腫瘍内科	Multidisciplinary Treatment in a Patient with a Solitary Fibrous Tumor	Internal Medicine (in press)	Case report
91	Oizumi S, Sugawara S, Minato K, Harada T, Inoue A, Fujita Y, Maemondo M, Watanabe S, Ito K, Gemma A, Demura Y, Fukumoto S, Isobe H, Kinoshita I, Morita S,	腫瘍内科	Updated survival outcomes of NEJ005/TCOG0902: a randomised phase II study of concurrent versus sequential alternating gefitinib and chemotherapy in previously untreated	ESMO Open. 2018 Feb 23;3(2):e000313.	Original Article
92	Ikezawa Y, Asahina H, Oizumi S, Watanabe M, Takamura K, Kawai Y, Yamada N, Harada T, Kinoshita I, Fujita Y, Miyauchi E, Ogi T, Amano T, Furuta M,	腫瘍内科	A randomized phase II trial of erlotinib vs. S-1 as a third- or fourth-line therapy for patients with wild-type EGFR non-small cell lung cancer (HOT1002).	Cancer Chemother Pharmacol. 2017 Nov;80(5):955-963.	Original Article
93	Shiba K, Fujita Y, Miyazawa H, Muramatsu K, Watanabe M, Nishimura M, Shinkuma S, Nomura T, Nishie W, Taguchi J, Kinoshita I, Shimizu H.	腫瘍内科	Thymoma-associated multi-organ autoimmunity: two cases and a review of the literature.	J Eur Acad Dermatol Venereol. 2017 Jul;31(7):e324-e326	Case report
94	Sakakibara-Konishi J, Ikezawa Y, Oizumi S, Kikuchi J, Kikuchi E, Mizugaki H, Kinoshita I, Dosaka-Akita H, Nishimura M.	腫瘍内科	Combined antitumor effect of γ -secretase inhibitor and ABT-737 in Notch-expressing non-small cell lung cancer.	Int J Clin Oncol. 2017 Apr;22(2):257-268.	Original Article
95	Takahashi.S	血液内科	Ruxolitinib protects skin stem cells and maintains skin homeostasis in murine graft-versus-host disease.	Blood、2018年3月3日、131巻、2074-2085ページ	Original Article
96	Shiratori S, Kosugi-Kanaya M, Hayase E, Okada K, Goto H, Sugita J, Onozawa M, Nakagawa M, Kahata K, Hashimoto D, Endo T, Kondo T, Teshima T.	血液内科	T-cell depletion effects of low-dose antithymocyte globulin for GVHD prophylaxis in HLA-matched allogeneic peripheral blood stem cell transplantation	Transpl Immunol. 2018 Feb;46:21-22.	Letter
97	Kahata.K	血液内科	TGF- β Family Signaling in Ductal Differentiation and Branching Morphogenesis.	Cold Spring Harb Perspect Biol. 2018 Mar 1;10(3). pii: a031997	Review
98	Kahata.K	血液内科	TGF- β Family Signaling in Epithelial Differentiation and Epithelial-Mesenchymal Transition.	Cold Spring Harb Perspect Biol. 2018 Jan 2;10(1). pii: a022194	Review
99	Eiko Hayase, Daigo Hashimoto, Kiminori Nakamura, Clara Noizat, Reiki Ogasawara, Shuichiro Takahashi, Hiroyuki Ohigashi, Yuki Yokoi, Rina Sugimoto, Satomi Matsuoka, Takahide Ara, Emi Yokovama, Tomohiro	血液内科	R-Spondin1 expands Paneth cells and prevents dysbiosis induced by graft-versus-host disease	Journal of Experimental Medicine. 2017 Dec 4;214(12):3507-3518.	Original Article
100	Yoshida T, Homma S, Shibasaki S, Shimokuni T, Sakihama H, Takahashi N, Kawamura H, Taketomi A.	消化器外科 I	Postoperative analgesia using fentanyl plus celecoxib versus epidural anesthesia after laparoscopic colon resection.	Surg Today. 2017 Feb;47(2):174-181.	Original Article
101	Wakayama K, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A.	消化器外科 I	Huge hepatocellular carcinoma greater than 10 cm in diameter worsens prognosis by causing distant recurrence after curative resection.	J Surg Oncol. 2017 Mar;115(3):324-329.	Original Article
102	Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Einama T, Kakisaka T, Kamachi H, Taketomi A.	消化器外科 I	Clinicopathological Characteristics of Hepatocellular Carcinoma with Microscopic Portal Venous Invasion and the Role of Anatomical Liver Resection in These Cases.	World J Surg. 2017 Aug;41(8):2087-2094.	Original Article
103	Einama T, Abe H, Shichi S, Matsui H, Kanazawa R, Shibuya K, Suzuki T, Matsuzawa F, Hashimoto T, Kohei N, Homma S, Kawamura H, Taketomi A.	消化器外科 I	Long-term survival and prognosis associated with conversion surgery in patients with metastatic gastric cancer.	Mol Clin Oncol. 2017 Feb;6(2):163-166.	Original Article
104	Ohata T, Yokoo H, Kamiyama T, Fukai M, Aiyama T, Hatanaka Y, Hatanaka K, Wakayama K, Orimo T, Kakisaka T, Kobayashi N, Matsuno Y, Taketomi A.	消化器外科 I	Fatty acid-binding protein 5 function in hepatocellular carcinoma through induction of epithelial-mesenchymal transition.	Cancer Med. 2017 May;6(5):1049-1061.	Original Article
105	Kawamura H, Ohno Y, Ichikawa N, Yoshida T, Homma S, Takahashi M, Taketomi A.	消化器外科 I	Anastomotic complications after laparoscopic total gastrectomy with esophagojejunostomy constructed by circular stapler (OrVi [™]) versus linear stapler (overlap method).	Surg Endosc. 2017 May 9. 31(12): 5175-5182.	Original Article
106	Shoji H, Yoshio S, Mano Y, Doi H, Sugiyama M, Osawa Y, Kimura K, Arai T, Itokawa N, Atsukawa M, Aoki Y, Fukai M, Taketomi A, Mizokami M, Kanto T.	消化器外科 I	Pro-angiogenic TIE-2-expressing monocytes/TEMs as a biomarker of the effect of sorafenib in patients with advanced hepatocellular carcinoma.	Int J Cancer. 2017 Sep 1;141(5):1011-1017.	Original Article
107	Ohno Y, Toyoshima Y, Yurino H, Monma N, Xiang H, Sumida K, Kaneumi S, Terada S, Hashimoto S, Ikeo K, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A, Kitamura H.	消化器外科 I	Lack of interleukin-6 in the tumor microenvironment augments type-1 immunity and increases the efficacy of cancer immunotherapy.	Cancer Sci. 2017 Oct;108(10):1959-1966.	Original Article
108	Homma S, Kawamata F, Yoshida T, Ohno Y, Ichikawa N, Shibasaki S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A.	消化器外科 I	The Balance Between Surgical Resident Education and Patient Safety in Laparoscopic Colorectal Surgery: Surgical Resident's Performance has No Negative Impact.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2017 Aug;27(4):295-300.	Original Article
109	Ohba G, Yamamoto H, Nakayama M, Honda S, Taketomi A.	消化器外科 I	Single-stage operation for perforated choledochal cyst.	Pediatr Surg. 2017 Jul 21. pii: S0022-3468(17)30429-3.	Original Article
110	Kamiyama T, Orimo T, Wakayama K, Shimada S, Nagatsu A, Yokoo H, Kamachi H, Yamashita K, Shimamura T, Taketomi A.	消化器外科 I	Survival outcomes of hepatectomy for stage B Hepatocellular carcinoma in the BCLC classification.	World J Surg Oncol. 2017 Aug 22;15(1):156.	Original Article
111	Orimo T, Kamiyama T, Yokoo H, Wakayama K, Shimada S, Einama T, Kamachi H, Taketomi A.	消化器外科 I	Salvage Hepatectomy for recurrent hepatocellular carcinoma after radiofrequency ablation and/or transcatheter arterial chemoembolization: a propensity score-matched analysis.	Dig Surg. 2017 Sep 14. doi: 10.1159/000480521.	Original Article
112	Matsuzawa F, Homma S, Yoshida T, Konishi Y, Shibasaki S, Ishikawa T, Kawamura H, Takahashi N, Iijima H, Taketomi A.	消化器外科 I	Serosal Laceration During Firing of Powered Linear Stapler Is a Predictor of Staple Malformation.	Surg Innov. 2017 Dec;24(6):590-597.	Original Article
113	Einama T, Kawamata F, Kamachi H, Nishihara H, Homma S, Matsuzawa F, Mizukami T, Konishi Y, Kamiyama T, Yamamoto J, Taketomi A, Todo S.	消化器外科 I	Mesothelin-Specific Immune Responses and Targeted Immunotherapy for Mesothelin-Expressing Tumors.	EBioMedicine. 2017 Oct;24:16-17.	Original Article
114	Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Ohno Y, Kawamura H, Wakizaka K, Nakanishi K, Kazui K, Iijima H, Shomura H, Funakoshi T, Nakano S, Taketomi A.	消化器外科 I	Mentor Tutoring: An Efficient Method for Teaching Laparoscopic Colorectal Surgical Skills in a General Hospital.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2017 Dec;27(6):479-484.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
115	Kamachi H, Kamiyama T, Tsuruga Y, Orimo T, Wakayama K, Shimada S, Kakisaka T, Yokoo H, Yamashita K, Taketomi A.	消化器外科 I	Transparenchymal glissonean approach: a novel surgical technique for advanced perihilar bile duct cancer.	Langenbecks Arch Surg. 2017 Oct 23. doi: 10.1007/s00423-017-1633-2.	Original Article
116	Kawamata F, Patch AM, Nones K, Bond C, McKeone D, Pearson SA, Homma S, Liu C, Fennell L, Dumenil T, Hartel G, Kobayasi N, Yokoo H, Fukai M, Nishihara H, Kamiyama T, Burge ME, Karapetis CS, Taketomi A.	消化器外科 I	Copy number profiles of paired primary and metastatic colorectal cancers.	Oncotarget. 2017 Dec 15;9(3):3394-3405.	Original Article
117	Hishiki T, Watanabe K, Ida K, Hoshino K, Iehara T, Aoki Y, Kazama T, Kihira K, Takama Y, Taguchi T, Fujimura J, Honda S, Matsumoto K, Mori M, Yano M, Yokoi A, Tanaka Y, Fujii H, Miyazaki O, Yoshimura K, Takimoto	消化器外科 I	The role of pulmonary metastasectomy for hepatoblastoma in children with metastasis at diagnosis: Results from the JPLT-2 study.	J Pediatr Surg. 52(12):2051-2055.	Original Article
118	Wada Y, Kamishima T, Shimamura T, Kawamura N, Yamashita K, Sutherland K, Takeda H.	消化器外科 I	Pre-operative volume rather than area of skeletal muscle is a better predictor for post-operative risks for respiratory complications in living-donor liver transplantation.	Br. J Radiol. Apr;90, 1072-1077, 2017	Original Article
119	Honda S, Minato M, Miyagi H, Okada H, Taketomi A.	消化器外科 I	Anal canal duplication presenting with abscess formation.	Pediatr Int. 2017 Apr;59(4):500-501.	Case report
120	Miyazawa H, Yanagi T, Yamaguchi Y, Imafuku K, Kitamura S, Hata H, Uehara J, Ichikawa N, Ohno Y, Yoshida T, Homma S, Kawamura H, Taketomi A, Shimizu H.	消化器外科 I	Two cases of melanomas paradoxically metastasizing to the intestinal tract during nivolumab therapy.	J Dermatol. 2017 Aug;44(8):959-962.	Case report
121	Chida K, Nakanishi K, Shomura H, Homma S, Hattori A, Kazui K, Taketomi A.	消化器外科 I	Spontaneous regression of transverse colon cancer: a case report.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):65.	Case report
122	Ishiguro Y, Homma S, Yoshida T, Ohno Y, Ichikawa N, Kawamura H, Hata H, Kase S, Ishida S, Okada-Kanno H, Hatanaka KC, Taketomi A.	消化器外科 I	Usefulness of PET/CT for early detection of internal malignancies in patients with Muir-Torre syndrome: report of two cases.	Surg Case Rep. 2017 Dec;3(1):71.	Case report
123	Shibuya K, Kawamura H, Tahara M, Takahashi M, Taketomi A.	消化器外科 I	Laparoscopic Cholecystectomy in a Child Using Slender Forceps.	APSP J Case Rep. 2017 May 1;8(3):18.	Case report
124	Nagatsu A, Yoshizumi T, Ikegami T, Harimoto N, Harada N, Soejima Y, Taketomi A, Maehara Y.	消化器外科 I	In Situ Posterior Graft Segmentectomy for Large-for-Size Syndrome in Deceased Donor Liver Transplantation in Adults: A Case Report.	Transplant Proc. 2017 Jun;49(5):1199-1201.	Case report
125	Shibata K, Kawamura H, Ichikawa N, Shibuya K, Yoshida T, Ohno Y, Homma S, Taketomi A.	消化器外科 I	Laparoscopic total gastrectomy for advanced gastric cancer in a patient with situs inversus totalis.	Asian J Endosc Surg. 2017 Jul 5. doi: 10.1111/ases.12404.	Case report
126	Sakamoto S, Goto R, Kawamura N, Koshizuka Y, Watanabe M, Ota M, Suzuki T, Abo D, Yamashita K, Kamiyama T, Taketomi A, Shimamura T.	消化器外科 I	Petersen’s hernia after living donor liver transplantation.	Surg Case Rep. 2017 Aug 23;3(1):89.	Case report
127	Ishikawa T, Nishikawa M, Nakamoto H, Yokoyama R, Taketomi A.	消化器外科 I	Laparoscopic anterior resection for rectal cancer in a patient with a ventriculoperitoneal shunt.	Asian J Endosc Surg. 2017 Dec 19. doi: 10.1111/ases.12444.	Case report
128	Kawamura N, Kamiyama T, Yokoo H, Kakisaka T, Orimo T, Wakayama K, Tsuruga Y, Kamachi H, Hatanaka K, Taketomi A.	消化器外科 I	Hepatectomy for liver metastasis from gastrointestinal stromal tumor in the era of imatinib mesylate: a case series study.	Int Canc Conf J. 6, 121-125, 2017	Case report
129	Kitamura H, Ohno Y, Toyoshima Y, Ohtake J, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Taketomi A.	消化器外科 I	Interleukin-6/STAT3 signaling as a promising target to improve the efficacy of cancer immunotherapy.	Cancer Sci. 2017 Oct;108(10):1947-1952.	Original Article
130	Nakamura T, Katagiri T, Sato S, Kushibiki T, Hontani K, Tsuchikawa T, Hirano S, Nakamura Y	消化器外科II	Overexpression of C16orf74 is involved in aggressive pancreatic cancers.	Oncotarget•2017.7•8:31:50460-50475	Original Article
131	Nitta T, Nakamura T, Mitsunashi T, Asano T, Okamura K, Tsuchikawa T, Tamoto E, Murakami S, Noji T, Kurashima Y, Ebihara Y, Nakanishi Y, Shichinohe T, Hirano S	消化器外科II	The impact of margin status determined by the one-millimeter rule on tumor recurrence and survival following pancreaticoduodenectomy for pancreatic ductal adenocarcinoma.	Surg Today•2017.4•47:4:490-497	Original Article
132	Kurashima Y, Hirano S	消化器外科II	Systematic Review of the Implementation of Simulation Training in Surgical Residency Curriculum.	Surg Today•2017.4•47:4:777-782	Original Article
133	Okamura K, Tanaka K, Miura T, Nakanishi Y, Noji T, Nakamura T, Tsuchikawa T, Okamura K, Shichinohe T, Hirano S	消化器外科II	Randomized controlled trial of perioperative antimicrobial therapy based on the results of preoperative bile cultures in patients undergoing biliary reconstruction.	J Hepatobiliary Pancreat Sci•2017.7•24:7:382-393	Original Article
134	Fukuda N, Shichinohe T, Ebihara Y, Nakanishi Y, Asano T, Noji T, Kurashima Y, Nakamura T, Murakami S, Tsuchikawa T, Okamura K, Hirano S	消化器外科II	Thoracoscopic Esophagectomy in the Prone Position Versus the Lateral Position (Hand-assisted Thoracoscopic Surgery): A Retrospective Cohort Study of 127 Consecutive Esophageal Cancer Patients.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech•2017.6•27:3•179-182	Original Article
135	Narasaki H, Noji T, Wada H, Ebihara Y, Tsuchikawa T, Okamura K, Tanaka E, Shichinohe T, Hirano S	消化器外科II	Intraoperative Real-Time Assessment of Liver Function with Near-Infrared Fluorescence Imaging.	Eur Surg Res•2017.6•58:5-6:235-245	Original Article
136	Umemoto K, Nakanishi Y, Murakawa K, Suzuki T, Yamamura Y, Ono K, Hirano S	消化器外科II	Laparoscopic segmental duodenectomy for a gastrointestinal stromal tumor located in the second portion of the duodenum: A case report.	Asian J Endosc Surg•2017.11•10:4:411-414	Case report
137	Tanaka K, Ebihara Y, Kurashima Y, Nakanishi Y, Asano T, Noji T, Murakami S, Nakamura T, Tsuchikawa T, Okamura K, Shichinohe T, Hirano S	消化器外科II	Laparoscopic proximal gastrectomy with oblique jejunogastrostomy.	Langenbecks Arch Surg•2017.9•402:6:995-1002	Original Article
138	Kushibiki T, Noji T, Ebihara Y, Hontani K, Ono M, Kuwabara S, Nakamura T, Tsuchikawa T, Okamura K, Ishizuka M, Hirano S	消化器外科II	5-Aminolevulinic-acid-mediated Photodynamic Diagnosis Enhances the Detection of Peritoneal Metastases in Biliary Tract Cancer in Mice.	InVivo•2017:9-10•31:5:905-908	Original Article
139	Tsuchikawa T, Noji T, Nakanishi Y, Tanaka K, Murakami S, Kurashima Y, Ebihara Y, Shichinohe T, Ito YM Ito, Hirano S	消化器外科II	Delayed Gastric Emptying in Side-to-Side Gastrojejunostomy in Pancreaticoduodenectomy: Result of a Propensity Score Matching.	J Gastrointest Surg•2017.10•21:10:1635-1642	Original Article
140	Sato S, Nakamura T, Katagiri T, Tsuchikawa T, Kushibiki T, Hontani K, Takahashi M, Inoko K, Takano H, Abe H, Takeuchi S, Ono M, Kuwabara S, Umemoto K, Suzuki T, Sato O, Nakamura Y, Hirano S	消化器外科II	Molecular targeting of cell-permeable peptide inhibits pancreatic ductal adenocarcinoma cell proliferation.	Oncotarget•2017.10•8:69•113662-113672	Original Article
141	Hontani K, Tsuchikawa T, Hiwasa T, Nakamura T, Ueno T, Kushibiki T, Takahashi M, Inoko K, Takano H, Takeuchi S, Dosaka-Akita H, Kuwatani M, Sakamoto N, Hatanaka Y, Mitsunashi T, Shimada H, Shichinohe T,	消化器外科II	Identification of novel serum autoantibodies against EID3 in non-functional pancreatic neuroendocrine tumors.	Oncotarget•2017.10•8:63•106202-106221	Original Article
142	Kawamura T, Noji T, Okamura K, Tanaka K, Nakanishi Y, Asano T, Ebihara Y, Kurashima Y, Nakamura T, Murakami S, Tsuchikawa T, Shichinohe T, Hirano S	消化器外科II	Postoperative liver failure criteria for predicting mortality after major hepatectomy with extrahepatic bile duct resection.	Digest Surg•2018.2•Epub	Original Article
143	Noji T, Kurashima Y, Nakanishi Y, Asano T, Ebihara Y, Nakamura T, Murakami S, Tsuchikawa T, Okamura K, Shichinohe T, Mitsunashi T, Hirano S	消化器外科II	Biliary stricture due to a migrated suture after laparoscopic distal gastrectomy.	Asian J Endosc Surg•2018.1•Epub	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
144	Wada M, Tsuchikawa T, Kyogoku N, Abiko T, Miyauchi K, Takeuchi S, Kuwatani T, Shichinohe T, Miahara Y, Kageyama S, Ikeda H, Shiku H, Hirano S	消化器外科II	Clinical Implications of CD4+CD25+Foxp3+Regulatory T Cell Frequencies After CHP-MAGE-A4 Cancer Vaccination.	Anticancer Res•2018.3•38:3•1435-1444	Original Article
145	Miyasaka M, Noji T, Ohtaka K, Chiba R, Sato S, Shoji Y, Hase R, Ichimura T, Hirano S, Senmaru N	消化器外科II	Long-term survival after repeated resection of metachronous lung metastases from pStage IA pancreatic adenocarcinoma.	Clin J Gastroenterol•2018.2•11:1•53—61	Original Article
146	Ebata T, Hirano S, Konishi M, Uesaka K, Tsuchiya Y, Ohtsuka M, Kaneoka Y, Yamamoto M, Ambo Y, Shimizu Y, Ozawa F, Fukutomi A, Ando M, Nimura Y, Nagino M, Bile Duct Cancer Adjuvant Trial (BCAT) Study Group	消化器外科II	Randomized clinical trial of adjuvant gemcitabine chemotherapy versus observation in resected bile duct cancer.	Br J Surg•2018.2•105:3•192-202	Original Article
147	Asai H, Tachibana T, Shingu Y, Kato H, Wakasa S, Matsui Y.	循環器・呼吸器外科	Modified total cavopulmonary shunt as a staged Fontan operation.	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2017 Jan 1:218492317692466.	Original Article
148	Shingu Y, Yokota T, Takada S, Niwano H, Ooka T, Katoh H, Tachibana T, Kubota S, Matsui Y.	循環器・呼吸器外科	Decreased gene expression of fatty acid binding protein 3 in the atrium of patients with new onset of atrial fibrillation in cardiac perioperative phase.	J Cardiol.2018 Jan;71(1):65-70.	Original Article
149	Asai H, Tachibana T, Shingu Y, Matsui Y.	循環器・呼吸器外科	Ex utero intrapartum treatment-to-extracorporeal membrane oxygenation followed by cardiac operation for truncus arteriosus communis.	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2018 Feb 1;26(2):353-354.	Original Article
150	hiiya H, Hida Y, Kaga K, Inoue R, Nakada-Kubota R, Matsui Y.	循環器・呼吸器外科	xtrapleural pneumonectomy of recurrent thymoma with pleural dissemination.	espirol Case Rep. 2018 Feb 28;6(4):e00308.	Original Article
151	Seki T, Shingu Y, Sugiki H, Wakasa S, Katoh H, Ooka T, Tachibana T, Kubota S, Matsui Y.	循環器・呼吸器外科	Anticoagulation management during cardiopulmonary bypass in patients with antiphospholipid syndrome.	J Artif Organs. 2018 Mar 14.	Original Article
152	Shingu Y, Sugiki H, Ooka T, Kato H, Wakasa S, Tachibana T, Matsui Y.	循環器・呼吸器外科	Surgery for Left Ventricular Outflow Tract Obstruction with a Relatively Thin Interventricular Septum.	Thorac Cardiovasc Surg. 2018 Jun;66(4):307-312	Original Article
153	Motomiya M, Funakoshi T, Ishizaka K, Nishida M, Matsui Y, Iwasaki N.	整形外科	Blood Flow Changes in Subsynovial Connective Tissue on Contrast-Enhanced Ultrasonography in Patients With Carpal Tunnel Syndrome Before and After Surgical Decompression.	J Ultrasound Med. 2017 Nov 24. doi: 10.1002/jum.14500. [Epub ahead of print]	Original Article
154	Sakamoto Y, Yamamoto T, Sugano N, Takahashi D, Watanabe T, Atsumi T, Nakamura J, Hasegawa Y, Akashi K, Narita I, Miyamoto T, Takeuchi T, Ikari K, Amano K, Fujiie A, Kubo T, Tada Y, Kaneuji A, Nakamura H,	整形外科	Japanese Research Committee on Idiopathic Osteonecrosis of the Femoral Head, Akiyama M, Kubo M, Kamatani Y, Iwamoto Y, Ikegawa S. Genome-wide Association Study of Idiopathic Osteonecrosis of the Femoral Head.	Sci Rep. 2017 Nov 8;7(1):15035. doi: 10.1038/s41598-017-14778-y.	Original Article
155	Terkawi MA, Hamasaki M, Takahashi D, Ota M, Kadoya K, Yutani T, Uetsuki K, Asano T, Irie T, Arai R, Onodera T, Takahata M, Iwasaki N.	整形外科	Transcriptional profile of human macrophages stimulated by ultra-high molecular weight polyethylene particulate debris of orthopedic implants uncovers a common gene expression signature of rheumatoid arthritis.	Acta Biomater. 2018 Jan;65:417-425. doi: 10.1016/j.actbio.2017.11.001. Epub 2017 Nov 3.	Original Article
156	Seito N, Onodera T, Kasahara Y, Kondo E, Iwasaki N, Majima T.	整形外科	Preoperative knee deformity and kinematics impact postoperative knee kinematics in total knee arthroplasty.	Knee. 2017 Dec;24(6):1462-1468. doi: 10.1016/j.knee.2017.08.056. Epub 2017 Sep 30.	Original Article
157	Hiratsuka S, Takahata M, Shimizu T, Hamano H, Ota M, Sato D, Iwasaki N.	整形外科	Drug therapy targeting pyrophosphate slows the ossification of spinal ligaments in twy mice.	J Orthop Res. 2018 Apr;36(4):1256-1261. doi: 10.1002/jor.23743. Epub 2017 Oct 9.	Original Article
158	Kokabu T, Takahata M, Ishiguro N, Iwasaki N.	整形外科	Long-term prognosis of hematogenous vertebral osteomyelitis: Mortality, quality of life, and pain.	J Orthop Sci. 2017 Sep;22(5):822-827. doi: 10.1016/j.jos.2017.05.017. Epub 2017 Jun 21.	Original Article
159	Ohnishi T, Sudo H, Tsujimoto T, Iwasaki N.	整形外科	Age-related spontaneous lumbar intervertebral disc degeneration in a mouse model.	J Orthop Res. 2018 Jan;36(1):224-232. doi: 10.1002/jor.23634. Epub 2017 Jul 9.	Original Article
160	Iwata A, Kanayama M, Oha F, Hashimoto T, Iwasaki N.	整形外科	Effect of teriparatide (rh-PTH 1-34) versus bisphosphonate on the healing of osteoporotic vertebral compression fracture: A retrospective comparative study.	BMC Musculoskelet Disord. 2017 Apr 7;18(1):148. doi: 10.1186/s12891-017-1509-1.	Original Article
161	Matsumae G, Motomiya M, Watanabe N, Iwasaki N.	整形外科	“Half-folded” pedicled scapular bone flap for nonunion after humeral neck fracture: A case report.	Microsurgery. 2017 Sep;37(6):689-693. doi: 10.1002/micr.30175. Epub 2017 Mar 28.	Case report
162	Iwata A, Takahata M, Kadoya K, Sudo H, Kokabu T, Yamada K, Iwasaki N.	整形外科	Effective Repair of Dural Tear Using Bioabsorbable Sheet With Fibrin Glue.	Spine (Phila Pa 1976). 2017 Sep 15;42(18):1362-1366. doi: 10.1097/BRS.0000000000002095.	Original Article
163	Ushiku C, Suda K, Matsumoto S, Komatsu M, Takahata M, Iwasaki N, Minami A.	整形外科	Dural penetration caused by a vertebral bone fragment in a lumbar burst fracture: a case report.	Spinal Cord Ser Cases. 2017 Jan 12;3:16040. doi: 10.1038/scsandc.2016.40. eCollection 2017.	Case report
164	Sato Y, Mera H, Takahashi D, Majima T, Iwasaki N, Wakitani S, Takagi M.	整形外科	Synergistic effect of ascorbic acid and collagen addition on the increase in type 2 collagen accumulation in cartilage-like MSC sheet.	Cytotechnology. 2017 Jun;69(3):405-416. doi: 10.1007/s10616-015-9924-3. Epub 2015 Nov 16.	Original Article
165	Takahata M, Abumi K, Sudo H, Nagahama K, Iwasaki N.	整形外科	Cervical myelopathy due to atraumatic odontoid fracture in patients with rheumatoid arthritis: A case series.	Mod Rheumatol. 2017 Sep;27(5):901-904. doi: 10.3109/14397595.2015.1029222. Epub 2015 Jun 29.	Case report
166	Meyer MA, McCarthy MA, Gitelis ME, Poland SG, Urita A, Chubinskaya S, Yanke AB, Cole BJ.	整形外科	Effectiveness of Lavage Techniques in Removing Immunogenic Elements from Osteochondral Allografts.	Cartilage. 2017 Oct;8(4):369-373. doi: 10.1177/1947603516681132. Epub 2016 Dec 9.	Original Article
167	Yanke AB, Urita A, Shin JJ, Cvetanovich GL, Moran EK, Bach BR Jr, Cole BJ, Inoue N, Verma NN.	整形外科	Topographic Analysis of the Distal Femoral Condyle Articular Cartilage Surface: Adequacy of the Graft from Opposite Condyles of the Same or Different Size for the Osteochondral Allograft Transplantation.	Cartilage. 2018 Jan 1:1947603517752056. doi: 10.1177/1947603517752056. [Epub ahead of print]	Original Article
168	Yamashita M, Matsumoto K, Endo T, Ukibe K, Hosoya T, Matsubara Y, Nakagawa H, Sakai F, Miyazaki T.	整形外科	Preventive Effect of Lactobacillus helveticus SBT2171 on Collagen-Induced Arthritis in Mice.	Front Microbiol. 2017 Jun 21;8:1159. doi: 10.3389/fmicb.2017.01159. eCollection 2017.	Original Article
169	Kabir MA, Murata M, Akazawa T, Kusano K, Yamada K, Ito M.	整形外科	Evaluation of perforated demineralized dentin scaffold on bone regeneration in critical-size sheep iliac defects.	Clin Oral Implants Res. 2017 Nov;28(11):e227-e235. doi: 10.1111/clr.13000. Epub 2017 Jan 17.	Original Article
170	Ogura Y, Kou I, Takahashi Y, Takeda K, Minami S, Kawakami N, Uno K, Ito M, Yonezawa I, Kaito T, Yanagida H, Watanabe K, Taneichi H, Harimaya K, Taniguchi Y, Kotani T, Tsuji T, Suzuki T, Sudo H, Fujita	整形外科	A functional variant in MIR4300HG, the host gene of microRNA MIR4300 is associated with progression of adolescent idiopathic scoliosis.	Hum Mol Genet. 2017 Oct 15;26(20):4086-4092. doi: 10.1093/hmg/ddx291.	Original Article
171	Takahashi Y, Kou I, Ogura Y, Miyake A, Takeda K, Nakajima M, Minami S, Kawakami N, Uno K, Ito M, Yonezawa I, Kaito T, Yanagida H, Watanabe K, Taneichi H, Harimaya K, Taniguchi Y, Kotani T, Tsuji T, Suzuki	整形外科	A Replication Study for the Association of rs11190870 With Curve Severity in Adolescent Idiopathic Scoliosis in Japanese.	Spine (Phila Pa 1976). 2018 May 15;43(10):688-692. doi: 10.1097/BRS.0000000000002413.	Original Article
172	Onodera J, Yasuda K, Masuda T, Tanabe Y, Kitamura M, Yagi T, Kondo E.	整形外科	Is the Grafted Tendon Shifted Anteriorly in the Femoral Tunnel at the Postremodeling Phase After Anterior Cruciate Ligament Reconstruction? A Clinical MRI Study.	Orthop J Sports Med. 2017 Jun 20;5(6):2325967117711120. doi: 10.1177/2325967117711120. eCollection 2017 Jun.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
173	Nakayama K, Yamamoto S, Uetake K, Yamada M, Tozawa Y, Ueki M, Takezaki S, Nishimura H, Nakamaru Y, Mitsuhashi T, Oyama-Manabe N, Sakamoto K, Arai R, Ariga T.	整形外科	Relapsing Polychondritis With Increased Bone Marrow Signal on Magnetic Resonance Imaging in a 13-Year-Old Girl.	J Clin Rheumatol. 2018 Jan;24(1):52-54. doi: 10.1097/RHU.0000000000000578.	Case report
174	Kato K, Kamishima T, Kondo E, Onodera T, Ichikawa S.	整形外科	Quantitative knee cartilage measurement at MR imaging of patients with anterior cruciate ligament tear.	Radiol Phys Technol. 2017 Dec;10(4):431-438. doi: 10.1007/s12194-017-0415-4. Epub 2017 Aug 18.	Original Article
175	Furukawa JI, Soga M, Okada K, Yokota I, Piao J, Irie T, Era T, Shinohara Y.	整形外科	Impact of the Niemann-Pick c1 Gene Mutation on the Total Cellular Glycomics of CHO Cells.	J Proteome Res. 2017 Aug 4;16(8):2802-2810. doi: 10.1021/acs.jproteome.7b00070. Epub 2017 Jul 3.	Original Article
176	Beier EE, Sheu TJ, Resseguie EA, Takahata M, Awad HA, Cory-Slechta DA, Puzas JE.	整形外科	Sclerostin activity plays a key role in the negative effect of glucocorticoid signaling on osteoblast function in mice.	Bone Res. 2017 May 9;5:17013. doi: 10.1038/boneres.2017.13. eCollection 2017.	Original Article
177	Shimizu T, Choi HJ, Heilmeier U, Tanaka M, Burghardt AJ, Gong J, Chanchek N, Link TM, Graf J, Imboden JB, Li X.	整形外科	Assessment of 3-month changes in bone microstructure under anti-TNF α therapy in patients with rheumatoid arthritis using high-resolution peripheral quantitative computed tomography (HR-pQCT).	Arthritis Res Ther. 2017 Oct 4;19(1):222. doi: 10.1186/s13075-017-1430-x.	Original Article
178	El-Sayed SAE, Rizk MA, Terkawi MA, Yokoyama N, Igarashi I.	整形外科	Molecular identification and antigenic characterization of Babesia divergens Erythrocyte Binding Protein (BdEBP) as a potential vaccine candidate.	Parasitol Int. 2017 Dec;66(6):721-726. doi: 10.1016/j.parint.2017.07.004. Epub 2017 Jul 22.	Original Article
179	Fereig RM, Kuroda Y, Terkawi MA, Mahmoud ME, Nishikawa Y.	整形外科	Immunization with Toxoplasma gondii peroxiredoxin 1 induces protective immunity against toxoplasmosis in mice.	PLoS One. 2017 Apr 27;12(4):e0176324. doi: 10.1371/journal.pone.0176324. eCollection 2017.	Original Article
180	Kimura-Suda H, Takahata M, Ito T, Shimizu T, Kanazawa K, Ota M, Iwasaki N.	整形外科	Quick and easy sample preparation without resin embedding for the bone quality assessment of fresh calcified bone using fourier transform infrared imaging.	PLoS One. 2018 Feb 6;13(2):e0189650. doi: 10.1371/journal.pone.0189650. eCollection 2018.	Original Article
181	Furukawa JI, Okada K, Shinohara Y.	整形外科	Glycomics of human embryonic stem cells and human induced pluripotent stem cells.	Glycoconj J. 2017 Dec;34(6):807-815. doi: 10.1007/s10719-017-9800-9. Epub 2017 Nov 18.	Original Article
182	Guswanto A, Allamanda P, Mariamah ES, Munkjargal T, Tuvshintulga B, Takemae H, Sivakumar T, AbouLaila M, Terkawi MA, Ichikawa-Seki M, Nishikawa Y, Yokoyama N, Igarashi I.	整形外科	Evaluation of immunochromatographic test (ICT) strips for the serological detection of Babesia bovis and Babesia bigemina infection in cattle from Western Java, Indonesia.	Vet Parasitol. 2017 May 30;239:76-79. doi: 10.1016/j.vetpar.2017.04.010. Epub 2017 Apr 10.	Original Article
183	Tuvshintulga B, AbouLaila M, Sivakumar T, Tayebwa DS, Gantuya S, Naranbaatar K, Ishiyama A, Iwatsuki M, Otoguro K, Ōmura S, Terkawi MA, Guswanto A, Rizk MA, Yokoyama N, Igarashi I.	整形外科	Chemotherapeutic efficacies of a clofazimine and diminazene aceturate combination against piroplasm parasites and their AT-rich DNA-binding activity on Babesia bovis.	Sci Rep. 2017 Oct 24;7(1):13888. doi: 10.1038/s41598-017-14304-0.	Original Article
184	Mousa AA, Roche DB, Terkawi MA, Kameyama K, Kamyngkird K, Vudriko P, Salama A, Cao S, Orabi S, Khalifa H, Ahmed M, Attia M, Elkirdasy A, Nishikawa Y, Xuan X, Cornillot E.	整形外科	Human babesiosis: Indication of a molecular mimicry between thrombospondin domains from a novel Babesia microti Bmp53 protein and host platelets molecules.	PLoS One. 2017 Oct 17;12(10):e0185372. doi: 10.1371/journal.pone.0185372. eCollection 2017.	Original Article
185	Ishimoto T, Yamada K, Takahashi H, Takahata M, Ito M, Hanawa T, Nakano T.	整形外科	Trabecular health of vertebrae based on anisotropy in trabecular architecture and collagen/apatite micro-arrangement after implantation of intervertebral fusion cages in the sheep spine.	Bone. 2018 Mar;108:25-33. doi: 10.1016/j.bone.2017.12.012. Epub 2017 Dec 11.	Original Article
186	Adler AF, Lee-Kubli C, Kumamaru H, Kadoya K, Tuszyński MH.	整形外科	Comprehensive Monosynaptic Rabies Virus Mapping of Host Connectivity with Neural Progenitor Grafts after Spinal Cord Injury.	Stem Cell Reports. 2017 Jun 6;8(6):1525-1533. doi: 10.1016/j.stemcr.2017.04.004. Epub 2017 May 4.	Original Article
187	Dulin JN, Adler AF, Kumamaru H, Poplawski GHD, Lee-Kubli C, Strobl H, Gibbs D, Kadoya K, Fawcett JW, Lu P, Tuszyński MH.	整形外科	Injured adult motor and sensory axons regenerate into appropriate organotypic domains of neural progenitor grafts.	Nat Commun. 2018 Jan 8;9(1):84. doi: 10.1038/s41467-017-02613-x.	Original Article
188	Ota M, Takahata M, Shimizu T, Kanehira Y, Kimura-Suda H, Kameda Y, Hamano H, Hiratsuka S, Sato D, Iwasaki N.	整形外科	Efficacy and safety of osteoporosis medications in a rat model of late-stage chronic kidney disease accompanied by secondary hyperparathyroidism and hyperphosphatemia.	Osteoporos Int. 2017 Apr;28(4):1481-1490. doi: 10.1007/s00198-016-3861-7. Epub 2016 Dec 8.	Original Article
189	Kitamura N, Yasuda K, Yokota M, Goto K, Wasa S, Onodera J, Kondo E.	整形外科	The Effect of intraoperative graft coverage with preserved remnant tissue on the results of the pivot-shift test after anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction: quantitative evaluations with an electromagnetic	Am J Sports Med. 2017 Aug;45(10):2217-2225. doi: 10.1177/0363546517706702. Epub 2017 May 25.	Original Article
190	Sudo H, Abe Y, Kokabu T, Kuroki K, Iwata A, Iwasaki N.	整形外科	Impact of multilevel facetectomy and rod curvature on anatomical spinal reconstruction in thoracic adolescent idiopathic scoliosis.	Spine (Phila Pa 1976). 2018 Mar 9. doi: 10.1097/BRS.0000000000002628. [Epub ahead of print]	Original Article
191	Takeda K, Kou I, Kawakami N, Yasuhiko Y, Ogura Y, Imagawa E, Miyake N, Matsumoto N, Sudo H, Kotani T. Japan Early Onset Scoliosis Research Group, Nakamura M, Matsumoto M, Watanabe K, Ikegawa S.	整形外科	Response to Lefebvre et al.	Clin Genet. 2017 Nov;92(5):563-564. doi: 10.1111/cge.13011.	Original Article
192	Konomi T, Suda K, Matsumoto S, Komatsu M, Takahata M, Iwasaki N, Minami A.	整形外科	Awareness of traumatic occult lateral mass fracture of the cervical spine triggered by the presence of unilateral vertebral artery occlusion: a case report.	Spinal Cord Ser Cases. 2018 Mar 12;4:20. doi: 10.1038/s41394-018-0060-0. eCollection 2018.	Case report
193	Konomi T, Suda K, Matsumoto S, Komatsu M, Takahata M, Iwasaki N, Minami A.	整形外科	Two-stage corrective surgery for severe rigid cervical kyphotic deformity with unilateral vertebral artery occlusion after old blunt trauma: a case report.	Spinal Cord Ser Cases. 2018 Mar 7;4:18. doi: 10.1038/s41394-018-0051-1. eCollection 2018.	Case report
194	Sudo H, Abe Y, Kokabu T, Kuroki K, Iwata A, Iwasaki N.	整形外科	Impact of Multilevel Facetectomy and Rod Curvature on Anatomical Spinal Reconstruction in Thoracic Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Spine (Phila Pa 1976). 2018 Mar 9. doi: 10.1097/BRS.0000000000002628. [Epub ahead of print]	Original Article
195	Matsumae G, Motomiya M, Iwasaki N.	整形外科	Failed Reconstruction of the Extensor Pollicis Longus in a Patient with a Major Variation of the Extensor Indicis Proprius Tendon: A Case Report.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2018 Mar;23(1):132-136. doi: 10.1142/S2424835518720062.	Case report
196	Matsui Y, Kawamura D, Kida H, Hatanaka KC, Iwasaki N.	整形外科	Trigger wrist caused by avascular necrosis of the capitate: a case report.	BMC Musculoskelet Disord. 2018 Mar 27;19(1):90. doi: 10.1186/s12891-018-2010-1.	Case report
197	Yanke AB, Urita A, Shin JJ, Cvetanovich GL, Moran EK, Bach BR Jr, Cole BJ, Inoue N, Verma NN.	整形外科	Topographic Analysis of the Distal Femoral Condyle Articular Cartilage Surface: Adequacy of the Graft from Opposite Condyles of the Same or Different Size for the Osteochondral Autograft Transplantation.	Cartilage. 2018 Jan 1:1947603517752056. doi: 10.1177/1947603517752056. [Epub ahead of print]	Original Article
198	Uesugi Y, Sakai T, Seki T, Hayashi S, Nakamura J, Inaba Y, Takahashi D, Sasaki K, Motomura G, Mashima N, Kabata T, Sudo A, Jinno T, Ando W, Nagoya S, Yamamoto K, Nakasone S, Ito H, Yamamoto T, Sugano	整形外科	Quality of life of patients with osteonecrosis of the femoral head: a multicentre study.	Int Orthop. 2018 Jul;42(7):1517-1525. doi: 10.1007/s00264-018-3897-8. Epub 2018 Mar 23.	Original Article
199	Patel A, Li Z, Canete P, Strobl H, Dulin J, Kadoya K, Gibbs D, Poplawski GHD.	整形外科	AxonTracer: a novel ImageJ plugin for automated quantification of axon regeneration in spinal cord tissue.	BMC Neurosci. 2018 Mar 9;19(1):8. doi: 10.1186/s12868-018-0409-0.	Original Article
200	Abe T, Murai S, Nasuhara Y, Shinohara N	泌尿器科	Characteristics of Medical Adverse Events/Near Misses Associated With Laparoscopic/Thoracoscopic Surgery: A Retrospective Study Based on the Japanese National Database of Medical Adverse Events	Journal of patient safety 2017.47 (12) :1162-1169	Original Article
201	Abe T, Raison N, Shinohara N, Shamim Khan M, Ahmed K, Dasgupta P	泌尿器科	The Effect of Visual-Spatial Ability on the Learning of Robot-Assisted Surgical Skills.	ournal of surgical education 2018.75(2):458-464	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
202	Abe T, Takada N, Kikuchi H, Matsumoto R, Osawa T, Murai S, Miyajima N, Maruyama S, Shinohara N	泌尿器科	Perioperative morbidity and mortality of octogenarians treated by radical cystectomy—a multi-institutional retrospective study in Japan.	Japanese journal of clinical oncology 2017 Aug 1;47(8):755–761	Original Article
203	Araki A, Miyashita C, Mitsui T, Goudarzi H, Mizutani F, Chisaki Y, Itoh S, Sasaki S, Cho K, Moriya K et al	泌尿器科	Prenatal organochlorine pesticide exposure and the disruption of steroids and reproductive hormones in cord blood: The Hokkaido study.	Environment international 2017, 110:1–13.	Original Article
204	Hara T, Fujimoto H, Kondo T, Shinohara N, Obara W, Kimura G, Kume H, Nonomura N, Hongo F, Sugiyama T et al:	泌尿器科	Active heavy cigarette smoking is associated with poor survival in Japanese patients with advanced renal cell carcinoma: sub-analysis of the multi-institutional national database of the Japanese Urological Association.	apanese journal of clinical oncology 2017 Dec 1;47(12):1162–1169	Original Article
205	Hida K, Kawamoto T, Maishi N, Morimoto M, Akiyama K, Ohga N, Shindoh M, Shinohara N, Hida Y	泌尿器科	miR-145 Promoted Anoikis Resistance in Tumor Endothelial Cells.	Journal of biochemistry 2017 Aug 1;162(2):81–84	Original Article
206	Hida K, Kikuchi H, Maishi N, Hida Y	泌尿器科	ATP-binding cassette transporters in tumor endothelial cells and resistance to metronomic chemotherapy	Cancer letters 2017, Aug 1;400:305–310	Original Article
207	Hida K, Maishi N, Akiyama K, Ohmura–Kakutani H, Torii C, Ohga N, Osawa T, Kikuchi H, Morimoto H, Morimoto M et al	泌尿器科	Tumor Endothelial Cells with High Aldehyde Dehydrogenase Activity Show drug resistance.	Cancer science 2017 Nov;108(11):2195–2203	Original Article
208	Hirose T, Tanaka Y, Tanaka A, Sakai H, Sasaki Y, Shinohara N, Ohdan H	泌尿器科	PD-L1/PD-L2-expressing B-1 cells inhibit alloreactive T cells in mice.	PloS one 2017, 12(6):e0178765. (2)	Original Article
209	Hotta K, Fukasawa Y, Wada Y, Fukuzawa N, Seki T, Harada H	泌尿器科	Cytomegalovirus peritonitis after kidney transplantation diagnosed through histopathological examination	Transplant infectious disease 2017, 19(4).	Case report
210	Hotta K, Miura M, Wada Y, Fukuzawa N, Iwami D, Sasaki H, Seki T, Harada H	泌尿器科	Atrophic bladder in long-term dialysis patients increases the risk for urological complications after kidney transplantation.	International journal of urology 2017 Apr;24(4):314–319	Original Article
211	Iwami D, Hotta K, Sasaki H, Hirose T, Higuchi H, Takada Y, Shinohara N	泌尿器科	Highly Immunogenic DQB1 Mismatch Eplets Are Associated With Development of Chronic Active Antibody-Mediated Rejection: A First Report From Japan.	Transplantation proceedings 2017, 49(1):84–87.	Case report
212	Kaiho Y, Masuda H, Takei M, Hirayama T, Mitsui T, Yokoyama M, Kitta T, Kawamorita N, Nakagawa H, Iwamura M et al:	泌尿器科	Surgical and patient-reported outcomes of artificial urinary sphincter implantation: A multicenter, prospective, observational study	The Journal of urology 2018 Jan;199(1):245–250.	Original Article
213	Kawakubo K, Kuwatani M, Shimamura T, Yamashita K, Goto R, Watanabe M, Koshizuka Y, Kawamura N, Iwami D, Hotta K et al	泌尿器科	Gastrointestinal: Transurethral endoscopic retrograde pancreatography	Journal of gastroenterology and hepatology 2017, 32(11):1791	Case report
214	Kitta T, Kanno Y, Chiba H, Higuchi M, Ouchi M, Togo M, Moriya K, Shinohara N	泌尿器科	Benefits and limitations of animal models in partial bladder outlet obstruction for translational research.	International journal of urology 2018 2018 Jan;25(1):36–44	Original Article
215	Kitta T, Kanno Y, Chiba H, Moriya K, Maruyama S, Abe T, Shinohara N	泌尿器科	Radical prostatectomy restores detrusor contraction pattern according to pressure flow parameters	International journal of urology 2017 Apr;24(4):301–307	Original Article
216	Kon M, Mitsui T	泌尿器科	Impact of posterior urethral diameter/external urethral sphincter diameter as a new tool to predict detrusor pressure in the voiding phase.	Int Urol Nephrol. 2018 Feb;50(2):211–215	Original Article
217	Minatoya M, Sasaki S, Araki A, Miyashita C, Itoh S, Yamamoto J, Matsumura T, Mitsui T, Moriya K, Cho K et al	泌尿器科	Cord Blood Bisphenol A Levels and Reproductive and Thyroid Hormone Levels of Neonates: The Hokkaido Study on Environment and Children’s Health.	Epidemiology (Cambridge, Mass) 2017, 28 Suppl 1:S3–s9.	Original Article
218	Miyazato M, Kadekawa K, Kitta T, Wada N, Shimizu N, de Groat WC, Birder LA, Kanai AJ, Saito S, Yoshimura N	泌尿器科	New Frontiers of Basic Science Research in Neurogenic Lower Urinary Tract Dysfunction.	The Urologic clinics of North America 2017, 44(3):491–505.	Original Article
219	Moriya K, Nakamura M, Nishimura Y, Kanno Y, Kitta T, Kon M, Shinohara N	泌尿器科	Prevalence and risk factors of symptomatic urinary tract infection after endoscopic incision for the treatment of ureterocele in children.	BJU international 2017 Sep;120(3):409–415	Original Article
220	Moriya K, Nakamura M, Nishimura Y, Nishida M, Kudo Y, Kanno Y, Kitta T, Kon M, Shinohara N	泌尿器科	Impact of Preoperative Ultrasonographic Evaluation for Detection of a Viable Testis in Patients With a Unilateral Nonpalpable Testis.	Journal of ultrasound in medicine 2017 Dec 7(Epub)	Original Article
221	Moriya K, Yamamoto S, Nakamura M, Nishimura Y, Nishida M, Iwai T, Kanno Y, Kitta T, Shinohara N	泌尿器科	Spontaneous Shrinkage of Testicular Teratoma in a Prepubertal Child.	Urology 2017 May;103:e13–e14	Case report
222	Nishimura Y, Moriya K, Nakamura M, Kitta T, Kanno Y, Chiba H, Kon M, Shinohara N	泌尿器科	Laparoscopic ureterocalicostomy for ureteropelvic junction obstruction in a 10-year-old female patient: a case report.	BMC research notes 2017, 10(1):247.	Case report
223	Nishimura Y, Moriya K, Nakamura M, Nishida M, Sato M, Kudo Y, Omotehara S, Iwai T, Wakabayashi Y, Kanno Y et al	泌尿器科	Prevalence and Chronological Changes of Testicular Microlithiasis in Isolated Congenital Undescended Testes Operated at Less Than 3 Years of Age.	Urology 2017 Nov;109:159–164	Original Article
224	Nishioka K, Shimizu S, Shinohara N, Ito YM, Abe T, Maruyama S, Katoh N, Kinoshita R, Hashimoto T, Miyamoto N et al	泌尿器科	Analysis of inter- and intra fractional partial bladder wall movement using implanted fiducial markers.	Radiation oncology (London, England) 2017, 12(1):44.	Original Article
225	Noguchi S, Shinohara N, Ito T, Ohtsu A, Ravaud A, Jerusalem G, Ohno N, Gallo J, Bouillaud E, Fan J et al	泌尿器科	Relationship between Pulmonary Adverse Events and Everolimus Exposure in Japanese and Non-Japanese Patients: A Meta-Analysis of Oncology Trials.	Oncology 2017;92(5):243–254	Original Article
226	Ogawa T, Sakakibara R, Kuno S, Ishizuka O, Kitta T, Yoshimura N	泌尿器科	Prevalence and treatment of LUTS in patients with Parkinson disease or multiple system atrophy.	Nature reviews Urology 2017, 14(2):79–89.	Original Article
227	Oya M, Tomita Y, Fukasawa S, Shinohara N, Habuchi T, Rini BI, Fujii Y, Kamei Y, Umeyama Y, Bair AH et al	泌尿器科	Overall survival of 1st-line axitinib in metastatic renal cell carcinoma: Japanese subgroup analysis from phase II study.	Cancer science 2017.	Original Article
228	Takizawa A, Kawai K, Kawahara T, Kojima T, Maruyama S, Shinohara N, Akamatsu S, Kamba T, Nakamura T, Ukimura O et al	泌尿器科	The usefulness of testosterone administration in identifying false-positive elevation of serum human chorionic gonadotropin in patients with germ cell tumor.	Journal of cancer research and clinical oncology 2018 Jan;144(1):109–115	Original Article
229	Tomita Y, Fukasawa S, Shinohara N, Kitamura H, Oya M, Eto M, Tanabe K, Kimura G, Yonese J, Yao M et al	泌尿器科	Nivolumab versus everolimus in advanced renal cell carcinoma: Japanese subgroup analysis from the CheckMate 025 study.	Japanese journal of clinical oncology 2017 Jul 1;47(7):639–646	Original Article
230	Yuka Uchinami, Fumika Sakuraya, Nobuhiro Tanaka, Koji Hoshino, Eri Mikami, Taro Ishikawa, Hitomi Fujii, Takehiko Ishikawa, Yuji Morimoto	麻酔科	Comparison of the analgesic efficacy of ultrasound-guided rectus sheath block and local anesthetic infiltration for laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure in children.	Pediatric Anaesthesia 27(5), 516–23, 2017	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
231	Koji Hoshino, Mineji Hayakawa, Yuji Morimoto	麻酔科	Minocycline Prevents the Impairment of Hippocampal Long-Term Potentiation in the Septic Mouse.	Shock, 48(2):209-214, 2017	Original Article
232	Koji Hoshino, Kan Hasegawa, Haruyuki Kamiya, Yuji Morimoto	麻酔科	Synapse-specific effects of IL-1 beta on long-term potentiation in the mouse hippocampus.	Biomed Res, 38(3):183-188, 2017	Original Article
233	Yasunori Yagi, Masataka Yamamoto, Hitoshi Saito, Toshihiro Mori, Yuji Morimoto, Takayoshi Oyasu, Tsuyoshi Tachibana, Yoichi M Ito	麻酔科	Changes of cerebral oxygenation in sequential Glenn 1 and Fontan procedures in the same.	Pediatric Cardiology, 38(6), 1215-1219, 2017	Original Article
234	Yasunobu Arima, Takuto Ohki, Naoki Nishikawa, Kotaro Higuchi, Mitsutoshi Ota, Yuki Tanaka, Junko Nio-Kobayashi, Mohamed Elfeky, Ryota Sakai, Yuki Mori, Tadafumi Kawamoto, Andrea Stofkova, Yukihiro	麻酔科	Brain micro-inflammation at specific vessels dysregulates organ-homeostasis via the activation of a new neural circuit.	eLife 2017;6:e25517 DOI: 10.7554	Original Article
235	Kazuyuki Mizunoya, Kentaro Ueda, Yoshifumi Takeda, Koichi Takita, Yuji Morimoto	麻酔科	Left subclavian artery malperfusion due to thoracic outlet syndrome during total vertebrectomy for invasive lung cancer	a case report., JA Clinical Reports 3(1): 61, 2017 doi: 10.1186/s40981-017-0131-4	Case report
236	Funayama E, Yamamoto Y, Furukawa H, Murao N, Shichinohe R, Yamao T, Hayashi T, Oyama A	形成外科	Full-thickness entire nasal alar reconstruction using a forehead flap in Asians: no cartilaginous infrastructural lining is necessary.	J Craniofac Surg. 2017 May;28(3):734-737	Original Article
237	Hayashi T, Furukawa H, Kitamura T, Shichinohe R, Murao N, Oyama A, Funayama E, Maeda T, Yamamoto Y	形成外科	Review and proposal of regional surgical management for melanoma: revisiting of integumentectomy and incontinuity dissection in treatment of skin melanoma	Int J Clin Oncol. 2017 Jun;22(3):569-576	Original Article
238	Maeda T, Yamamoto Y, Furukawa H, Oyama A, Funayama E, Murao N, Hayashi T	形成外科	Dominant lymph drainage patterns in the occipital and parietal regions: evaluation of lymph nodes in patients with skin cancer of the head.	Int J Clin Oncol. 2017 Aug;22(4):774-779.	Original Article
239	Ishikawa K, Yamamoto Y, Furukawa H, Ohiro Y, Satoh A, Hayashi T	形成外科	Long-term changes in bone height after mandibular reconstruction using a free fibula graft in an elderly population.	J Oral Maxillofac Surg. 2017 Dec;75(12):2682-2688.	Original Article
240	Fujita M, Yamamoto Y, Sasaki S, Oyama A, Funayama E, Furukawa H	形成外科	Transarterial embolization and transmucosal sclerotherapy that led to successful deliveries in a patient with symptomatic arteriovenous malformation of the tongue	J Craniofac Surg. 2017 Oct;28(7):e675-e678.	Case report
241	Kusajima E, Furukawa H, Funayama E, Oyama A, Mitsuhashi T, Yamamoto Y	形成外科	Vesiculobullous melanoma: an unusual manifestation of in-transit metastasis.	Clin Exp Dermatol. 2017 Oct;42(7):767-770.	Case report
242	Guo J, Sueta A, Nakamura K, Yoshimoto N, Baba M, Ishida N, Hagio K, Toyama T, Iwase H, Tamakoshi A, Yamashita H	乳腺外科	Genetic and environmental factors and serum hormones, and risk of estrogen receptor-positive breast cancer in pre- and postmenopausal Japanese women.	Oncotarget, 8: 65759-65769, 2017	Original Article
243	Ogiya A, Yamazaki K, Horii R, Shien T, Horimoto Y, Masuda N, Inao T, Hosoda M, Ishida N, Osako T, Takahashi M, Endo Y, Miyoshi Y, Yasojima H, Tomioka N, Yamashita H	乳腺外科	Post-relapse survival in patients with the early and late distant recurrence in estrogen receptor-positive HER2-negative breast cancer.	Breast Cancer 24: 473-482, 2017	Original Article
244	Yamashita H	乳腺外科	Hereditary breast cancer: molecular biology and management update. .	Int J Clin Oncol. 2018 Feb;23(1):35	Review
245	Homma T, Manabe O, Ichinokawa K, Yamashita H, Oyama-Manabe N, Kato F, Hirata K, Kroenke M, Tamaki N	乳腺外科	Breast cancer detected as an incidental finding on 99mTc-MIBI scintigraphy.	Acta Radiol Open. 2017 Jul 25;6(7):2058460117715665	Case report
246	Ueno T, Saji S, Masuda N, Kuroi K, Sato N, Takei H, Yamamoto Y, Ohno S, Yamashita H, Hisamatsu K, Aogi K, Iwata H, Yamanaka T, Sasano H, Toi M	乳腺外科	Impact of clinical response to neoadjuvant endocrine therapy on patient outcomes: a follow-up study of JFMC34-0601 multicentre prospective neoadjuvant endocrine trial.	ESMO Open. 2018 Feb 14;3(2):e000314	Original Article
247	Kawaguchi H, Masuda N, Nakayama T, Aogi K, Anan K, Ito Y, Ohtani S, Sato N, Saji S, Takano T, Tokunaga E, Nakamura S, Hasegawa Y, Hattori M, Fujisawa T, Morita S, Yamaguchi M, Yamashita H, Yamashita T, Yamamoto	乳腺外科	Factors associated with prolonged time to treatment failure with fulvestrant 500 mg in patients with post-menopausal estrogen receptor-positive advanced breast cancer: a sub-group analysis of the JBCRG-C06 Safari study.	Curr Med Res Opin. 2018 Jan;34(1):49-54	Original Article
248	Ohashi Y, Shiba E, Yamashita H, Kurebayashi J, Noguchi S, Iwase H, Yoshida M, Fujimoto T.	乳腺外科	Comparison of quality of life between 2-year and 3-or-more-year administration of leuporelin acetate every-3-months depot in combination with tamoxifen as adjuvant endocrine treatment in premenopausal patients with endocrine-responsive breast cancer.	Support Care Cancer. 2018 Mar;26(3):933-945	Original Article
249	Wang J, Kato F, Yamashita H, Baba M, Cui Y, Li R, Oyama-Manabe N, Shirato H.	乳腺外科	Automatic estimation of volumetric breast density using artificial neural network-based calibration of full-field digital mammography: feasibility on Japanese women with and without breast cancer.	J Digit Imaging. 2017 Apr;30(2):215-227	Original Article
250	Hayakawa M	先進急性期医療センター	Dynamics of fibrinogen in acute phases of trauma.	Journal of Intensive Care 5:3, 2017	Review
251	Hayakawa M	先進急性期医療センター	Pathophysiology of trauma-induced coagulopathy: disseminated intravascular coagulation with the fibrinolytic phenotype.	Journal of Intensive Care 5:14, 2017	Review
252	Ono Y, Hayakawa M, Maekawa K, Kodate A, Sadamoto Y, Tominaga N, Murakami H, Yoshida T, Katabami K, Wada T, Sageshima H, Sawamura A, Gando S	救急科	Fibrin/fibrinogen degradation products (FDP) at hospital admission predict neurological outcomes in out-of-hospital cardiac arrest patients.	Resuscitation 111:62-67, 2017	Original Article
253	Meziani F, Gando S, Vincent JL	救急科	Should all patients with sepsis receive anticoagulation? Yes.	Intensive Care Medicine 43:452-454, 2017	Review
254	Wada T, Gando S, Mizugaki A, Kodate A, Sadamoto Y, Murakami H, Maekawa K, Katabami K, Ono Y, Hayakawa M, Sawamura A, Jesmin S, Ieko M	救急科	Differences in coagulofibrinolytic changes between post-cardiac arrest syndrome of cardiac causes and hypoxic insults: a pilot study.	Acute Medicine & Surgery 4: 371-372, 2017	Letter
255	Hayakawa M, Kushimoto S, Watanabe E, Goto K, Suzuki Y, Kotani T, Kiguchi T, Yatabe T, Tagawa J, Komatsu F, Gando S	先進急性期医療センター	Pharmacokinetics of recombinant human soluble thrombomodulin in disseminated intravascular coagulation patients with acute renal dysfunction.	Thromb Haemost 117:851-859, 2017	Original Article
256	Miyamoto K, Horibe M, Sanui M, Sasaki M, Sugiyama D, Kato S, Yamashita T, Goto T, Iwasaki E, Shirai K, Oe K, Sawano H, Oda T, Yasuda H, Ogura Y, Hirose K, Kitamura K, Chiba N, Ozaki T, Oshima T, Yamamoto T.	先進急性期医療センター	Plasmapheresis therapy has no triglyceride-lowering effect in patients with hypertriglyceridemic pancreatitis.	Intensive Care Medicine 43:949-951, 2017	Original Article
257	Nakamura Y, Kitamura T, Kiyomi F, Hayakawa M, Hoshino K, Kawano Y, Yamasaki R, Nishida T, Mizunuma M, Ishikura H	先進急性期医療センター	Potential survival benefit of polymyxin B hemoperfusion in patients with septic shock: a propensity-matched cohort study.	Critical Care 21:134, 2017	Original Article
258	Takauji S, Hayakawa M, Ono K, Makise H	先進急性期医療センター	Respiratory extracorporeal membrane oxygenation for severe sepsis and septic shock in adults: a propensity score analysis in a multicenter retrospective observational study.	Acute Medicine & Surgery 4:408-417, 2017	Original Article
259	Iizuka Y, Sanui M, Sasabuchi Y, Lefor A K, Hayakawa M, Saito S, Uchino S, Yamakawa K, Kudo D, Takimoto K, Mayumi T, Azuhata T, Ito F, Yoshihiro S, Hayakawa K, Nakashima T, Ogura T, Noda E, Nakamura Y, Sekine R.	先進急性期医療センター	Low-dose immunoglobulin G is not associated with mortality in patients with sepsis and septic shock.	Critical Care 21:181, 2017	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
260	Wada T, Gando S, Maekawa K, Katabami K, Sageshima H, Hayakawa M, Sawamura A	救急科	Disseminated intravascular coagulation with increased fibrinolysis during the early phase of isolated traumatic brain injury.	Crit Care 21:219, 2017	Original Article
261	Hayakawa M, Maekawa K, Kushimoto S, Kato H, Sasaki J, Ogura H, Matsuoaka T, Uejima T, Morimura N, Ishikura H, Hagiwara A, Takeda M, Kaneko N, Saitoh D, Kudo D, Kanemura T, Shibusawa T, Furugori S, Nakamura Y.	先進急性期医療センター	Hyperfibrinolysis in severe isolated traumatic brain injury may occur without tissue hypoperfusion: a retrospective observational multicentre study.	Critical Care 21:222, 2017	Original Article
262	Wada T	救急科	Coagulofibrinolytic Changes in Patients with Post-cardiac Arrest Syndrome.	Frontiers in Medicine 29;4:156, 2017	Review
263	Iba T, Hagiwara A, Saitoh D, Anan H, Ueki Y, Sato K, Gando S	救急科	Effects of combination therapy using antithrombin and thrombomodulin for sepsis-associated disseminated intravascular coagulation.	Ann Intensive Care 7:110, 2017	Original Article
264	Umemura Y, Yamakawa K, Hayakawa M, Hamasaki T, Fujimi S	先進急性期医療センター	Screening itself for disseminated intravascular coagulation may reduce mortality in sepsis: A nationwide multicenter registry in Japan.	Thrombosis Research 161:60-66, 2017	Original Article
265	Nakashima T, Miyamoto K, Shimokawa T, Kato S, Hayakawa M	先進急性期医療センター	The Association Between Sequential Organ Failure Assessment Scores and Mortality in Patients With Sepsis During the First Week: The JSEPTIC DIC Study.	J. Intensive Care Med, 885066618775959, 2018 Epub ahead of print.	Original Article
266	Umemura Y, Yamakawa K, Hayakawa M, Hamasaki T, Fujimi S, Japan Septic Disseminated Intravascular Coagulation study g	先進急性期医療センター	Screening itself for disseminated intravascular coagulation may reduce mortality in sepsis: A nationwide multicenter registry in Japan.	Thromb Res 161, 60-66, 2018	Original Article
267	Nishida O, Ogura H, Egi M, Fujishima S, Hayashi Y, Iba T, Imaizumi H, Inoue S, Kakihana Y, Kotani J, Kushimoto S, Masuda Y, Matsuda N, Matsushima A, Nakada TA, Nakagawa S, Nunomiya S, Sadahiro T, Shime N, Yatabe	先進急性期医療センター	The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2016 (J-SSCG 2016).	Acute Med Surg 5, 3-89, 2018	Original Article
268	Nishida O, Ogura H, Egi M, Fujishima S, Hayashi Y, Iba T, Imaizumi H, Inoue S, Kakihana Y, Kotani J, Kushimoto S, Masuda Y, Matsuda N, Matsushima A, Nakada TA, Nakagawa S, Nunomiya S, Sadahiro T, Shime N, Yatabe	先進急性期医療センター	The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2016 (J-SSCG 2016)	J Intensive Care 6, 7, 2018	Original Article
269	Kudo D, Hayakawa M, Ono K, Yamakawa K	先進急性期医療センター	Impact of non-anticoagulant therapy on patients with sepsis-induced disseminated intravascular coagulation: A multicenter, case-control study.	Thromb Res 163, 22-29, 2018	Original Article
270	Yoshihiro S, Sakuraya M, Hayakawa M, Ono K, Hirata A, Takaba A, Kawamura N, Tsutsui T, Yoshida K, Hashimoto Y	先進急性期医療センター	Recombinant Human Soluble Thrombomodulin Contributes to Reduced Mortality in Sepsis Patients with Severe Respiratory Failure: A Retrospective Observational Study Using a Multicenter Dataset.	Shock, 2018, Epub ahead of print.	Original Article
271	Kumano O, Ieko M, Komiyama Y, Naito S, Yoshida M, Takahashi N, Ohmura K, Hayasaki J, Hayakawa M	先進急性期医療センター	Basic Evaluation of the Newly Developed “Lias Auto P-FDP” Assay and the Influence of Plasmin- α 2 Plasmin Inhibitor Complex Values on Discrepancy in the Comparison with “Lias Auto D-Dimer Neo” Assay.	Clin Lab 64, 433-442, 2018	Original Article
272	Kitamura T, Iwami T, Atsumi T, Endo T, Kanna T, Kuroda Y, Sakurai A, Tasaki O, Tahara Y, Tsuruta R, Tomio J, Nakata K, Nachi S, Hase M, Hayakawa M, Hiruma T, Hiasa K, Muguruma T, Yano T, Shimazu T.	先進急性期医療センター	The profile of Japanese Association for Acute Medicine – out-of-hospital cardiac arrest registry in 2014-2015	Acute Med Surg 5, 249-258, 2018	Original Article
273	Umemura Y, Yamakawa K, Hayakawa M, Kudo D, Fujimi S	先進急性期医療センター	Concomitant Versus Individual Administration of Antithrombin and Thrombomodulin for Sepsis-Induced Disseminated Intravascular Coagulation: A Nationwide Japanese Registry Study.	Clin Appl Thromb Hemost 24, 734-740, 2018	Original Article
274	Hayakawa M, Yamakawa K, Kudo D, Ono K	先進急性期医療センター	Optimal Antithrombin Activity Threshold for Initiating Antithrombin Supplementation in Patients With Sepsis-Induced Disseminated Intravascular Coagulation: A Multicenter Retrospective Observational Study.	Clin Appl Thromb Hemost, 1076029618757346, 2018 Epub ahead of print.	Original Article
275	Shibata Y, Matsushima M, Yabe I, Matsuda K, Nagai A, Kano T, Yamada T, Sekijima Y, Sasaki H	神経内科	Pseudo-homozygous mutation due to a primer site polymorphism in hereditary ATTR amyloidosis: a pitfall of PCR-based genetic testing.	Amyloid 2017;1350-6129 (Print) 1744-2818(Online)	Letter
276	Kimura M, Yabe I, Hama Y, Eguchi K, Ura S, Tsuzaka K, Tsuji S, Sasaki H	神経内科	SCA42 mutation analysis in a case series of Japanese patients with spinocerebellar ataxia.	J Hum Genet 2017(accept)	Letter
277	Yoshida K, Kuwabara S, Takahashi Y, Sasaki H, Mizusawa H	神経内科	Idiopathic cerebellar ataxia (IDCA): diagnostic criteria and clinical analyses of 60 Japanese patients.	J Neurol Sci 2018; 384: 30-35	Original Article
278	Nakano F, Sakushima K, Umeki R, Yabe I, Endoh A, Sasaki H	神経内科	Effects of age and glucose levels on lactate levels in cerebrospinal fluid examination of neurodegenerative diseases	J Neurol Sci 2017; 378: 45-48	Original Article
279	Uwatoko H, Uabe I, Shirai S, Takahashi I, Matsushima M, Kano T, Sasaki H	神経内科	Pseudodystonia in sarcoid myopathy	Neurol Clin Neurosci 2017; 5(1): 34-35	Original Article
280	Yabe I, Kitagawa M, Takahashi I, Matsushima M, Sasaki H.	神経内科	The efficacy of istradefylline for treating mild wearing-off in Parkinson’s disease.	Clin Neuropharmacol 2017 (accept)	Original Article
281	Matsushima M, Yabe I, Takahashi I, Hirotani M, Kano T, Horiuchi K, Houzen H, Sasaki H	神経内科	Validity and reliability of a pilot scale for assessment of multiple system atrophy symptoms.	Springer Nature 2017; (4)11	Letter
282	Ando M, Okamoto Y, Yoshimura A, Yuan J.-H, Hiramatsu Y, Higuchi Y, Hashiguchi A, Mitsui J, Ishiura H, Fukumura S, Matsushima M, Ochi N, Tsugawa J, Morishita S, Tsuij S, Takashima H	神経内科	Clinical and mutational spectrum of Charcot-Marie-Tooth disease type 2Z caused by MORC2 variants in Japan	Eur J Neurol 2017;	Original Article
283	Yabe I, Matsushima M, Seki T, Sasaki H	神経内科	A nationwide survey of familial syringomyelia in Japan	J Neurol Sci 2017 (accept)	Letter
284	Yaguchi H, Takeuchi A, Horiuchi K, Takahashi I, Shirai S, Akimoto S, Satoh K, Moriwaka F, Yabe I, Sasaki H	神経内科	Amyotrophic lateral sclerosis with frontotemporal dementia (ALS-FTD) syndrome as a phenotype of Creutzfeldt-Jakob disease (CJD)? A case report.	J Neurol Sci 2017;15(375): 490-491	Letter
285	Mori F, Tanji K, Miki Y, Toyoshima Y, Sasaki H, Yoshida Mari, Kakita A, Takahashi Hitoshi, Wakabayashia	神経内科	Immunohistochemical localization of exoribonucleases (DIS3L2 and XRN1) in intranuclear inclusion body disease.	Neurosci Lett 2018; 662: 389-394	Letter
286	Yoshida K, Kuwabara S, Nakamura K, Abe R, Matsushima A, Beppu M, Yamanaka Y, Takahashi Y, Sasaki H, Mizusawa H, on behalf of The Research Group on Ataxic Disorders	神経内科	Idiopathic cerebellar ataxia(IDCA):diagnostic criteria and clinical analyses of 63 Japanese Patients.	J Neurol Sci 2018; 384: 30-35	Original Article
287	Miki Y, Tanji K, Mori F, Tatara Y, Utsumi J, Sasaki H, Kakita A, Takahashi H, Fimia GM, Wakabayashi K	神経内科	AMBRA1, a novel α -synuclein-binding protein, is implicated in the pathogenesis of multiple system atrophy.	Brain Pathol 2018; 28: 28-42	Original Article
288	Abe K, Aoki M, Tsuij S, Itoyama Y, Sobue G, Togo M, Hamada C, Tanaka M, Akimoto M, Nakamura K, Takahashi F, Kondo K, Yoshino H, Abe K, Aoki M, Tsuij S, Itoyama Y, Sobue G, Togo M, Hamada C, Sasaki H,	神経内科	Safety and efficacy of edaravone in well defined patients with amyotrophic lateral sclerosis: a randomised, double-blind,placebo-controlled trial.	Lancet Neurol 2017; 16(7): 505-512	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
289	Yabe I, Yaguchi H, Kato Y, Miki Y, Takahashi H, Tanikawa S, Shirai S, Takahashi I, Kimura M, Hama Y, Matsushima M, Fujioka S, Kano T, Watanabe M, Nakagawa S, Kunieda Y, Ikeda Y, Hasegawa M,	神経内科	Mutations in bassoon in individuals with familial and sporadic progressive supranuclear palsy-like syndrome.	Sci.Rep 2018; 8:819	Letter
290	Hama Y, Katsu M, Takigawa I, Yabe I, Matsushima M, Takahashi I, Katayama T, Utsumi J, Sasaki H	神経内科	Genomic copy number variation analysis in multiple system atrophy.	Mol Brain 10; 54, 2017	Letter
291	Yaguchi H, Yabe I, Takahashi H, Watanabe M, Nomura T, Kano T, Matsumoto M, Nakayama KI, Watanabe M, Hatakeyama S	神経内科	Sez6l2 regulates phosphorylation of ADD and neuritogenesis.	Biochem Biophys Res Commun 494; 234–241, 2017	Original Article
292	Kanda A, Ishida S.	眼科	(Pro)renin receptor: Involvement in diabetic retinopathy and development of molecular targeted therapy.	J Diabetes Investig. 2018 Mar 25(オンライン)	Review
293	Kase S, Mori S, Noda K, Ishida S.	眼科	Anterior proliferative vitreoretinopathy in a patient with Coats disease.	Int J Ophthalmol. 2018 Feb 18;11(2):343–345	Case report
294	Saito W, Hashimoto Y, Hirooka K, Ishida S.	眼科	CHOROIDAL THICKNESS CHANGES IN A PATIENT DIAGNOSED WITH CENTRAL SEROUS CHORIORETINOPATHY DURING FOLLOW-UP FOR PACHYCHOROID PIGMENT EPITHELIOPATHY.	Retin Cases Brief Rep. 2018 Feb 21(オンライン)	Case report
295	Yoshida S, Murata M, Noda K, Matsuda T, Saito M, Saito W, Kanda A, Ishida S.	眼科	Proteolytic cleavage of vascular adhesion protein-1 induced by vascular endothelial growth factor in retinal capillary endothelial cells.	Jpn J Ophthalmol. 2018 Mar;62(2):256–264.	Original Article
296	Hase K, Kanda A, Hirose I, Noda K, Ishida S.	眼科	Systemic factors related to soluble (pro)renin receptor in plasma of patients with proliferative diabetic retinopathy.	PLoS One. 2017 Dec 14;12(12):e0189696. (オンライン)	Original Article
297	Kanda A, Dong Y, Noda K, Saito W, Ishida S.	眼科	Advanced glycation endproducts link inflammatory cues to upregulation of galectin-1 in diabetic retinopathy.	Sci Rep. 2017 Nov 23;7(1):16168. (オンライン)	Original Article
298	Murata M, Noda K, Kawasaki A, Yoshida S, Dong Y, Saito M, Dong Z, Ando R, Mori S, Saito W, Kanda A, Ishida S.	眼科	Soluble Vascular Adhesion Protein-1 Mediates Spermine Oxidation as Semicarbazide-Sensitive Amine Oxidase: Possible Role in Proliferative Diabetic Retinopathy.	Curr Eye Res. 2017 Dec;42(12):1674–1683.	Original Article
299	Saito M, Noda K, Saito W, Ishida S.	眼科	Relationship between choroidal blood flow velocity and choroidal thickness in patients with regression of acute central serous chorioretinopathy.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2018 Jan;256(1):227–229.	Letter
300	Kase S, Ishijima K, Uraki T, Suimon Y, Suzuki Y, Kase M, Ishida S.	眼科	Usefulness of Flow Cytometry in Diagnosis of IgG4-Related Ophthalmic Disease and Extranodal Marginal Zone B-Cell Lymphoma of the Ocular Adnexa.	Anticancer Res. 2017 Sep;37(9):5001–5004.	Original Article
301	Hashimoto Y, Saito W, Saito M, Hasegawa Y, Takita A, Mori S, Noda K, Ishida S.	眼科	Relationship between Choroidal Thickness and Visual Field Impairment in Acute Zonal Occult Outer Retinopathy.	J Ophthalmol. 2017;2017:2371032. (オンライン)	Original Article
302	Kikuchi I, Kase S, Ishijima K, Ishida S.	眼科	Long-term follow-up of conjunctival melanoma treated with topical interferon alpha-2b eye drops as adjunctive therapy following surgical resection.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2017 Nov;255(11):2271–2276.	Original Article
303	Kase S, Ohguchi T, Ishida S.	眼科	Catastrophic Thermal Corneoscleral Injury Treated with Transplantation of Donor Scleral Graft.	Case Rep Ophthalmol. 2017 Jun 6;8(2):349–352.	Case report
304	Matsuda T, Noda K, Murata M, Kawasaki A, Kanda A, Mashima Y, Ishida S.	眼科	Vascular Adhesion Protein-1 Blockade Suppresses Ocular Inflammation After Retinal Laser Photocoagulation in Mice.	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2017 Jun 1;58(7):3254–3261.	Original Article
305	Kase S, Chin S, Hamanaka T, Shinmei Y, Ohguchi T, Kijima R, Matsuda A, Ishida S.	眼科	Histological Findings in the Trabecular Meshwork of a Patient with Atopic Glaucoma.	Open Ophthalmol J. 2017 May 29;11:103–106.	Case report
306	Kanda A, Ishizuka ET, Shibata A, Matsumoto T, Toyofuku H, Noda K, Namba K, Ishida S.	眼科	A Novel Single-Strand RNAi Therapeutic Agent Targeting the (Pro)renin Receptor Suppresses Ocular Inflammation.	Mol Ther Nucleic Acids. 2017 Jun 16;7:116–126.	Original Article
307	Ishikawa Y, Hashimoto Y, Saito W, Ando R, Ishida S.	眼科	Blood flow velocity and thickness of the choroid in a patient with chorioretinopathy associated with ocular blunt trauma.	BMC Ophthalmol. 2017 Jun 8;17(1):86. (オンライン)	Case report
308	Kase S, Shinohara T, Kase M, Ishida S.	眼科	Effect of topical rebamipide on goblet cells in the lid wiper of human conjunctiva.	Exp Ther Med. 2017 Jun;13(6):3516–3522.	Original Article
309	Kase S, Shinohara T, Noda M, Ishida S, Kase M.	眼科	Vascular anomaly in the levator aponeurosis of neurofibromatosis type 1.	Int J Ophthalmol. 2017 Apr 18;10(4):656–657.	Case report
310	Morita S, Nakamaru Y, Homma A, Yasukawa S, Hatakeyama H, Sakashita T, Kano S, Fukuda A, Fukuda S:	耳鼻咽喉科	Expression of p53, p16, cyclin D1, epidermal growth factor receptor and Notch1 in patients with temporal bone squamous cell carcinoma.	Int J Clin Oncol 22: 181–189, 2017	Original Article
311	Morita S, Nakamaru Y, Fukuda A, Fujiwara K, Hoshino K, Homma A:	耳鼻咽喉科	Clinical characteristics and treatment outcomes for patients with external auditory canal cholesteatoma.	Otol Neurotol 39: 189–195, 2017	Original Article
312	Morita S, Fujiwara K, Fukuda A, Fukuda S, Nishio SY, Kitoh R, Hato N, Ikezono T, Ishikawa K, Kaga K, Matsubara A, Matsunaga T, Murata T, Naito Y, Nishizaki K, Ogawa K, Sano H, Sato H, Sone M, Suzuki M,	耳鼻咽喉科	The clinical features and prognosis of mumps-associated hearing loss: a retrospective, multi-institutional investigation in Japan.	Acta Otolaryngol 137(sup565): S44–S47, 2017	Original Article
313	Mizumachi T, Homma A, Sakashita T, Kano S, Hatakeyama H, Fukuda S:	耳鼻咽喉科	Confirmation of the 8th edition of the AJCC/UICC TNM staging system for HPV-mediated oropharyngeal cancer in Japan.	Int J Clin Oncol 22: 682–689, 2017	Original Article
314	Mizoguchi K, Hatakeyama H, Yanagida S, Nishizawa N, Oridate N, Fukuda S, Homma A:	耳鼻咽喉科	Perioperative complications and safety of type II thyroplasty (TPII) for adductor spasmodic dysphonia.	Eur Arch Otorhinolaryngol 274: 2215–2223, 2017	Original Article
315	Kano S, Homma A, Hatakeyama H, Mizumachi T, Sakashita T, Kakizaki T, Fukuda S:	耳鼻咽喉科	Pretreatment lymphocyte-to-monocyte ratio as an independent prognostic factor for head and neck cancer.	Head Neck 39: 247–253, 2017	Original Article
316	Fukuda A, Morita S, Nakamaru Y, Hoshino K, Fujiwara K, Akazawa S, Sakashita T, Obara N, Homma A:	耳鼻咽喉科	Anti-mumps IgM antibody positive rate with sudden sensorineural hearing loss using second-generation enzyme immunoassay: A retrospective, multi-institutional investigation in Hokkaido, Japan.	Auris Nasus Larynx Dec 7: S0385–8146(17)30779–4, 2017	Original Article
317	Fukuda A, Morita S, Harada T, Fujiwara K, Hoshino K, Nakamaru Y, Homma A:	耳鼻咽喉科	Value of T1-weighted Magnetic Resonance Imaging in Cholesteatoma Detection.	Otol Neurotol 38: 1440–1444, 2017	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
318	Fujiwara K, Morita S, Hoshino K, Fukuda A, Nakamaru Y, Homma A:	耳鼻咽喉科	Evaluation of Vestibular Functions in Patients with Vogt–Koyanagi–Harada Disease.	Audiol Neurootol 22: 190–195, 2017	Original Article
319	Y. Fujita, K. Hanazono, E. Uchida, T. Kawahata, A. Suto, K. Nakamura and H. Shimizu	皮膚科	Renal failure in dogs kept by a man with severe psoriasis	J Eur Acad Dermatol Venereol•2017•Apr•31• e184–e185	Letter
320	N. Haga, W. Nishie, Y. Morita, O. Mizuno, Y. Ohguchi and H. Shimizu	皮膚科	A case of idiopathic angioedema exacerbated by angiotensin receptor blocker administration	Int J Dermatol•2017•Dec•56•1504–1505	Others
321	K. Imafuku, H. Hata, S. Kitamura, T. Yanagi and H. Shimizu	皮膚科	Ultrasonographic findings can identify ‘pseudoprogession’ under nivolumab therapy	Br J Dermatol•2017•Dec•177• 1726–1731	Case report
322	K. Imafuku, H. Hata, T. Yanagi, S. Kitamura, Y. Inamura–Takashima, M. Nishimura, S. Kitamura, S. Moriwaki and H. Shimizu	皮膚科	Multiple skin cancers in patients with mycosis fungoides after long-term ultraviolet phototherapy	Clin Exp Dermatol•2017•Jul•42• 523–526	Others
323	K. Imafuku, H. Iwata, M. Kamaguchi, K. Izumi, K. Natsuga, H. Ujiie, W. Nishie and H. Shimizu	皮膚科	Autoantibodies of non-inflammatory bullous pemphigoid hardly deplete type XVII collagen of keratinocytes	Exp Dermatol•2017•Dec•26• 1171–1174	Letter
324	K. Imafuku, K. Yoshino, K. Yamaguchi, S. Tsuboi, K. Ohara and H. Hata	皮膚科	Comment on ‘Efficacy and toxicity of treatment with the anti-CTLA-4 antibody ipilimumab in patients with metastatic melanoma after prior anti-PD-1 therapy’	Br J Cancer•2017•Apr•116• e14	Letter
325	K. Imafuku, K. Yoshino, K. Yamaguchi, S. Tsuboi, K. Ohara and H. Hata	皮膚科	Sudden Onset of Brain Metastasis despite the Use of Vemurafenib for Another Metastatic Lesion in Malignant Melanoma Patients	Case Rep Oncol•2017•Jan–Apr•10• 290–295	Case report
326	K. Imafuku, K. Yoshino, K. Yamaguchi, S. Tsuboi, K. Ohara and H. Hata	皮膚科	Two cases of nivolumab re-administration after pneumonitis as immune-related adverse events	Case Rep Oncol•2017•Jan–Apr•10• 296–300	Case report
327	K. Imafuku, K. Yoshino, K. Yamaguchi, S. Tsuboi, K. Ohara and H. Hata	皮膚科	Successful treatment of sudden hepatitis induced by long-term nivolumab administration	Case Rep Oncol•2017•Jan–Apr•10• 368–371	Case report
328	Y. Inamura, T. Yanagi, H. Hata, S. Kitamura and H. Shimizu	皮膚科	Proliferating trichilemmal cyst of the mamma	J Dtsch Dermatol Ges•2017•Oct• 15• 1019–1020	Letter
329	H. Iwata	皮膚科	Dapsone is a potentially useful adjuvant therapy for bullous pemphigoid	Br J Dermatol•2017•Nov•177• 1155–1156	Others
330	M. Kamaguchi, H. Iwata, Y. Mori, E. Toyonaga, H. Ujiie, Y. Kitagawa and H. Shimizu	皮膚科	Anti-idiotypic antibodies against BP-IgG prevent type XVII collagen depletion	Front Immunol•2017•Nov•8•1669	Original Article
331	S. Kitamura, T. Yanagi, K. Imafuku, H. Hata, R. Abe and H. Shimizu	皮膚科	Drp1 regulates mitochondrial morphology and cell proliferation in cutaneous squamous cell carcinoma	J Dermatol Sci•2017•Dec•88• 298–307	Others
332	S. Kitamura, T. Yanagi, K. Imafuku, H. Hata, K. Fujii, H. Nishihara and H. Shimizu	皮膚科	Seborrheic keratosis arising on an epidermal nevus with HRAS p.G13R mutation	Int J Dermatol•2017•Sep•56• e177–e180	Others
333	H. Kosumi, T. Ito, Y. Fujita, K. Izumi, Y. Maya, T. Yanagi, K. Natsuga, H. Ujiie, S. Shinkuma, T. Nomura, N. Sadanobu and H. Shimizu	皮膚科	Generalized Pustular Psoriasis	J Pediatr•2017•Sep•188• 305–305.e1	Others
334	H. Kosumi, K. Izumi, K. Natsuga, Y. Yamaguchi, A. Itami and H. Shimizu	皮膚科	Cutis verticis gyrata fluctuation with atopic dermatitis disease activity	Acta Derm Venereol•2017•Nov•97• 1245–1246	Others
335	H. Kosumi, T. Yanagi, K. Izumi, T. Ito and H. Shimizu	皮膚科	Hair colour shampoo dermatitis	Contact Dermatitis•2017•Dec•77• 419–421	Others
336	H. Kosumi, T. Yanagi, K. Shiba, T. Sugai, H. Nakamura and H. Shimizu	皮膚科	Unusual tense bullae on the legs of a woman with rheumatoid arthritis	Rheumatol•2017•Sep•56•1471	Others
337	T. Maeda, Y. Fujita, K. Imafuku, S. Nakazato, H. Hata, T. Nomura, T. Mitsuhashi, T. Anan, T. Hasegawa, S. Hamaoka and H. Shimizu	皮膚科	Subcutaneous nodule on the right palm of a young boy: A quiz	Acta Derm Venereol•2017•Oct•97• 1150–1151	Others
338	T. Maeda, T. Yanagi, K. Imafuku, S. Kitamura, H. Hata, K. Izumi, H. Ujiie, H. Iwata and H. Shimizu	皮膚科	Using immune checkpoint inhibitors without exacerbation in a melanoma patient with pemphigus foliaceus	Int J Dermatol•2017•Dec•56• 1477–1479	Others
339	T. Maeda, T. Yanagi, K. Imafuku, S. Kitamura, H. Hata and H. Shimizu	皮膚科	Photodynamic eye precisely reveals pilonidal sinus borders	Int J Dermatol•2017•Dec•56• 1514–1515	Others
340	Y. Mai, W. Nishie, T. Sugai, K. Imafuku, K. Arita and H. Shimizu	皮膚科	Disappearing subcutaneous papules and nodules: Characteristic features of muscle herniation and piezogenic pedal papules	J Dermatol•2017•Dec•44• e361–e362	Letter
341	Y. Mai, H. Ujiie, M. Nishimura, H. Koga, Y. Maya, K. Shiba–Tokuchi, Y. Fujita, H. Iwata, Y. Mikawa and H. Shimizu	皮膚科	Chemiluminescent enzyme immunoassay failed to detect anti-desmoglein 3 antibodies in a case of pemphigus vulgaris	J Dermatol•2017•Oct•44• e242–e243	Letter
342	H. Miyazawa, T. Yanagi, Y. Yamaguchi, K. Imafuku, S. Kitamura, H. Hata, J. Uehara, N. Ichikawa, Y. Ohno, T. Yoshida, S. Homma, H. Kawamura, A. Taketomi and H. Shimizu	皮膚科	Two cases of melanomas paradoxically metastasizing to the intestinal tract during nivolumab therapy	J Dermatol•2017•Aug•44• 959–962	Others
343	K. Muramatsu, T. Nomura, C. Shiya, K. Nishiura and I. Tsukinaga	皮膚科	Alopecia induced by timolol eye-drops	Acta Derm Venereol•2017•Feb•97• 295–296	Others
344	K. Muramatsu, H. Ujiie and H. Shimizu	皮膚科	Postherpetic abdominal pseudohernia	BMJ•2017•?•358• j2786	Others
345	H. Nakamura, A. Mizukami, K. Adachi, S. Matthews, K. Holl, K. Asano, A. Watanabe, R. Adachi, M. Kiuchi, K. Kobayashi, K. Sato, T. Matsuki, T. Kaise and D. Curran	皮膚科	Economic burden of herpes zoster and post-herpetic neuralgia in adults 60 years of age or older: Results from a prospective, physician practice-based cohort study in Kushiro, Japan	Drugs Real World Outcomes•2017•Dec•4• 187–198	Original Article
346	A. Narahira, T. Yanagi, K. Y. Cho, A. Nakamura, H. Miyoshi, H. Hata, K. Imafuku, S. Kitamura and H. Shimizu	皮膚科	Isolated adrenocorticotrophic hormone deficiency associated with nivolumab therapy	J Dermatol•2017•Apr•44• e70	Letter

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
347	K. Natsuga, W. Nishie, M. Nishimura, S. Shinkuma, M. Watanabe, K. Izumi, H. Nakamura, Y. Hirako and H. Shimizu	皮膚科	Loss of interaction between plectin and type XVII collagen results in epidermolysis bullosa simplex	Hum Mutat•2017•Dec•38• 1666–1670	Original Article
348	Y. Ohguchi, T. Nomura, S. Suzuki, M. Takeda, T. Miyauchi, O. Mizuno, S. Shinkuma, Y. Fujita, O. Nemoto, K. Ono, W. H. I. McLean and H. Shimizu	皮膚科	Gentamicin-Induced Readthrough and Nonsense-Mediated mRNA Decay of SERPINB7 Nonsense Mutant Transcripts	J Invest Dermatol•2017•Apr•138• 836–843	Original Article
349	K. Sato, K. Adachi, H. Nakamura, K. Asano, A. Watanabe, R. Adachi, M. Kiuchi, K. Kobayashi, T. Matsuki, T. Kaise, K. Gopala and K. Holl	皮膚科	Burden of herpes zoster and postherpetic neuralgia in Japanese adults 60 years of age or older: Results from an observational, prospective, physician practice-based cohort study	J Dermatol•2017•Apr•44• 414–422	Original Article
350	K. Sato, S. Shinkuma, K. Fujimoto, K. C. Hatanaka, H. Ujiie, T. Nomura, Y. Fujita, R. Abe, Y. Matsuno and H. Shimizu	皮膚科	Late-onset skin involvement on the forehead in multicentric Castleman disease	Int J Dermatol•2017•Jul•56• e152–e153	Others
351	K. Shiba, Y. Fujita, H. Miyazawa, K. Muramatsu, M. Watanabe, M. Nishimura, S. Shinkuma, T. Nomura, W. Nishie, J. Taguchi, I. Kinoshita and H. Shimizu	皮膚科	Thymoma-associated multi-organ autoimmunity: two cases and a review of the literature	J Eur Acad Dermatol Venereol• 2017•Jul•31• e324–e326	Letter
352	K. Shiba, R. Moriuchi, Y. Morita, Y. Hamade, T. Miyauchi, K. Kikuchi, K. Tsuchiya and S. Shimizu	皮膚科	Recalcitrant granuloma faciale with 14-year follow-up.	Our Dermatol Online•2017•Apr•8• 183–185	Case report
353	K. Shiba, T. Yanagi, S. Nakazato, K. Imafuku, S. Kitamura, H. Hata and H. Shimizu	皮膚科	Case of congenital panfollicular nevus with remarkable adipose tissue proliferation	J Dermatol•2017•Apr•44• e77–e78	Letter
354	K. Shiba-Tokuchi, R. Moriuchi, Y. Morita, H. Takahashi, N. Obara, M. Okazaki and S. Shimizu	皮膚科	Ulceration on an old cervical operative scar: Post-surgical pyoderma gangrenosum induced by recent mastectomy	J Dermatol•2017•Oct•44• e244–e245	Letter
355	K. Shiba-Tokuchi, R. Moriuchi, Y. Morita, Y. Takashima, T. Shirato, Y. Koike, K. Izumi, W. Nishie and S. Shimizu	皮膚科	Case of bullous pemphigoid accompanied by collagenous gastroenteritis	J Dermatol•2017•Dec•44• e365–e366	Letter
356	C. Shiiya, Y. Nomura, Y. Fujita, C. Nakayama and H. Shimizu	皮膚科	Psoriasis vulgaris with fibrokeratoma from pityriasis amiantacea	JAAD Case Rep•2017•May•3• 243–245	Case report
357	C. Shiiya and M. Ota	皮膚科	Facial rash, fever, and anemia in a newborn	Jama•2017•?•317• 2125–2126	Others
358	C. Shiiya and M. Ota	皮膚科	Cold agglutinin disease presenting as livedo racemosa	Cmaj•2017•?•189• E781	Others
359	E. Toyonaga, H. Iwata, S. Nakazato, Y. Morita, I. Takahashi and H. Shimizu	皮膚科	A case of cutaneous polyarteritis nodosa with PR3-ANCA	Eur J Dermatol•2017•43374•27• 524–525	Others
360	E. Toyonaga, W. Nishie, K. Izumi, K. Natsuga, H. Ujiie, H. Iwata, J. Yamagami, Y. Hirako, D. Sawamura, W. Fujimoto and H. Shimizu	皮膚科	C-terminal processing of collagen XVII induces neoepitopes for linear IgA dermatosis autoantibodies	J Invest Dermatol•2017•Dec•137• 2552–2559	Original Article
361	H. Ujiie	皮膚科	IgE autoantibodies in bullous pemphigoid	Br J Dermatol•2017•Dec•177• 1481–1482	Others
362	I. Ujiie, Y. Fujita, C. Nakayama, W. Matsumura, S. Suzuki, S. Shinkuma, T. Nomura, R. Abe and H. Shimizu	皮膚科	Altered balance of epidermis-related chemokines in epidermolysis bullosa	J Dermatol Sci•2017•Apr•86• 37–45	Others
363	M. Watanabe, K. Natsuga, W. Nishie, Y. Kobayashi, G. Donati, S. Suzuki, Y. Fujimura, T. Tsukiyama, H. Ujiie, S. Shinkuma, H. Nakamura, M. Murakami, M. Ozaki, M. Nagayama, F. M. Watt and H. Shimizu	皮膚科	Type XVII collagen coordinates proliferation in the interfollicular epidermis	elife•2017•?•6• e26635	Others
364	T. Yanagi, H. Hata, E. Homma, S. Kitamura, K. Imafuku and H. Shimizu	皮膚科	Adjuvant therapy with low-dose interferon-beta for stage II and III melanoma: results of a retrospective analysis	Clin Exp Dermatol•2017•Oct•42• 781–785	Others
365	T. Yanagi, H. Hata, E. Mizuno, S. Kitamura, K. Imafuku, S. Nakazato, L. Wang, H. Nishihara, S. Tanaka and H. Shimizu	皮膚科	PCTAIRE1/CDK16/PCTK1 is overexpressed in cutaneous squamous cell carcinoma and regulates p27 stability and cell cycle	J Dermatol Sci•2017•May•86• 149–157	Others
366	T. Yanagi, K. Nagai, H. Shimizu and S. I. Matsuzawa	皮膚科	Melanoma antigen A12 regulates cell cycle via tumor suppressor p21 expression	Oncotarget•2017•?•8• 68448–68459	Others
367	T. Yanagi, H. Nishihara, K. Fujii, M. Nishimura, A. Narahira, K. Takahashi, H. Iwata, H. Hata, S. Kitamura, K. Imafuku and H. Shimizu	皮膚科	Comprehensive cancer-related gene analysis reveals that active KRAS mutation is a prognostic mutation in mycosis fungoides	J Dermatol Sci•2017•Dec•88• 367–370	Letter
368	N. Yoshimoto, H. Ujiie, Y. Hirata, K. Izumi, W. Nishie and H. Shimizu	皮膚科	Bullous pemphigoid developed in a patient with prurigo nodularis	J Eur Acad Dermatol Venereol• 2017•Apr•31• e187–e189	Letter
369	N. Yoshimoto, T. Yanagi, W. Matsumura, I. Ujiie, K. Izumi, S. Ando, W. Nishie, K. Fujii, H. Nishihara and H. Shimizu	皮膚科	Primary cutaneous diffuse large B-cell lymphoma presenting as a solitary subcutaneous nodule with TP53 and FBXW7 mutations	Int J Dermatol•2017•Dec•56• 1459–1461	Others
370	Y. Fujimura, M. Watanabe, K. Natsuga and H. Shimizu	皮膚科	Acute vascular reaction due to lipo-prostaglandin E1	J Eur Acad Dermatol Venereol• 2018•Jul•32• e273–e274	Letter
371	M. Kamaguchi, H. Iwata, H. Ujiie, K. Izumi, K. Natsuga, W. Nishie, T. Asaka, Y. Kitagawa and H. Shimizu	皮膚科	Oral mucosa is a useful substrate for detecting autoantibodies of mucous membrane pemphigoid	Br J Dermatol•2018•Feb•178• e119–e121	Letter
372	M. Kamaguchi, H. Iwata, H. Ujiie, K. Natsuga, W. Nishie, Y. Kitagawa and H. Shimizu	皮膚科	High expression of collagen XVII compensates for its depletion induced by pemphigoid IgG in the oral mucosa	J Invest Dermatol•2018•Aug•138• 1707–1715	Original Article
373	M. Kamaguchi, H. Iwata, I. Ujiie, H. Ujiie, J. Sato, Y. Kitagawa and H. Shimizu	皮膚科	Direct Immunofluorescence Using Non-Lesional Buccal Mucosa in Mucous Membrane Pemphigoid	Front Med (Lausanne)•2018•?•5•20	Original Article
374	S. Kitamura, T. Yanagi, K. Imafuku, H. Hata and H. Shimizu	皮膚科	Lipofuscin deposition causes the pigmentation of apocrine hidrocystoma	J Dermatol•2018•Jan•45• 91–94	Others
375	S. Kitamura, T. Yanagi, Y. Inamura-Takashima, K. Imafuku, H. Hata, Y. Fujioka, Y. Ohba and H. Shimizu	皮膚科	Dermoscopic evaluation for skin grafts after surgery; neo-vascularization correlates with survival of skin grafts: A prospective study	J Dermatol Sci•2018•?•90• 213–216	Letter

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
376	S. Kitamura, T. Yanagi, Y. Inamura–Takashima, K. Imafuku, H. Hata, J. Uehara, Y. Ishida, A. Otsuka, K. Hirata and H. Shimizu	皮膚科	Retrospective study on the correlation between 18–fluorodeoxyglucose uptake in positron emission tomography–computer tomography and tumour volume, cytological activity as assessed with Ki-67 and GLUT-1 staining in 10 cases of Merkel	J Eur Acad Dermatol Venereol•2018•Jul•32• e285–e287	Letter
377	H. Kosumi, H. Iwata, H. Miyazawa, M. Tsujiwaki, Y. Mai, S. Ando, T. Ito, K. Yamano and H. Shimizu	皮膚科	Dermoscopic features of tungiasis	J Eur Acad Dermatol Venereol•2018•?•32• e313–e314	Letter
378	H. Kosumi, H. Iwata, M. Tsujiwaki and H. Shimizu	皮膚科	Diagnosis at a Glance: Acquired Perforating Dermatosi	Diabetes Care•2018•Apr•41• 911–912	Others
379	H. Kosumi, W. Nishie, T. Sugai, E. Toyonaga, N. Yoshimoto, H. Nakamura, R. Horibe, Y. Kitamura, H. Nakatsumi and H. Shimizu	皮膚科	Ramucirumab-induced multiple haemangiomas of the skin: Two case reports	Acta Derm Venereol•2018•?•98• 454–455	Case report
380	H. Kosumi, M. Watanabe, K. Natsuga, T. Miyauchi, C. Shiya, H. Ujiie and H. Shimizu	皮膚科	Sweet’s syndrome mimicking anti-neutrophil cytoplasmic antibodies-associated vasculitis	Am J Med•2018•?•131• e241–e242	Others
381	H. Kosumi, T. Yanagi, K. Izumi, T. Ito and H. Shimizu	皮膚科	Unusual post-patch testing erythema: a late, granulomatous, non-eczematous reaction to gold sodium thiosulphate	J Eur Acad Dermatol Venereol•2018•Apr•32• e126–e127	Letter
382	H. Kosumi, T. Yanagi, T. Maeda, T. Sugai, K. Imafuku, H. Hata and H. Shimizu	皮膚科	Horn-like tumour on the dorsal hand	Lancet Infect Dis•2018•Jun•18•696	Others
383	T. Maeda, K. Natsuga, W. Nishie, K. Yamashita and H. Shimizu	皮膚科	Extensive eruptive syringoma after liver transplantation	Acta Derm Venereol•2018•?•98• 119–120	Others
384	T. Maeda, Y. Watabe, T. Yanagi, K. Imafuku, S. Kitamura, H. Hata, T. Nomura and H. Shimizu	皮膚科	Dermoscopic features of Bednar tumor: Report of a case	J Dermatol•2018•Jul•45• e179–e180	Letter
385	S. Mai, Y. Fujita, T. Sugai, K. Imafuku, H. Hata, S. Shinkuma, T. Nomura, N. Kawagishi and H. Shimizu	皮膚科	Apocrine mixed tumour on the abdomen: an atypical location	Eur J Dermatol•2018•?•28• 234–235	Others
386	Y. Mai, W. Nishie, K. Sato, M. Hotta, K. Izumi, K. Ito, K. Hosokawa and H. Shimizu	皮膚科	Bullous Pemphigoid Triggered by Thermal Burn Under Medication With a Dipeptidyl Peptidase-IV Inhibitor: A Case Report and Review of the Literature	Front Immunol•2018•Apr•9•542	Case report
387	W. Matsumura, Y. Fujita, C. Nakayama, S. Shinkuma, S. Suzuki, T. Nomura, R. Abe and H. Shimizu	皮膚科	Establishment of integration-free induced pluripotent stem cells from human recessive dystrophic epidermolysis bullosa keratinocytes	J Dermatol Sci•2018•?•89• 263–271	Others
388	H. Miyazawa, W. Nishie, H. Hata, K. Matsumura and H. Shimizu	皮膚科	A severe case of mango dermatitis	J Eur Acad Dermatol Venereol•2018•Apr•32• e160–e161	Letter
389	H. Miyazawa, S. Shinkuma, Y. Yamaguchi, Y. Fujita, T. Nomura and H. Shimizu	皮膚科	A solitary reddish nodule on the lower leg	Int J Dermatol•2018•Mar•57• 276–277	Others
390	H. Ujiie, K. Muramatsu, T. Mushiroda, T. Ozeki, H. Miyoshi, H. Iwata, A. Nakamura, H. Nomoto, K. Y. Cho, N. Sato, M. Nishimura, T. Ito, K. Izumi, W. Nishie and H. Shimizu	皮膚科	HLA-DQB1*03:01 as a Biomarker for Genetic Susceptibility to Bullous Pemphigoid Induced by DPP-4 Inhibitors	J Invest Dermatol•2018•May•138• 1201–1204	Letter
391	M. Watanabe, K. Natsuga, S. Shinkuma and H. Shimizu	皮膚科	Epidermal aspects of type VII collagen: Implications for dystrophic epidermolysis bullosa and epidermolysis bullosa acquisita	J Dermatol•2018•May•45• 515–521	Review
392	T. Yanagi, S. Kitamura and H. Hata	皮膚科	Novel Therapeutic Targets in Cutaneous Squamous Cell Carcinoma	Front Oncol•2018•?•8•79	Review
393	M. Zheng, H. Ujiie, K. Muramatsu, K. C. Sato–Matsumura, T. Maeda, I. Ujiie, H. Iwata, K. Izumi, W. Nishie and H. Shimizu	皮膚科	A possible association between BP230-type bullous pemphigoid and dementia: a report of two cases in elderly patients	Br J Dermatol•2018•Jun•178• 1449–1450	Others
394	Saito T, Ikeda M, Hashimoto R, Iwata N	精神科神経科	Transethnic replication study to assess the association between clozapine-induced agranulocytosis/granulocytopenia and genes at 12p12.2 in a Japanese population.	Biol Psychiatry 82: e9–e10, 2017	Original Article
395	Hashimoto N, Ito YM, Okada N, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Kudo N, Takemura A, Son S, Narita H, Yamamoto M, Tha KK, Katsuki A, Ohi K, Yamashita F, Koike S, Takahashi T, Nemoto K, Fukunaga M, Onitsuka	精神科神経科	The effect of duration of illness and antipsychotics on subcortical volumes in schizophrenia: Analysis of 778 subjects.	Neuroimage Clin. 17:563–569.2017	Original Article
396	Hashimoto N, Toyomaki A, Miyamoto T, Miyazaki A, Kuksumi I	精神科神経科	Olanzapine, blonanserin, and aripiprazole associated with different frontostriatal reward system activation in patients with schizophrenia.	Schizophr Res. S0920–9964(17), 30733–8, 2017	Original Article
397	Mitsui N, Nakai Y, Inoue T, Udo N, Kitagawa K, Wakatsuki Y, KameyamaR, Toyomaki A, Ito MY, Kitaichi Y, Nakagawa S, Kusumi I	精神科神経科	Association between suicide-related ideations and affective temperaments in the Japanese general population.	PLoS One;12(6):e0179952,2017	Original Article
398	Toyomaki A, Koga M, Okada E, Nakai Y, Miyazaki A, Tamakoshi A, Kiso Y, Kusumi I	精神科神経科	The relationship between a low grain intake dietary pattern and impulsive behaviors in middle-aged Japanese people	PLoS One July 13, 1–9, 2017	Original Article
399	Toyomaki A, Hashimoto N, Kako Y, Murohashi H, Kusumi I	精神科神経科	The Neural Responses to Feedback Information Produced by Self-generated or Other-generated Decision Making and its Impairment in Schizophrenia	PLoS One August 24, 1–14, 2017	Original Article
400	Toyoshima K, Fujii Y, Mitsui N, Kako Y, Asakura S, Martinez–Aran A, Vieta E, Kusumi I	精神科神経科	Validity and reliability of the Cognitive Complaints in Bipolar Disorder Rating Assessment (COBRA) in Japanese patients with bipolar disorder.	Psychiatry Res. 254, 85–89, 2017	Original Article
401	Horinouchi T, Nishida K, Nakagami Y, Nakamura I, Aoki N, Tanaka M, Suzuki M, Kuga H, Takeda M, Bhugra D, Sartorius N	精神科神経科	Learning About the Management of Physical Illness During the Postgraduate Training to Become a Good Psychiatrist.	Academic Psychiatry, 1–3, 2017	Others
402	Furuya S, Kawabori M (corresponding), et al.	脳神経外科	Serial Arterial Spin Labeling May Be Useful in Assessing the Therapeutic Course of Cerebral Venous Thrombosis: Case Reports.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2017 Oct 15;57(10):557–561	Case report
403	Shichinohe H, Kawabori M, et al.	脳神経外科	Research on advanced intervention using novel bone marrow stem cell (RAINBOW): a study protocol for a phase I, open-label, uncontrolled, dose-response trial of autologous bone marrow stromal cell transplantation in patients with acute ischemic	BMC Neurol. 2017 Sep 8;17(1):179.	Others
404	Kikutaro Tokairin, Toshiya Osanai, Takeo Abumiya, Ken Kazumata, Kota Ono, Kiyohiro Houkin	脳神経外科	Regional transarterial hypothermic infusion in combination with endovascular thrombectomy in acute ischaemic stroke with cerebral main arterial occlusion: protocol to investigate safety of the clinical trial	BMJ Open 2017;7:e016502. doi:10.1136/bmjopen-2017-016502 (オンライン)	Others

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
405	Osanai T, Hida K, Asano T, Seki T, Sasamori T, Houkin K.	脳神経外科	Ten-Year Retrospective Study on the Management of Spinal Arteriovenous Lesions: Efficacy of a Combination of Intraoperative Digital Subtraction Angiography and Intraarterial Dye Injection.	World Neurosurg. 2017 Aug;104:841-847.	Original Article
406	Shimbo D, Abumiya T, Kurisu K, Osanai T, Shichinohe H, Nakayama N, Kazumata K, Nakamura H, Shimuzu H, Houkin K.	脳神経外科	Superior Microvascular Perfusion of Infused Liposome-Encapsulated Hemoglobin Prior to Reductions in Infarctions after Transient Focal Cerebral Ischemia.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2017 Dec;26(12):2994-3003.	Original Article
407	Sugiyama T, Lama S, Gan LS, Maddahi Y, Zareinia K, Sutherland GR	脳神経外科	Forces of Tool-Tissue Interaction to Assess Surgical Skill Level	JAMA Surg. 2018 Mar 1; 153(3): 234-242	Original Article
408	Sugiyama T, Gan LS, Zareinia K, Lama S, Sutherland GR	脳神経外科	Tool-Tissue Interaction Forces in Brain Arteriovenous Malformation	World Neurosurg. 2017 Jun; 102: 221-228	Original Article
409	Hokari M, Nakayama N, Kazumata K, Osanai T, Shichinohe H, Abumiya T, Houkin K.	脳神経外科	Surgical Outcome of Cerebral Aneurysm Clipping Treaded with Immunosuppressants: Report of 11 Cases and Review of the Literature Original Articles	Neurol Med Chir 2017 Mar 57(3): 122-127	Original Article
410	Hokari M, Nakayama, Shimoda Y, Houkin K	脳神経外科	Effect of headache on the pathological findings of unruptured cerebral saccular aneurysms	World Neurosurg 2017 Jul 103: 431-441	Original Article
411	Gekka M, Nakayama N*, Uchino H, Houkin K	脳神経外科	Factors influencing cerebral aneurysm obliteration and reliability of indocyanine green video-angiography	Acta Neurochir (Wien) 2017 Nov 160(2): 269-276	Original Article
412	Koganemaru S, Mikami Y, Maezawa H, Ikeda S, Ikoma K, Mima T.	リハビリテーション科	Neurofeedback control of the human GABAergic system using non-invasive brain stimulation.	Neuroscience. 1; 380: 38-48. 2018. June	Original Article
413	Koganemaru S, Goto F, Arai M, Toshikuni K, Hosoya M, Wakabayashi T, Yamamoto N, Minami S, Ikeda S, Ikoma K, Mima T.	リハビリテーション科	Effects of vestibular rehabilitation combined with transcranial cerebellar direct current stimulation in patients with chronic dizziness: An exploratory study.	Brain stimulation 10(3) 576-578. 2017. May	Original Article
414	Koshino Y, Yamanaka M, Ezawa Y, Okunuki T, Ishida T, Samukawa M, Tohyama H.	リハビリテーション科	Coupling motion between rearfoot and hip and knee joints during walking and single-leg landing.	J Electromyogr Kinesiol.37:75-83.2017	Original Article
415	Ueno R, Ishida T, Yamanaka M, Taniguchi S, Ikuta R, Samukawa M, Saito H, Tohyama H.	リハビリテーション科	Quadriceps force and anterior tibial force occur obviously later than vertical ground reaction force: a simulation study.	BMC Musculoskelet Disord.18(1):467.2017	Original Article
416	Koshino Y, Ishida T, Yamanaka M, Samukawa M, Kobayashi T, Tohyama H.	リハビリテーション科	Toe-inLanding Increases the Ankle Inversion Angle and Moment During Single-Leg Landing: Implications in the Prevention of Lateral Ankle Sprains.	J Sport Rehabil. 26(6):530-535.2017	Original Article
417	Nakatani M, Watari H, Mitamura T, Wang L, Hatanaka Y, Hatanaka KC, Honda K, Nomura T, Nishihara H, Tanaka S, Sakuragi N.	婦人科	The Anti-tumor Effect of Cabozantinib on Ovarian Clear Cell Carcinoma In Vitro and In Vivo.	Anticancer Res. 2017 Nov;37(11):6125-6132.	Original Article
418	Watari H, Katayama H, Shibata T, Ushijima K, Satoh T, Onda T, Aoki D, Fukuda H, Yaegashi N, Sakuragi N; Gynecologic Cancer Study Group of the Japan Clinical Oncology Group.	婦人科	Phase III trial to confirm the superiority of pelvic and para-aortic lymphadenectomy to pelvic lymphadenectomy alone for endometrial cancer: Japan Clinical Oncology Group Study 1412 (SEPAL-P3).	Jpn J Clin Oncol. 2017 Oct 1;47(10):986-990.	Original Article
419	Zhang Q, Dong P, Liu X, Sakuragi N, Guo SW.	婦人科	Enhancer of Zeste homolog 2 (EZH2) induces epithelial-mesenchymal transition in endometriosis.	Sci Rep. 2017 Jul 28;7(1):6804.	Original Article
420	Nio-Kobayashi J, Kudo M, Sakuragi N, Iwanaga T, Duncan WC.	婦人科	Loss of luteotropic prostaglandin E plays an important role in the regulation of luteolysis in women.	Mol Hum Reprod. 2017 May 1;23(5):271-281.	Original Article
421	Zhao G, Wang Q, Gu Q, Qiang W, Wei JJ, Dong P, Watari H, Li W, Yue J.	婦人科	Lentiviral CRISPR/Cas9 nickase vector mediated BIRC5 editing inhibits epithelial to mesenchymal transition in ovarian cancer cells.	Oncotarget. 2017 Oct 17;8(55):94666-94680.	Original Article
422	Dong P, Xiong Y, Hanley SJB, Yue J, Watari H.	婦人科	Musashi-2, a novel oncoprotein promoting cervical cancer cell growth and invasion, is negatively regulated by p53-induced miR-143 and miR-107 activation.	J Exp Clin Cancer Res. 2017 Oct 26;36(1):150.	Original Article
423	Itamochi H, Oishi T, Oumi N, Takeuchi S, Yoshihara K, Mikami M, Yaegashi N, Terao Y, Takehara K, Ushijima K, Watari H, Aoki D, Kimura T, Nakamura T, Yokoyama Y, Kigawa J, Sugiyama T.	婦人科	Whole-genome sequencing revealed novel prognostic biomarkers and promising targets for therapy of ovarian clear cell carcinoma.	Br J Cancer. 2017 Aug 22;117(5):717-724.	Original Article
424	Xiong Y, Sun F, Dong P, Watari H, Yue J, Yu MF, Lan CY, Wang Y, Ma ZB.	婦人科	iASPP induces EMT and cisplatin resistance in human cervical cancer through miR-20a-FBXL5/BTG3 signaling.	J Exp Clin Cancer Res. 2017 Apr 11;36(1):48.	Original Article
425	Hayasaka I, Cho K, Akimoto T, Ikeda M, Uzuki Y, Yamada M, Nakata K, Furuta I, Ariga T, Minakami H.	産科・周産母子センター	Genetic basis for childhood interstitial lung disease among Japanese infants and children.	Pediatr Res. 2018 Feb;83(2):477-483.	Original Article
426	Tamura N, Hanaoka T, Ito K, Araki A, Miyashita C, Ito S, Minakami H, Cho K, Endo T, Sengoku K, Ogasawara K, Kishi R.	産科・周産母子センター	Different Risk Factors for Very Low Birth Weight, Term-Small-for-Gestational-Age, or Preterm Birth in Japan.	Int J Environ Res Public Health. 2018 Feb 21;15(2). pii: E369.	Original Article
427	Cho K, Yamada M, Agematsu K, Kanegane H, Miyake N, Ueki M, Akimoto T, Kobayashi N, Ikemoto S, Tanino M, Fujita A, Hayasaka I, Miyamoto S, Tanaka-Kubota M, Nakata K, Shiina M, Ogata K, Minakami H, Matsumoto	産科・周産母子センター	Heterozygous Mutations in OAS1 Cause Infantile-Onset Pulmonary Alveolar Proteinosis with Hypogammaglobulinemia.	Am J Hum Genet. 2018 Mar 1;102(3):480-486.	Original Article
428	Hanaoka T, Tamura N, Ito K, Sasaki S, Araki A, Ikeno T, Miyashita C, Ito S, Minakami H, Cho K, Endo T, Baba T, Miyamoto T, Sengoku K, Kishi R; other members of the Hokkaido Study on Environment and Children’s Health.	産科・周産母子センター	Prevalence and Risk of Birth Defects Observed in a Prospective Cohort Study: The Hokkaido Study on Environment and Children’s Health.	J Epidemiol. 2018 Mar 5;28(3):125-132.	Original Article
429	Minatoya M, Sasaki S, Araki A, Miyashita C, Itoh S, Yamamoto J, Matsumura T, Mitsui T, Moriya K, Cho K, Morioka K, Minakami H, Shinohara N, Kishi R.	産科・周産母子センター	Cord Blood Bisphenol A Levels and Reproductive and Thyroid Hormone Levels of Neonates: The Hokkaido Study on Environment and Children’s Health.	Epidemiology. 2017 Oct;28 Suppl 1:S3-S9.	Original Article
430	Umazume T, Hayasaka S, Kato F, Ishikawa S, Morikawa M, Minakami H.	産科・周産母子センター	Sudden maternal hypoxemia during elective cesarean section in a woman with placenta previa.	Clin Case Rep. 2017 Sep 2;5(10):1668-1671.	Case report
431	Morikawa M, Sugiyama T, Sagawa N, Hiramatsu Y, Ishikawa H, Hamada H, Kameda T, Hara E, Toda S, Minakami H.	産科・周産母子センター	Perinatal mortality in Japanese women diagnosed with gestational diabetes mellitus and diabetes mellitus.	J Obstet Gynaecol Res. 2017 Nov;43(11):1700-1707.	Original Article
432	Braimoh TS, Kobayashi S, Sata F, Sasaki S, Goudarzi H, Yila TA, Araki A, Miyashita C, Minakami H, Baba T, Sengoku K, Kishi R.	産科・周産母子センター	Association of prenatal passive smoking and metabolic gene polymorphisms with child growth from birth to 3years of age in the Hokkaido Birth Cohort Study on Environment and Children’s Health.	Sci Total Environ. 2017 Dec 15;605-606:995-1002.	Original Article
433	Furuta I, Zhai T, Umazume T, Ishikawa S, Hosokawa A, Kojima T, Chiba K, Yamada T, Morikawa M, Minakami H.	産科・周産母子センター	Post-partum podocyturia following pre-eclamptic pregnancy.	J Obstet Gynaecol Res. 2017 Jun;43(6):1008-1013.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
434	Yamamura M, Kojima T, Koyama M, Sazawa A, Yamada T, Minakami H.	産科・周産母子センター	Everolimus in pregnancy: Case report and literature review.	J Obstet Gynaecol Res. 2017 Aug;43(8):1350–1352.	Case report
435	Hosokawa A, Umazume T, Yamada T, Minakami H.	産科・周産母子センター	Maternal bradycardia occurring prior to onset of HELLP syndrome in a woman with pre-eclampsia.	BMJ Case Rep. 2017 May 13;2017.	Original Article
436	Deguchi M, Yamada H, Sugiura–Ogasawara M, Morikawa M, Fujita D, Miki A, Makino S, Murashima A.	産科・周産母子センター	Factors associated with adverse pregnancy outcomes in women with antiphospholipid syndrome: A multicenter study.	J Reprod Immunol. 2017 Aug;122:21–27.	Original Article
437	Tsujioka T, Sugiyama M, Ueki M, Tozawa Y, Takezaki S, Ohshima J, Cho Y, Yamada M, Iguchi A, Kobayashi I and Ariga T	小児科	Difficulty in the diagnosis of bone and joint pain associated with pediatric acute leukemia; comparison with juvenile idiopathic arthritis.	Mod. Rheumatol. 14, 1–6, 2017	Original Article
438	Igarashi Y, Uchiyama T, Minegishi T, Takahashi S, Watanabe N, Kawai T, Yamada M, Ariga T and Onodera M:	小児科	Single cell–based vector tracing in patients with ADA–SCID treated with stem cell gene therapy.	Mol. Ther. Methods. Clin. Dev. 6, 8–16, 2017	Original Article
439	Sugiyama M, Iguchi A, Yamada M, Terashita Y, Ohshima J, Cho Y, Miyake N, Matsumoto N, Ueki M, Yamazaki Y, Takezaki S, Kobayashi I and Ariga T:	小児科	Successful bone marrow transplantation in two sisters with activated phosphoinositide 3–kinase δ syndrome 2.	Bone Marrow Transplant. 52, 1678–1680, 2017	Case report
440	Tanaka–Kubota M, Shinozaki K, Miyamoto S, Yanagimachi M, Okano T, Mitsui N, Ueki M, Yamada M, Imai K, Takagi M, Agematsu K, Kanegane H, Morio T	小児科	Hematopoietic stem cell transplantation for pulmonary alveolar proteinosis associated with primary immunodeficiency disease.	Int. J. Hematol. 107, 610–614, 2018	Case report
441	Cho K, Yamada M, Agematsu K, Kanegane H, Miyake N, Ueki M, Akimoto T, Kobayashi N, Ikemoto S, Tanino M, Fujita A, Hayasaka I, Miyamoto S, Tanaka–Kubota M, Nakata K, Shiina M, Ogata K, Minakami H, Matsumoto N	小児科	Heterozygous mutations in OAS1 cause infantile–onset pulmonary alveolar proteinosis with hypogammaglobulinemia.	Am. J. Hum. Genet. 102, 480–486, 2018	Original Article
442	Nakayama K, *Yamada M, Tozawa Y, Nakamaru Y, Ueki M, Takezaki S, Nishimura H, Mitsuhashi T, Oyama–Manabe N, Sakamoto K, Arai R, Yamamoto S, Uetake K and Ariga T	小児科	Relapsing polychondritis with increased bone marrow signal on Magnetic Resonance Imaging in a 13–year–old girl.	J. Clin. Rheumatol. 24, 52–54, 2018	Case report
443	Yamada K, Shiraishi H, Oki E, Ishige M, Fukao T, Hamada Y, Sakai N, Ochi F, Watanabe A, Kawakami S, Kuzume K, Watanabe K, Sameshima K, Nakamagoe K, Tamaoka A, Asahina N, Yokoshiki S, Miyakoshi T, Ono	小児科	Open–label clinical trial of bezafibrate treatment in patients with fatty acid oxidation disorders in Japan.	Mol Genet Metab Rep. 15, 55–63, 2018	Original Article
444	Nakajima M, Wong S, Widjaja E, Baba S, Okanishi T, Takada L, Sato Y, Iwata H, Sogabe M, Morooka H, Whitney R, Ueda Y, Ito T, Yagyu K, Ochi A, Carter S, Snead O 3rd, Rutka JT, Drake JM, Doesburg S, Takeuchi	小児科	Advanced dynamic statistical parametric mapping with MEG in localizing epileptogenicity of the bottom of sulcus dysplasia.	Clin Neurophysiol. 129, 1182–91. 2018	Original Article
445	Hori I, Otomo T, Nakashima M, Miya F, Negishi Y, Shiraishi H, Nonoda Y, Magara S, Tohyama J, Okamoto N, Kumagai T, Shimoda K, Yukitake Y, Kajikawa D, Morio T, Hattori A, Nakagawa M, Ando N, Nishino I,	小児科	Defects in autophagosome–lysosome fusion underlie Vici syndrome, a neurodevelopmental disorder with multisystem involvement.	Sci Rep. Jun 14;7(1):3552. 2017	Original Article
446	Suzuki H, Enatsu R, Kanno A, Ochi S, Murahara T, Yazawa S, Shiraishi H and Mikuni N	小児科	The Involvement of Sensory–motor Networks in Reflex Seizure.	NMC Case Rep J. 4, 127–30, 2017	Case report
447	Shiraishi H, Egawa K, Ito T, Kawano O, Asahina N and Kohsaka S	小児科	Efficacy of perampanel for controlling seizures and improving neurological dysfunction in a patient with dentatorubral–pallidoluyisian atrophy (DRPLA).	Epilepsy Behav Case Rep. 8, 44–46, 2017	Case report
448	3. Ito T, Narugami M, Egawa K, Yamamoto H, Asahina N, Kohsaka S, Ishii A, Hirose S and Shiraishi H	小児科	Long–term follow up of an adult with alternating hemiplegia of childhood and a p.Gly755Ser mutation in the ATP1A3 gene.	Brain Dev. 40, 226–8, 2018	Case report
449	Nishikawa Y, Yasuda K, Okamoto S, Ito YM, Onimaru R, Shiga T, Tsuchiya K, Watanabe S, Takeuchi W, Kuge Y, Peng H, Tamaki N, Shirato H. nasopharyngeal cancer and Voxel–based analysis of FMISO uptake using PET	放射線治療科	Local relapse of nasopharyngeal cancer and Voxel–based analysis of FMISO uptake using PET with semiconductor detectors.	Radiat Oncol. 2017 Sep	Original Article
450	Kato H, Soda I, Tamamura H, Takahashi S, Uchinami Y, Ishiyama H, Ota K, Inoue T, Onimaru R, Shibuya K, Hayakawa K, Shirato H.	放射線治療科	Clinical outcomes of stage I and IIA non–small cell lung cancer patients treated with stereotactic body radiotherapy using a real–time tumor–tracking radiotherapy system.	Radiat Oncol. 2017 Jan	Original Article
451	Tomioka S, Nishiyama S, Miyamoto N, Kando D, Heshmat S,	放射線治療科	Weighted reconstruction of three–dimensional refractive index in interferometric tomography,	Applied Optics. 2017 Aug	Original Article
452	Nishioka K, Prayongrat A, Ono K, Onodera S, Hashimoto T, Kato H, Inoue T, Kinoshita R, Yasuda K, Mori T, Onimaru R, Shirato H, Shimizu S.	放射線治療科	Prospective study to evaluate the safety of the world–first spot–scanning dedicated, small 360–degree gantry, synchrotron–based proton beam therapy system.	J Radiat Res 2018 Mar	Original Article
453	Kobashi K, Prayongrat A, Kimoto T, Toramatsu C, Dekura K, Kato H, Shimizu S, Ito Y, Shirato H.	分子追跡放射線医療寄附研究部門	Assessing Uncertainty of Normal Tissue Complication Probability Difference (Δ NTCP): Radiation–Induced Liver Disease (RILD) in liver tumour patients treated with Proton vs X–ray therapy.	J Radiat Res 2018 Mar	Original Article
454	Tha KK, Katscher U, Yamaguchi S, Stehning C, Terasaka S, Fujima N, Kudo K, Kazumata K, Yamamoto T, Van Cauteren M, Shirato H	放射線診断科	Noninvasive electrical conductivity measurement by MRI: a test of its validity and the electrical conductivity characteristics of glioma.	Eur Radiol. 2017 Jul 11. doi: 10.1007/s00330–017–4942–5. [Epub ahead of print]	Original Article
455	Fujima N, Yoshida D, Sakashita T, Homma A, Kudo K, Shirato H	放射線診断科	Residual tumour detection in post–treatment granulation tissue by using advanced diffusion models in head and neck squamous cell carcinoma patients.	Eur J Radiol. 2017 May;90:14–19. doi: 10.1016/j.ejrad.2017.02.025.	Original Article
456	Ishizaka K, Kudo K, Harada K, Shirai T, Fujiwara T, Aoike S, Takamori S, Shirato H	放射線診断科	Simple modification of arm position improves B1+ and signal homogeneity in the thoracolumbar spine at 3T.	J Magn Reson Imaging. 2017 May 26. doi: 10.1002/jmri.25767. [Epub ahead of print]	Original Article
457	Fujima N, Sakashita T, Homma A, Yoshida D, Kudo K, Shirato H	放射線診断科	Utility of a Hybrid IVIM–DKI Model to Predict the Development of Distant Metastasis in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma Patients.	Magn Reson Med Sci. 2017 May 18. doi: 10.2463/mrms.mp.2016–0136.	Original Article
458	Fujima N, Sakashita T, Homma A, Harada T, Shimizu Y, Tha KK, Kudo K, Shirato H	放射線診断科	Non–invasive prediction of the tumor growth rate using advanced diffusion models in head and neck squamous cell carcinoma patients.	Oncotarget. 2017 May 16;8(20):33631–33643. doi: 10.18632/oncotarget.16851.	Original Article
459	Yabusaki S, Oyama–Manabe N, Manabe O, Hirata K, Kato F, Miyamoto N, Matsuno Y, Kudo K, Tamaki N, Shirato H	放射線診断科	Characteristics of immunoglobulin G4–related aortitis/periaortitis and periarteritis on fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography co–registered with contrast–enhanced computed tomography.	EJNMMI Res. 2017 Dec;7(1):20. doi: 10.1186/s13550–017–0268–1. Epub 2017 Feb 27.	Original Article
460	Wang J, Kato F, Yamashita H, Baba M, Cui Y, Li R, Oyama–Manabe N, Shirato H	放射線診断科	Automatic Estimation of Volumetric Breast Density Using Artificial Neural Network–Based Calibration of Full–Field Digital Mammography: Feasibility on Japanese Women With and Without Breast Cancer.	J Digit Imaging. 2017 Apr;30(2):215–227. doi: 10.1007/s10278–016–9922–9.	Original Article
461	Kudo K, Harada T, Kameda H, Uwano I, Yamashita F, Higuchi S, Yoshioka K, Sasaki M	放射線診断科	Indirect MRI of 17 o–labeled water using steady–state sequences: Signal simulation and preclinical experiment.	J Magn Reson Imaging. 2017 Aug 31. doi: 10.1002/jmri.25848. [Epub ahead of print]	Original Article
462	Sugimori H, Fujima N, Suzuki Y, Hamaguchi H, Ishizaka K, Kudo K	放射線診断科	Fast acceleration of ASL–based time–resolved magnetic resonance angiography by acquisition of control and labeled images in the same shot (fast ACTRESS): An optimization study.	Magn Reson Imaging. 2017 Jul 25;43:136–143. doi: 10.1016/j.mri.2017.07.026.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
463	Soyama T, Yoshida D, Sakuhara Y, Morita R, Abo D, Kudo K	放射線診断科	The Steerable Microcatheter: A New Device for Selective Catheterisation.	Cardiovasc Intervent Radiol. 2017 Jun;40(6):947–952. doi: 10.1007/s00270–017–1579–3.	Original Article
464	Kudo K, Uwano I, Hirai T, Murakami R, Nakamura H, Fujima N, Yamashita F, Goodwin J, Higuchi S, Sasaki M	放射線診断科	Comparison of Different Post–Processing Algorithms for Dynamic Susceptibility Contrast Perfusion Imaging of Cerebral Gliomas.	Magn Reson Med Sci. 2017 Apr 10;16(2):129–36.	Original Article
465	Kudo K, Harada T, Kameda H, Uwano I, Yamashita F, Higuchi S, Yoshioka K, Sasaki M	放射線診断科	Indirect Proton Magnetic Resonance Imaging and Kinetic Analysis of 17O–Labeled Water Tracer in the Brain.	Magn Reson Med Sci. 2018 Jul 10;17(3):223–230. doi: 10.2463/mrms.mp.2017–0094. Epub 2017 Nov 16.	Original Article
466	Sakamoto K, Oyama–Manabe N, Manabe O, Aikawa T, Kikuchi Y, Sasai–Masuko H, Naya M, Kudo K, Kato F, Tamaki N, Shirato H	放射線診断科	Heterogeneity of longitudinal and circumferential contraction in relation to late gadolinium enhancement in hypertrophic cardiomyopathy patients with preserverd left ventricular ejection fraction.	Jpn J Radiol. 2018 Feb;36(2):103–112. doi: 10.1007/s11604–017–0700–5. Epub 2017 Nov 9.	Original Article
467	Kameda H, Kudo K, Matsuda T, Harada T, Iwodate Y, Uwano I, Yamashita F, Yoshioka K, Sasaki M, Shirato H	放射線診断科	Improvement of the Repeatability of Parallel Transmission at 7T Using Interleaved Acquisition in the Calibration Scan.	J Magn Reson Imaging. 2018 Jul;48(1):94–101. doi: 10.1002/jmri.25903. Epub 2017 Dec 4.	Original Article
468	Toyonaga T, Yamaguchi S, Hirata K, Kobayashi K, Manabe O, Watanabe S, Terasaka S, Kobayashi H, Hattori N, Shiga T, Kuge Y, Tanaka S, Ito YM, Tamaki N	核医学診療科	Hypoxic glucose metabolism in glioblastoma as a potential prognostic factor	Eur J Nucl Med Mol Imaging. 44(4): 611–619, 2017 Apr	Original Article
469	Abiko K, Ikoma K, Shiga T, Katoh C, Hirata K, Kuge Y, Kobayashi K, Tamaki N	核医学診療科	I–123 iomazenil single photon emission computed tomography for detecting loss of neuronal integrity in patients with traumatic brain injury	EJNMMI Res 7(1):28, 2017 Dec	Original Article
470	Shiga T, Suzuki A, Sakurai K, Kurita T, Takeuchi W, Toyonaga T, Kobashi K, Tamaki N	核医学診療科	Dual isotope SPECT with epilepsy patients using semiconductor SPECT system	Clin Nucl Med 42(9): 663–668, 2017 Sep	Original Article
471	Manabe O, Naya M, Aikawa T, Obara M, Magota K, Kroenke M, Oyama–Manabe N, Hirata K, Shinyama D, Katoh C, Tamaki N	核医学診療科	PET/CT scanning with 3D acquisition is feasible for quantifying myocardial blood flow when diagnosing coronary artery disease	Eur J Nucl Med Mol Imag Res 7(1):52, 2017 Dec	Original Article
472	Magota K, Shiga T, Asano Y, Shinyama D, Ye J, Perkins AE, Maniawski PJ, Toyonaga T, Kobayashi K, Hirata K, Katoh C, Hattori N, Tamaki N	核医学診療科	Scatter Correction with Combined Single–Scatter Simulation and Monte Carlo Simulation Scaling Improved the Visual Artifacts and Quantification in 3–Dimensional Brain PET/CT Imaging with 15O–Gas Inhalation	J Nucl Med. 58(12):2020–2025, 2017 Dec	Original Article
473	Masuda A, Manabe O, Oyama–Manabe N, Naya M, Obara M, Sakakibara M, Hirata K, Yamada S, Naka T, Tsutsui H, Tamaki N	核医学診療科	Cardiac fibroma with high 18F–FDG uptake mimicking malignant tumor	J Nucl Cardiol. 24(1): 323–32, 2017 Feb	Case report
474	Manabe O, Hirata K, Shozo O, Shiga T, Uchiyama Y, Kobayashi K, Watanabe S, Toyonaga T, Kikuchi H, Oyama–Manabe N, Tamaki N	核医学診療科	18F–fluoromisonidazole (FMISO) PET may have the potential to detect cardiac sarcoidosis	J Nucl Cardiol 24(1): 329–331, 2017 Feb	Case report
475	Kanaya M, Endo T, Hashimoto D, Endo S, Takemura R, Okada K, Hatanaka K, Matsuno Y, Teshima T.	血液内科	Diffuse large B–cell lymphoma with a bulky mass in the cranial vault.	Int J Hematol. 2017 Aug;106(2):147–148.	Case report
476	Kanno–Okada H, Takakuwa E, Tagawa Y, Kase S, Hatanaka KC, Hatanaka Y, Namba K, Mitsuhashi T, Matsuno Y.	病理診断科	Cytopathologic findings of cell block materials from the vitreous: Diagnostic distinction between intraocular lymphoma and non–lymphomatous diseases.	Pathol Int. 2017 Jul;67(7):342–349.	Original Article
477	Hotta M, Yanagi T, Sugai T, Nakazato S, Izumi K, Hata H, Okada K, Goto H, Matsuno Y, Shimizu H.	皮膚科	A case of peripheral T–cell lymphoma, not otherwise specified, presenting dyshidrosis–like eruptions as the first clinical manifestation.	J Dermatol. 2017 Dec;44(12):e359–e360.	Case report
478	Miyamoto S, Kudo T, Abiko S, Ono S, Shimizu Y,Matsuno Y, Sakamoto N.	消化器内科	Endocytoscopy of superficial nonampullary duodenal tumor: two cases of tubular adenocarcinoma and adenoma.	Am J Gastroenterol. 2017 Nov;112(11):1638.	Case report
479	Nakanishi Y, Tsuchikawa T, Okamura K, Nakamura T, Noji T, Asano T, Tanaka K, Shichinohe T, Mitsuhashi T, Hirano S.	消化器外科Ⅱ	Clinicopathological features and prognosis of advanced biliary carcinoma centered in the cystic duct.	HPB (Oxford). 2018 Jan;20(1):28–33.	Original Article
480	Tsunematsu S, Muto S, Oi H, Naka T, Kitagataya T, Sasaki R, Taya Y, Baba U, Tsukamoto Y, Uemura K, Kimura T, Ohara Y.	消化器内科	A case of surgically diagnosed primary hepatic angiosarcoma.	Intern Med. 2018 Mar 1;57(5):687–691.	Case report
481	Shimizu A, Takahashi T, Kushima R, Sentani K, Yasui W, Matsuno Y.	病理診断科	An extremely rare case of Epstein–Barr virus–associated gastric carcinoma with differentiation to neuroendocrine carcinoma.	Pathol Int. 2018 Jan;68(1):41–46.	Case report
482	Kanno–Okada H, Mitsuhashi T, Mabe K, Shimoda T, Matsuno Y.	病理診断科	Composite neuroendocrine tumor and adenocarcinoma of the rectum	Diagn Pathol. 2017 Dec 11;12(1):85	Case report
483	Einama T, Kamachi H, Sakata T, Shibata K, Wakizaka K, Sugiyama K, Shibuya K, Shimada S, Wakayama K, Orimo T, Yokoo H, Kamiyama T, Mitsuhashi T, Taketomi A.	消化器外科Ⅰ	Curative resection of pancreatic ductal adenocarcinomadeveloping in the remnant pancreas 13 years after distalpancreatectomy for intraductal papillary mucinous neoplasms: A case report.	Mol Clin Oncol. 2018 Mar;8(3):417–420. Epub 2018 Jan 16.	Case report
484	Yamada T, Nakanishi Y, Okamura K, Tsuchikawa T, Nakamura T, Noji T, Asano T, Tanaka K, Kurashima Y, Ebihara Y, Murakami S, Shichinohe T, Mitsuhashi T, Hirano S.	消化器外科Ⅱ	Impact of serum CA19–9 level on prognosis and prediction of lymph node metastasis in patients with intrahepatic cholangiocarcinoma.	J Gastroenterol Hepatol. 2018 Feb 10.	Original Article
485	Tabata Y, Nakanishi Y, Hatanaka KC, Hatanaka Y, Tsuchikawa T, Okamura K, Noji T, Shichinohe T, Matsuno Y, Hirano S.	消化器外科Ⅱ	DJ–1 is a useful biomarker for invasive extrahepatic cholangiocarcinoma.	Hum Pathol. 2018 Jun;76:28–36. Epub 2018 Feb 13.	Original Article
486	Saito Y, Okamoto K, Kobayashi M, Narumi K, Yamada T, Iseki K.	薬剤部	Magnesium attenuates cisplatin–induced nephrotoxicity by regulating the expression of renal transporters.	Eur J Pharmacol. 2017 Sep 15;811:191–198.	Original Article
487	Imai S, Yamada T, Kasashi K, Kobayashi M, Iseki K.	薬剤部	Usefulness of a decision tree model for the analysis of adverse drug reactions: Evaluation of a risk prediction model of vancomycin–associated nephrotoxicity constructed using a data mining procedure.	J Eval Clin Pract. 2017 Dec;23(6):1240–1246.	Original Article
488	Saito Y, Okamoto K, Kobayashi M, Narumi K, Furugen A, Yamada T, Iseki K.	薬剤部	Magnesium co–administration decreases cisplatin–induced nephrotoxicity in the multiple cisplatin administration.	Life Sci. 2017 Nov 15;189:18–22.	Original Article
489	Kanehira T, Takehara J, Nakamura K, Hongo H, Miyake R and Takahashi D	予防歯科	The ICDAS (International Caries Detection & Assessment System): a new set of caries assessment criteria.	Hokkaido J.Dent.Sci., 38 (Special issue): 180–183, 2017.	Review
490	Ishida K, Nogawa T, Takayama Y, Saito M, Yokoyama A	義歯補綴科	Prognosis of double crown–retained removable dental prostheses compared with clasp–retained removable dental prostheses: A retrospective study.	J Prosthodont Res 61(3), 268–275,2017.	Original Article
491	Fu J, Saikaew P, Kawano S, Carvalho RM, Hannig M, Sano H, Selimovic D	歯冠修復科	Effect of air–blowing duration on the bond strength of current one–step adhesives to dentin.	Dent Mater 33(8):895–903,2017	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
492	Sakurai A, Hasegawa T, Kudo A, Zhao S, Nagai T, Abe M, Yoshida T, Hongo H, Yamamoto T, Yamamoto T, Oda K, Freitas de PHL, Li M, Sano H, Amizuka N	歯冠修復科	Chronological immunolocalization of sclerostin and FGF23 in the mouse metaphyseal trabecular and cortical bone.	Biomed Res 38(4):257-267,2017	Original Article
493	Nakatani H, Mine A, Matsumoto M, Kabetani T, Kawaguchi-Uemura A, Higashi M, Tajiri Y, Imai D, Hagino R, Minamino T, Miura J, Yatani H	歯冠修復科	Effectiveness of sodium hypochlorite and sulfinic acid sodium salt treatment on dentin-resin bonding: Long-term durability of one-step self-etching adhesive.	Dent Mater J 36(6):842-850,2017	Original Article
494	Kawaguchi-Uemura A, Mine A, Matsumoto M, Tajiri Y, Higashi M, Kabetani T, Hagino R, Imai D, Minamino T, Miura J, Yatani H	歯冠修復科	Adhesion procedure for CAD/CAM resin crown bonding: Reduction of bond strengths due to artificial saliva contamination.	J Prosthodont Res 62(2):177-183,2017	Original Article
495	Jumond P, Jehung, Tetsuya Kitamura, Aya Yanagawa-Matsuda, Takeshi Kuroshima, Alam Towfik, Motoaki Yasuda, Hidehiko Sano, Yoshimasa Kitagawa, Kazuvuki	歯冠修復科	Adenovirus infection induces HuR relocalization to facilitate virus replication.	BBRC 8,495(2):1795-1800,2017	Original Article
496	Fukuyama M, Kawamoto C, Saikaew P, Matsuda Y, Carvalho RM, Selimovic D, Sano H.	歯冠修復科	Effect of topical fluoride application on enamel after in-office bleaching, as evaluated using a novel hardness tester and a transverse microradiographv method.	Eur J Oral Sci 125(6):471-478,2017	Original Article
497	Aiichiro KATSUMATA,Tamaki KATSUMATA, Shuhei HOSHIKA, Tomohiro HOSHIKA, Tomiko NISHITANI, Takehiro YAJIMA, Tadasu SATO, Hiroyuki ICHIKAWA, Hidehiko SANO, and Yoshihiro NISHITANI	歯冠修復科	Dentin Bond Strength of the Universal Adhesives using the Colloidal Platinum Nanoparticles.	J Oral Tissue Engin 15(1):11-17,2017	Original Article
498	Aiichiro KATSUMATA, Pipop SAIKAEW, Shichun Ting, Tamaki KATSUMATA, Tomohiro HOSHIKA, Hidehiko SANO, and Yoshihiro NISHITANI	歯冠修復科	Microtensile Bond Strength Bonded to Dentin of a Newly Universal Adhesive.	J Oral Tissue Engin 15(1):18-24,2017	Original Article
499	Yoshihara K, Nagaoka N, Maruo Y, Sano H, Yoshida Y, Van Meerbeek B	歯冠修復科	Bacterial adhesion not inhibited by ion-releasing bioactive glass filler.	Dent Mater 33(6):723-734,2017	Original Article
500	Miyata S, Miyaji H, Kawasaki H, Yamamoto M, Nishida E, Shitomi K, Akasaka T, Tanaka S, Iizuka T, Sugaya T.	歯周・歯内療法科	Antibacterial and cytotoxic effects of photoexited Au clusters via blue high-power or whoite low-power light-emitting diode irradiation.	Biology, Engineering and Medicine, 2(4):1-4. 2017,	Original Article
501	Nomura Y, Morozumi T, Nakagawa T, Sugaya T, Kawanami M, Suzuki F, Takahashi K, Abe Y, Sato S, Makino-Oi A, Saito A, Takano S, Minabe M, Nakayama Y, Ogata Y, Kobavashi H, Izumi Y, Sugano N, Ito K,	歯周・歯内療法科	Site-level progression of periodontal disease during a follow-up period.	PLOS ONE, doi.org/10.1371/journal.pone.0188670,	Original Article
502	Tateyama A, Kato A, Miyaji H, Nishida E, Iwasaki Y, Fujii S, Kawamoto K, Shitomi K, Furihata T, Mayumi K, Sugaya T.	歯周・歯内療法科	Bone induction by α -tricalcium phosphate microparticle emulsion containing simvastatin.	Nano Biomed, 9(2),69-76, 2017.	Original Article
503	Nagao K, Miyaji H, Nishida E, Akasaka T, Miyata S, Shitomi K, Mayumi K, Kato A, Sugaya T.	歯周・歯内療法科	Near-infrared irradiation and graphene oxide film fabricated on dentin surface exhibit photothermal and antibacterial effects.	J Oral Hyg Health. 6(1): 1-6, 2017.	Original Article
504	Miyaji H, Murakami S, Nishida E, Akasaka T, Fugetsu B, Umeda J, Kondoh K, Iiduka T, Sugaya T.	歯周・歯内療法科	Evaluation of tissue behavior on three-dimensional collagen scaffold coated with carbon nanotubes and β -tricalcium phosphate nanoparticles.	J Oral Tissue Engin, 15(3):123-130, 2017.	Original Article
505	Sugaya T, Tanaka S, Miyaji H, Shimoji S, Kudo M, Takefu H, Washizu T	歯周・歯内療法科	Treatment of infected root canals with 4-META/MMA-TBB resin.	Hokkaido J Dent, 38(special issue):111-121, 2017.	Review
506	Nathanael AJ, Oyane A, Nakamura M, Sakamaki I, Nishida E, Kanemoto Y, Miyaji H	歯周・歯内療法科	In vitro and in vivo analysis of mineralized collagen-based sponges prepared by a plasma- and precursor-assisted biomimetic process.	ACS Appl Mater Interfaces, 9(27), 22185-22194, 2017.	Original Article
507	Yamamoto M, Shitomi K, Miyata S, Miyaji H, Aota H, Kawasaki H	歯周・歯内療法科	Bovine serum albumin-capped gold nanoclusters conjugating with methylene blue for efficient 1O2 generation via energy transfer.	J Colloid Interface Sci, 510, 221-227, 2018.	Original Article
508	Matsuda K, Nakamura S, Nonaka M, Mochizuki A, Nakamura K, Iijima T, Yokoyama A, Funahashi M, Inoue T.	義歯補綴科	Premotoneuronal inputs to early developing trigeminal motoneurons	Journal of Oral Biosciences 59; 96-103, 2017	Original Article
509	Ueda K, Takayama Y, Yokoyama A.	義歯補綴科	Minimization of dental implant diameter and length according to bone quality determined by finite element analysis and optimized calculation.	J Prosthodont Res 61;324-332, 2017	Original Article
510	Ishida K, Nogawa T, Takayama Y, Saito M, Yokoyama A.	義歯補綴科	Prognosis of double crown-retained removable dental prostheses compared with clasp-retainedremovable dental prostheses: A retrospective study	J Prosthodont Res 61; 268-275, 2017	Original Article
511	Kaga N, Akasaka T, Horiuchi R, Yoshida Y, Yokoyama A.	義歯補綴科	Cell adhesion and alignment of human osteoblasts and human gingival fibroblasts on micro/nano-grooved gelatin sheet.	Digest Journal of Nanomaterials and Biostructures 12; 431-440, 2017	Original Article
512	Fujii M, Yoneda A, Takei N, Sakai-Sawada K, Kosaka M, Minomi K, Yokoyama A, Tamura Y.	義歯補綴科	Endoplasmic reticulum oxidase 1 α is critical for collagen secretion from and membrane type 1-matrix metalloproteinase levels in hepatic stellate cells	J. Biol. Chem 292:15649-15660, 2017.	Original Article
513	Ishida K, Nogawa T, Takayama Y, Saito M, Yokoyama A.	義歯補綴科	Does Neuroticism Influence Oral Health-Related QOL in Patients with Removable Partial Dentures?	JDR Clinical Translational Research 2:370-375, 2017	Original Article
514	Akasaka T, Miyaji H, Imamura T, Kaga N, Yokoyama A, Yoshida Y.	義歯補綴科	Submicro-patterning of curable dental materials by molding methods: screening trial.	Dig J Nanomater Bios 12(2)281-292, 2017	Original Article
515	Yamaguchi T, Mikami S, Saito M, Okada K, Gotouda A	冠橋義歯補綴科	A newly developed ultraminiature wearable electromyogram system useful for analyses of masseteric activity during the whole day	J Prosthodont Res•2017•62•110-115	Original Article
516	Kamaguchi M, Iwata H*, Ujiie H, Natsuga K, Nishie W, Kitagawa Y, Shimizu H	口腔内科	High expression of collagen XVII compemsates its depletion induced by pemphigoid IgG in the oral mucosa	J invest dermatol, in press	Original Article
517	Kamaguchi M, Iwata H*, Ujiie I, Ujiie H, Sato J, Kitagawa Y, Shimizu H	口腔内科	The direct immunofluorescence using non-lesional buccal mucosa in mucous membrane pemphigoid	Front Med,8; 5:20, 2018	Original Article
518	Kamaguchi M, Iwata H*, Mori Y, Toyonaga E, Ujiie H, Kitagawa Y, Shimizu H	口腔内科	Anti-idiotypic antibodies against BP-IgG prevent type XVII collagen depletion	Front immunol,8:1669,2017	Original Article
519	Kamaguchi M, Iwata H*, Ujiie H, Izumi K, Natsuga K, Nishie W, Asaka T, Kitagawa Y, Shimizu H	口腔内科	Oral mucosa is a useful substrate for detecting autoantibodies of mucous membrane pemphigoid	Br J Dermatol, 178: e119-e121,2018	Original Article
520	Jehung JP, Kitamura T, Yanagawa-Matsuda A, Kuroshima T, Towfik A, Yasuda M, Sano H, Kitagawa Y, Minowa K, Shindoh M, Higashino F	口腔内科	Adenovirus infection induces HuR relocalization to facilitate virus replication	Adenovirus infection induces HuR relocalization to facilitate virus replication	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
521	Suzuki S, Arima T, Kitagawa Y, Svensson P, Castrillon E	口腔内科	Influence of glutamate-evoked pain and sustained elevated muscle activity on blood oxygenation in the human masseter muscle	Eur J Oral Sci. 2017 Dec;125(6):453–462. doi: 10.1111/eos.12383. 2017	Original Article
522	Sato J, Kitagawa Y, Watanabe S, Asaka T, Ohga N, Hirata K, Shiga T, Satoh A, Tamaki N	口腔内科	Hypoxic volume evaluated by ¹⁸ F-fluoromisonidazole positron emission tomography (FMISO–PET) may be a prognostic factor in patients with oral squamous cell carcinoma: preliminary analyses	Int J Oral Maxillofac Surg. 2018 May;47(5):553–560. doi: 10.1016/j.ijom.2017.09.007. Epub 2017	Original Article
523	Yu W, Zhao S, Zhao Y, Fatema CN, Murakami M, Nishijima KI, Kitagawa Y, Tamaki N, Kuge Y	口腔内科	Changes in tumor oxygen state after sorafenib therapy evaluated by ¹⁸ F-fluoromisonidazole hypoxia imaging of renal cell carcinoma xenografts	Oncol Lett. 2017 Aug;14(2):2341–2346. doi: 10.3892/ol.2017.6371. Epub 2017	Original Article
524	Sato J, Kitagawa Y, Watanabe S, Asaka T, Ohga N, Hirata K, Okamoto S, Shiga T, Shindoh M, Kuge Y, Tamaki N	口腔内科	F–Fluoromisonidazole positron emission tomography (FMISO–PET) may reflect hypoxia and cell proliferation activity in oral squamous cell carcinoma	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2017 Sep;124(3):261–270. doi: 10.1016/j.oooo.2017.05.506. Epub 2017	Original Article
525	Miyakoshi M, Sato J, Wada M, Yoshikawa K, Murata T, Taishi Y, Kitamori S, Kitagawa Y	口腔内科	Possible cases of dental treatment–associated death under local anesthesia in Japan	A review of the literature JOMSMP in press 2017	Original Article
526	Nakazawa S, Okada K, Matsushita T, Hegozaki S, Sakata K, Kitagawa Y, Yamazaki.Y	口腔内科	Effectiveness of Rikkosan gargling in patients with burning mouth syndrome	Traditional & Kampo Medicine, in press, 2017	Original Article
527	Torii C, Hida Y, Shindoh M, Akiyama K, Ohga N, Maishi N, Ohiro Y, Ono M, Totsuka Y, Kitagawa Y, Tei K, Sato Y, Hida K	口腔内科	Vasohibin–1 as a Novel Prognostic Factor for Head and Neck Squamous Cell Carcinoma	Anticancer Res. 2017 Mar;37(3):1219–1225	Original Article
528	Hojo T, Maishi N, Towfik AM, Akiyama K, Ohga N, Shindoh M, Hida Y, Minowa K, Fujisawa T, Hida K	口腔内科	ROS enhance angiogenic properties via regulation of NRF2 in tumor endothelial cells	Oncotarget May 2. doi: 10.18632/oncotarget.17567, 2017	Original Article
529	Hida K, Kawamoto T, Maishi N, Morimoto M, Akiyama K, Ohga N, Shindoh M, Shinohara N, Hida Y	口腔内科	miR–145 Promoted Anoikis Resistance in Tumor Endothelial Cells	J Biochem doi: 10.1093/jb/mvx033, 2017	Original Article
530	Murata T, Iwadata M, Takizawa Y, Miyakoshi M, Hayase S, Yang W, Cai Y, Yokoyama S, Nagashima K, Wakabayashi Y, Zhu J, Kimura S	口腔内科	An Adult Mouse Thyroid Side Population Cell Line that Exhibits Enriched Epithelial–Mesenchymal Transition	Thyroid 27(3): 460–474, 2017	Original Article
531	Yoshikawa.K Onodera.M Kitagawa.Y Satoh.A Sato.J Kitamura.T Shiga.T Watanabe.S,Tamaki.N	口腔内科	Clinical possibility of baseline FDG–PET SUVmax as a prognostic factor in patients with head and neck non–Hodgkin’s lymphoma	A preliminary study. JOMSMP in press 2018	Original Article
532	Ishikawa K, Yamamoto Y, Furukawa H, Ohiro Y, Satoh A, Hayashi T	口腔内科	Long–Term Changes in Bone Height After Mandibular Reconstruction Using a Free Fibula Graft in an Elderly Population	J Oral Maxillofac Surg 75(12): 2682–2688, 2017	Original Article
533	Morimoto.M Ohga.N. Kashima.Y Asaka.T Sato.J Kitagawa.Y	口腔内科	Simultaneous analysis of interleukin levels in saliva and blood by cytometric bead analysis.	Oral science in Japan 2017; 19–22, 2017	Others
534	Kamaguchi M, Sato J, Asaka T, Ohga N, Satoh C, and Kitagawa Y	口腔内科	A case of bullous pemphigoid with initial symptom on the oral mucosa	Oral science in Japan 2017; 49–50, 2017	Others
535	Ohga N, Sato J, Asaka T, Morimoto M, Yamazaki Y, Kitagawa Y	口腔内科	Successful conservative treatment of jaw osteonecrosis caused by denosumab in patients with multiple bone metastasis	J Oral Sci. 2018;60(1):159–162. 2018	Case report
536	Yoshikawa.K, Ohga.N, Satoh.C, Sato.J, Kitagawa.Y	口腔内科	Surgical extrusion of completely impacted mandibular second molars: A technical case report with 3 years clinical and radiographic follow–up	JOMSMP in press 2018	Case report
537	Shimizu R, Ohga N, Miyakoshi M, Asaka T, Sato J, Kitagawa Y:	口腔内科	Unusual maxillary osteoblastic and osteolytic lesions presenting as an initial manifestation of childhood acute myeloid leukemia: A case report	Quintessence Int.48(2):149–153. doi: 10.3290/j.qi.a37383. 2017	Case report
538	Kamaguchi M, Iwata H, Ujiie I, Ohga N, Kitagawa Y, Shimizu H	口腔内科	Mucosal substrates successfully identify the autoantigen in a case of mucous membrane pemphigoid	J Dtsch Dermatol Ges, in press 2018	Case report
539	Sakata K, Yamazaki Y, Kuroshima T, Ohga N, Satoh C, Sakakibara N, Kitagawa Y	口腔内科	A case of subcutaneous panniculitis–like T–cell lymphoma of the cheek	JOMSMP 29(5):427–477,2017	Case report
540	Yoshikawa K, Sato J, Yamashita E, Ohga N, Asaka T, Kitagawa Y	口腔内科	Rapid internal root resorption of the permanent incisor teeth after trauma: a case report	Hokkaido J. Dent. Sci 38 (2): 243–6, 2018	Case report
541	Sato J, Kitagawa Y, Asaka T, Ohga N, Yamashita E, Nakamura Y, Satoh C	口腔内科	Current international consensus on burning mouth syndrome; systematic review of recent review articles	Hokkaido J. Dent. Sci 38 (special issue): 104–107, 2017	Review
542	Hikone K, Hasegawa T, Tsuchiya E, Hongo H, Sasaki M, Yamamoto T, Kudo A, Oda K, Haraguchi M, de Freitas PHL, Li M, Iida J, Amizuka N	矯正歯科	Histochemical examination on periodontal tissues of Klotho–deficient mice fed with phosphate insufficient diet	Journal of Histochemistry and Cytochemistry, April 2017, 65(4): 207–221	Original Article
543	Shoman K, Sato Y, Nishikawa E, Kudo Y, Yamamoto T, Iida J	矯正歯科	Evaluation of the effectiveness of intermittent mechanical pressure with short loading duration: new type of intermittent force for orthodontic treatment	European Journal of Orthodontics, June 2017, 39(3): 264–269	Original Article
544	Yamagata S, Yamamoto T, Sato Y, Ushijima N, Abe S, Akasaka T, Yoshida Y, Iida J	矯正歯科	Y2O3:Eu3+ phosphors by homogeneous precipitation and subsequent calcination at varied temperatures for orthodontic adhesives	Nano Biomedicine, June 2017, 9(1): 15–22	Original Article
545	Saito F, Kajii TS, Oka A, Ikuno K, Iida J	矯正歯科	Genome–wide association study for mandibular prognathism using microsatellite and pooled DNA method	American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics, September 2017, 152(3), 382–388	Original Article
546	Bando Y, Nakanishi K, Abe S, Yamagata S, Yoshida Y, Iida J	矯正歯科	Electric charge dependence of controlled dye–release behavior in glass ionomer cement containing nano–porous silica particles	Journal of Nanoscience and Nanotechnology, January 2018, 18(1), 75–79	Original Article
547	Takenawa T, Kanai T, Kitamura T, Yoshimura Y, Sawa Y, Iida J	矯正歯科	Expression and Dynamics of podoplanin in cultured osteoblasts with mechanostress and mineralization stimulus	Acta Histochemica et Cytochemica, January 2018, 51(1), 41–52	Original Article
548	Yoshimura Y, Kikuri T, Hasegawa T, Matsuno M, Minamikawa H, Deyama Y, Suzuki K	小児・障害者歯科	How much medium do you use for cell culture? Medium volume influences mineralization and osteoclastogenesis in vitro.	Mol Med Rep 16(1):429–434, 2017	Original Article
549	Nakamura K, Nakanishi K, Bando Y, Hasebe A, Hyono A, Abe S, Shibata K, Yoshida Y, Iida J, Yawaka Y	小児・障害者歯科	Charge and Controlled Release of Epigallocatechin Gallate by Glass Ionomer Cement Containing Nanoporous Silica Particles.	Nano Biomed 9:29–34, 2017.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
550	Hasegawa T, Yamamoto T, Tsuchiya E, Hongo H, Tsuboi K, Kudo A, Abe M, Yoshida T, Nagai T, Khadiza N, Yokoyama A, Oda K, Ozawa H, Freitas de PHL, Li M, Amizuka N	小児・障害者歯科	Ultrastructural and biochemical aspects of matrix vesicle-mediated mineralization.	Hokkaido J Dent Sci 38(Special issue):34-39, 2017.	Review
551	Takahashi S, Uekita H, Kato T, Yuge F, Takebuchi R, Taniwaki H, Domon T	小児・障害者歯科	Histological aspect of the effects of soft food on major salivary glands.	Hokkaido J Dent Sci 38(Special issue):34-39, 2017.	Review
552	Amizuka N, Hasegawa T, Yamamoto T, Mae T, Qiu Z, Kudo A, Abe M, Zhao S, Nagai T, Yokoyama A, Khadiza N, Haraguchi M, Yamamoto T, de Freitas PHL, Li M.	小児・障害者歯科	Cellular function of osteocytes in normal and α klotho-deficient mice.	Hokkaido J Dent Sci 38(Special issue):56-62, 2017.	Review
553	Yawaka Y, Toyota Y, Hisada A, Maeda A, Inoue S, Yoshihara T	小児・障害者歯科	Root canal treatment of traumatized permanent teeth with external root resorption.	Hokkaido J Dent Sci 38(Special issue):122-129, 2017.	Review
554	H Kameda, K Kudo, T Matsuda, T Harada, Y Iwadate, I Uwano, F Yamashita, K Yoshioka, M Sasaki, H Shirato	歯科放射線科	Improvement of the repeatability of parallel transmission at 7T using interleaved acquisition in the calibration scan.	J Magn Reson Imaging 48(1) : 94-101, 2017.12	Original Article
555	Hojo T, Maishi N, Alam Mohammad Towfik, Akiyama K, Ohga N, Shindoh M, Hida Y, Minowa K, Fujisawa T, Hida K	歯科麻酔科	ROS enhance angiogenic properties via regulation of NRF2 in tumor endothelial cells	Oncotaget, 2017 July, 8 (28): 45484-45495	Original Article
556	Kobayashi K, Okada K, Ozaki K, Yamazaki Y, Notani K, Inoue N	高齢者歯科	Development of a technical aid for occlusal adjustment during dental treatment under general anesthesia.	Hokkaido J Dent Sci 38(special issue): 144-150, 2017	Original Article
557	Nakazawa S, Okada K, Matsushita T, Hegozaki S, Sakata KI, Kitagawa Y, Yamazaki Y	高齢者歯科	Effectiveness of rikkosan gargling for burning mouth syndrome.	Traditional & KAMPO MEDICINE 4(2): 121-123, 2017	Original Article
558	Asaka T, Ohga N, Yamazaki Y, Sato J, Satoh C, Kitagawa Y	口腔内科	Platelet-rich fibrin may reduce the risk of delayed recovery in tooth-extracted patients undergoing oral bisphosphonate therapy: a trial study.	Clin Oral Investig 21(7): 2165-2172, 2017.	Original Article
559	Sakata KI, Yamazaki Y, Kuroshima T, Ohga N, Sato C, Sakakibara N, Kitagawa Y	口腔内科	A case of subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma of the cheek.	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 29(5): 472-477, 2017.	Original Article
560	Miyata S, Miyaji H, Kawasaki H, Nishida E, Shitomi K, Akasaka T, Tanaka S, Iizuka T, Sugaya T	口腔総合治療部	Antibacterial and cytotoxic effects of photoexcited Au clusters via blue high-power or white low-power light-emitting diode irradiation.	Biol Eng Med 2(4): 1-4, 2017.	Original Article
561	Sugaya, T, Tanaka S, Miyaji H, Shimoji S, Kudo M, Takefu H, Washizu T	口腔総合治療部	Treatment of infected root canals with 4-META/MMA-TBB resin.	Hokkaido J Dent Sci 38(Special Issue): 111-121, 2017.	Review
562	Iida S	口腔総合治療部	Long term follow up of prosthetic treatment for cleftlip and palate patients in Hokkaido University Hospital.	Hokkaido J Dent Sci 38(Special Issue): 140-143, 2017.	Review
563	Yoshida Y, Inoue S, Tamai M, Abe S, Akasaka T, Yoshihara K, Van Meerbeek B	口腔総合治療部	Interfacial interactions of bioadhesive materials with human hard tissues.	Hokkaido J Dent Sci 38(Special Issue): 86-98, 2017.	Review
564	Ooi K, Inoue N, Matsushita K, Yamaguchi H, Mikoya T, Minowa K, Kawashiri S, Nishikata S, Tei K	口腔外科	Incidence of anterior disc displacement without reduction of the temporomandibular joint in patients with dentofacial deformity	Int J Oral Maxillofac Surg 47: 505-510, 2018	Original Article
565	Takahashi S, Uekita H, Kato T, Yuge F, Takebuchi R, Taniwaki H, Domon T	高次口腔医療センター	Histological aspect of the effects of soft food on major salivary glands	Hokkaido J Dent Sci 38 (Special issue): 34-39, 2017	Review
566	Iida J, Kaneko T, Nakanishi (Ohtsuka) M, Yoshizawa S, Yamamoto T, Sato Y	高次口腔医療センター	Lip incompetence and myofunctional therapy	Hokkaido J Dent Sci 38 (Special issue): 130-135, 2017	Review
567	Kaneko T, Mikoya T	高次口腔医療センター	Application of poly CDME (PCDME) gel to the palatal plate	Hokkaido J Dent Sci 38 (Special issue): 136-139, 2017	Review
568	Arima T	高次口腔医療センター	Bruxism - Association to jaw-muscle pain	Hokkaido J Dent Sci 38 (Special issue): 164-171, 2017	Review
569	Yamada T, Matsuzawa Y, Sogabe I, Donen M, Tei K, Mikoya T	口腔外科	A rare case of glial choristoma of the tougue associated with cleft palate	Oral sci int 15:22-26, 2018	Case report
570	Ishiguro N, Koseki N, Kaiho M, Ariga T, Kikuta H, Togashi T, Oba K, Morita K, Nagano N, Nakanishi M, Hara K, Hazama K, Watanabe T, Yamanaka T, Sasaki S, Furuyama H, Shibata M, Shida S, Ishizaka A, Tabata Y,	感染制御部	Therapeutic efficacy of azithromycin, clarithromycin, minocycline and tosufloxacin against macrolide-resistant and macrolide-sensitive Mycoplasma pneumoniae pneumonia in pediatric patients.	PLoS One. 2017 Mar 13;12(3):e0173635. doi: 10.1371/journal.pone.0173635. eCollection 2017.	Original Article
571	Ishiguro N, Koseki N, Kaiho M, Ariga T, Kikuta H, Oba K, Togashi T, Morita K, Inagawa A, Okamura A, Yamazaki S, Shida S, Konno M, Kawamura N, Ishizaka A, Takada K, Tsubakihara K, Nagano N, Shibata M,	感染制御部	Clinical effectiveness of four neuraminidase inhibitors (oseltamivir, zanamivir, laninamivir, and peramivir) for children with influenza A and B in the 2014-2015 to 2016-2017 influenza seasons in Japan.	J Infect Chemother. 2018 Jun;24(6):449-457. doi: 10.1016/j.jiac.2018.01.013. Epub 2018 Feb 24.	Original Article
572	Kakuguchi W, Ohiro Y, Matsushita K, Tei K	口腔外科	Developing and using a transparent resin based 3D model for visualization of intraosseous tumour.	Br J Oral Maxillofac Surg・2017・55(4)・431-432	Letter
573	Ishikawa K, Yamamoto Y, Furukawa H, Ohiro Y, Satoh A and Hayashi T	口腔外科	Long-term changes in bone height after mandibular reconstruction using free fibula graft in an elderly population.	J Oral and Maxillofacial Surgery ・ 2017年5月・75(12)・2682-2688	Original Article
574	Yahara M, Tei K, Tamura M	口腔外科	Inhibition of neuropeptide Y Y1 receptor induces osteoblast differentiation in MC3T3-E1 cells.	MOL MED REP・2017年6月・16・2779-2784	Original Article
575	Matsushita K	口腔外科	Length-Marked Osteotome for Secure Le Fort I Osteotomy.	J. Maxillofac. Oral. Surg. ・2018年2月・ https://doi.org/10.1007/s12663-018-1090-7	Original Article

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

計575件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	④・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	④・無
<p>・ 手順書の主な内容</p> <p>北海道大学病院で実施される臨床研究が「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に適合して運用されるために「北海道大学病院における臨床研究の取扱いに関する指針」を整備し、臨床研究の分類と担当する委員会、審査に関する手順を定めている。手順書では総則、総長の責務等、病院長の責務等、自主臨床研究審査委員会の責務等、自主臨床研究責任者の責務等、自主臨床研究事務局、個人情報等、研究に係る試料及び情報等の保管の8章72条の手順を規定している。</p> <p>研究責任者は、該当する審査委員会に審査を受けるための申請を行うこととし、研究者がいずれの審査を受けるべきか判断に苦慮する場合は、本院自主臨床研究委員会事務局へ問い合わせることとなっている。</p>	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
- 2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	④・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	④・無
<p>・ 規定の主な内容</p> <p>「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反マネジメント内規」及び「北海道大学病院における臨床研究に係る利益相反ポリシー」を整備し、本院において実施する臨床研究に係る利益相反の適切な管理、審査及び指導等について必要な事項を定めている。</p>	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年1回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容</p> <p>【タイトル】人を対象とする医学系研究の倫理指針改正について 【目的】特定臨床研究を実施する際に必要となる知識に関する教育 【対象者】特定臨床研究を実施する者および支援する者 【研修内容】 ・ 臨床研究を取り巻く世の中と本院の動向 ・ 個人情報改訂に伴う指針改正・本院における指針改正に伴う対応 【実施日】2017 年 4 月 12 日、2017 年 4 月 20 日</p> <p>【タイトル】人を対象とする医学系研究の倫理指針改正について 【目的】特定臨床研究を審査する際に必要となる知識に関する教育 【対象者】特定臨床研究を審査する委員会の委員およびその事務に従事する者 【研修内容】 ・ 臨床研究指針と臨床研究法案 ・ 臨床研究倫理指針改正のポイント ・ 委員会審査上での視点 ・ 改正指針への対応 【実施日】2017 年 5 月 18 日</p> <p>【タイトル】人を対象とする医学系研究の倫理指針改正について 【目的】特定臨床研究を審査する際に必要となる知識に関する教育 【対象者】特定臨床研究を審査する委員会の委員およびその事務に従事する者 【研修内容】 ・ 「人を対象とする医学系研究の倫理指針」における用語の定義 【実施日】2017 年 6 月 15 日</p> <p>【タイトル】人を対象とする医学系研究の倫理指針改正について 【目的】特定臨床研究を審査する際に必要となる知識に関する教育 【対象者】特定臨床研究を審査する委員会の委員およびその事務に従事する者 【研修内容】 ・ 「人を対象とする医学系研究の倫理指針」におけるインフォームド・コンセント等の手続き 【実施日】2017 年 8 月 3 日</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院は北海道の「最後の砦病院」として高度先進医療を実践するとともに、医育大学として初期臨床研修医のほか、各領域の後期研修医（専攻医）や専門医・指導医資格取得者、さらに国外の医師免許取得者（臨床修練医）に対する高度医療技術の維持・習得を目指し、様々な研修を行っています。教育資源としては、大学病院に特有の稀少症例や難治症例に加えて、北海道内の関連病院と連携して多様な臨床経験ができる様、各領域で研修体制を整備しています。このような体制のもと、全人的な診療能力を有する専門医を育成するとともに、リサーチマインドを涵養するため、大学院での研究活動を推奨し、新たな診断治療法の開発をすすめています。

平成30年度から新専門医制度が導入され、当院では総合診療科を除く18の基本領域において基幹施設として研修専門委員会を設置し、専門医制度整備指針に則って専門研修プログラムを取りまとめました。初期臨床研修修了後は、各科専門研修プログラムに沿って、当院および研修連携施設において臨床研修を行なって所定の修了要件を満たしますと、各基本領域の専門医資格試験を受験することが可能になります。尚、専門研修プログラムは、女性医師など専攻医の多彩な背景やニーズを考慮して多様な研修が行える様、配慮されています。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	657人
-------------	------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
秋田 弘俊	腫瘍内科	教授	37年	内科
長 和俊	産科	准教授	32年	小児科
清水 宏	皮膚科	教授	39年	皮膚科
久住 一郎	精神科神経科	教授	34年	精神科
松居 喜郎	循環器・呼吸器外科	教授	38年	外科
岩崎 倫政	整形外科	教授	30年	整形外科
渡利 英道	産婦人科	教授	28年	産婦人科
石田 晋	眼科	教授	27年	眼科
本間 明宏	耳鼻咽喉科	教授	29年	耳鼻咽喉科
篠原 信雄	泌尿器科	教授	34年	泌尿器科
寶金 清博	脳神経外科	教授	39年	脳神経外科
白土 博樹	放射線治療科	教授	37年	放射線科
森本 裕二	麻酔科	教授	32年	麻酔科
松野 吉宏	病理診断科	教授	33年	病理
豊嶋 崇徳	血液内科	教授	33年	臨床検査（H31年度は受入休止）
早川 峰司	救急科	講師	21年	救急
山本 有平	形成外科	教授	34年	形成外科
生駒 一憲	リハビリテーション科	教授	35年	リハビリテーション

（注）1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
別紙のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
別紙のとおり
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
無し

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名 等	目 的 等		
1	インスリン安全管理講習会「平成29年度のインシデントを振り返って」 糖尿病ケアサポートチーム	糖尿病診療に携わる看護師等を対象に年1回、研修を行いインスリンに係る基本的な知識を習得させることを目的とする。	年1回	100名
2	急変シミュレーション(循環器内科)	病棟入院患者の急変時対応について、スタッフ全員で確認し、シミュレーションする	年2回	20名
3	心臓リハビリテーション急変時シミュレーション	心臓リハビリテーション中に患者が万一急変した場合に備えて、関係者でシミュレーションを行い、適切かつ迅速に対応できるようにするため	年1回	30名
4	胎児心拍数モニタリング(産科)	産科診療に携わる新人助産師・看護師等を対象に年1回、研修を行い胎児心拍数モニタリングの判読に係る基本的な知識を習得させることを目的とする。	年1回	10名
5	双胎妊娠の管理(産科)	産科診療に携わる新人助産師・看護師等を対象に年1回、研修を行い双胎妊娠の管理の判読に係る基本的な知識を習得させることを目的とする。	年1回	10名
6	新生児蘇生法講習(インストラクター・フォローアップ・コース)(周産母子センター)	新生児蘇生法講習の指導者の知識・技術の向上と定着	年1回	32名
7	新生児蘇生法講習(インストラクター養成・コース)(周産母子センター)	新生児蘇生法講習の指導者の養成	年1回	10名
8	新生児蘇生法講習(一般コース)(周産母子センター)	新生児蘇生法講習の標準的な知識と技術の習得	年2回	89名
9	機能画像診断セミナー(核医学教室)	画像診断に関する知識の習得。大学院講義の単位取得も認める	年6回	20名
10	核医学特別セミナー(核医学教室)	国際的に著名な核医学の専門家の講義を受け、指導を受けることにより、専門的、最先端の知識を得られる。	年2回	10名
11	北海道PET研究会 (北大核医学教室)	PETに関する正しい理解と高度な知識の習得、検査技術の向上等	年1回	100名
12	平成29年度 病理部オリエンテーション (病理部/病理診断科)	病理・細胞診断業務に携わる医師・臨床検査技師・事務職員等を対象に毎年1回、研修を行い、最新の関連マニュアルの確認および基本的な知識を習得させることを目的とする。	年1回	30名
13	CAP-PIP2017検討会 (病理診断科)	病理診断に関わる標準的診断基準や稀少例についての新しい知識を学ぶ。	年2回	11名
14	病理医養成研修会 (病理診断科)	多くの経験をもつ各領域の病理専門家から、病理・細胞診断に関わる標準的診断基準や稀少例についての新しい知識や、判断の実際について学ぶ。	年3回	25名
15	医療情報	医療情報システムについて理解することを目的とする	年1回	97名
16	看護部初任職員研修	看護部理念・看護者の責務・組織運営・人材育成・看護業務について理解することを目的とする	年1回	85名
17	看護部初任職員研修(メンタルヘルス研修・中央部門研修)	自部署と関連する中央部門の役割および場を理解する。メンタルヘルスサポートを実践できるための知識を得ることを目的とする	年1回	85名
18	新規採用者合同研修1	接遇とコミュニケーション、チーム医療とプロフェッショナルリズムについて講義、演習を通して学ぶ	年1回	97名
19	新規採用者合同研修2 1年目フィジカルアセスメント研修	組織の一員として職種間連携の必要性を理解し、医療職者として責任ある行動について学ぶ。専門職業人として、根拠に基づいた予測性のある観察ができることを目的とする	年1回	97名
20	病院初任職員研修	本院職員としての心構えと必要な知識を身につけ、医療職員としての責任ある行動がとれることを目的とする	年1回	97名
21	新卒者看護技術研修	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を習得することを目的とする	年6回	510名
22	臨地実習担当者研修	看護学生の臨地実習について理解を深め、効果的な指導ができることを目的とする	年1回	31名

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名 等	目 的 等		
23	看護必要度研修 新卒者看護技術研修	看護技術を安全・安楽に提供できるように、必要な基本的態度、知識、技術を習得することを目的とする	年1回	85名
24	看護助手研修(1回目)	チーム医療における看護助手の役割を理解し、実践できることを目的とする	年3回	122名
25	2年目研修	看護実践者として看護過程を展開する能力を高め、看護実践の結果を記録できる	年1回	103名
26	プリセプター研修(継続)	プリセプターシップの概念を理解し、プリセプティイーを効果的に支援できることを目的とする	年1回	55名
27	看護倫理研修	チーム医療の中で、患者の権利の擁護者としての看護師の役割を理解し、倫理的視点に基づいて看護実践を行う能力を高めることを目的とする	年1回	43名
28	2年目多重課題研修	患者の心身の状況と業務の関連をアセスメントし優先順位を判断できることを目的とする	年1回	103名
29	3年目研修	3年目の果たす役割を明確にし、看護に対する自己啓発ができる	年1回	71名
30	看護とキャリア研修	チーム医療の中で看護職としてのキャリアを活かした役割が発揮できることを目的とする	年1回	25名
31	家族看護研修	家族看護を理解し看護実践能力を向上できることとを目的とする	年1回	33名
32	1年目多重課題研修	多重課題を抱える中で、優先順位が判断でき他者の協力を得ながら行うべき看護業務を遂行できる	年1回	85名
33	認知症看護実践力向上研修	認知症看護実践力を高めることを目的とする	年1回	78名
34	1年目研修	看護専門職者として、自覚と責任ある行動がとれるための自己の課題が見いだせる	年1回	85名
35	静脈注射エキスパート認定研修	安全に静脈注射が実践できるよう知識、技術を獲得しスタッフに指導ができることを目的とする	年1回	42名
36	2年目研修(継続)	看護実践者として看護過程を展開する能力を高め、看護実践の結果を記録できることを目的とする	年1回	102名
37	新規採用者合同研修3	対象者と医療者双方が、医療の内容を理解・共有したうえで実践するために臨床の倫理について考える	年1回	102名
38	看護研究研修	臨床における看護研究の基礎とプログラムを学ぶことを目的とする	年1回	75名
39	3年目研修研修(継続)	3年目の果たす役割を明確にし、看護に対する自己啓発ができることを目的とする	年1回	66名
40	職場復帰直前研修	育児休業者が最近の医療・看護の動向を理解し、実践を学ぶことで円滑に職場復帰ができるように支援する	年1回	25名
41	プリセプター研修	プリセプターシップの概念を理解し、プリセプティイーを効果的に支援できることを目的とする	年1回	55名
42	在宅療養支援エキスパートナース養成研修	在宅療養支援のための知識とスキルを学ぶことを目的とする	年1回	18名
43	指導看護師養成プログラム(臨地実習指導者コース)	部署内教育リーダーとして指導者育成を目的とする	年6回	11名
44	専門看護師会研修会	専門領域における知識習得と看護実践に活かすことを目的とする	年36回	833名
45	がん看護エキスパートナース養成研修	がんの治療た病期に応じた的確なアセスメント力を身につけ専門的ながん看護の実践方法を取得することを目的とする	年7回	7名

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名 等	目 的 等		
46	医療技術部研修会	1、兼業の手続きを正しく理解すること。 2、医療の国際化を意識した医療人を育成することを目的とする。	年1回	123名
47	医療技術部研修会「各部署見学(放射線部門)」	診療放射線技師業務を他職種が理解することで、より確実な職種間業務連携を構築することを目的とする。	年1回	118名
48	医療技術部研修会「各部署見学(リハビリテーション部門)」	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の業務を他職種が理解することで、より確実な職種間業務連携を構築することを目的とする。	年1回	137名
49	モニタ説明会	医療機器の対応について理解を深める。	年4回	35名
50	人工心肺装置・補助循環装置	医療機器の対応について理解を深める。	年7回	100名
51	医療機器の研修	医療機器の対応について理解を深める。	年17回	159名
52	血液浄化装置	医療機器の対応について理解を深める。	年5回	65名
53	除細動装置(AED除く)	医療機器の対応について理解を深める。	年5回	76名
54	その他医療機器	医療機器の対応について理解を深める。	年1回	11名
55	人工呼吸器	医療機器の対応について理解を深める。	年7回	79名
56	閉鎖式保育器	医療機器の対応について理解を深める。	年4回	43名
57	車椅子移乗訓練	医療機器の対応について理解を深める。	年1回	10名
58	2017年度心臓リハビリテーション 緊急時リスクシミュレーション	心臓リハビリテーション診療に携わる医師・看護師・療法士等を対象に毎年1回、研修を行い、患者急変時の対応に係る基本的な知識・技術を習得・向上させることを目的とする。	年1回	40名
59	2017年度 リハビリテーション部門合同緊急時リスクシミュレーション	リハビリテーション診療全般に携わる医師・看護師・療法士等を対象に毎年1回、研修を行い、患者急変時の対応に係る基本的な知識・技術を習得・向上させることを目的とする。	年1回	40名
60	薬害HIV感染者を理解するために(HIV診療センター、リハビリ部共催)	2017年度からスタートする薬害HIV患者対象のリハビリ健診会のため疾患に関する知識、リハ技術の習得・向上を目的とする	年1回	30名
61	第21回HIV学習会	HIV感染症に関する基礎知識、感染対策、感染者へのケア等について情報を得ることで今後の診療やケア、患者対応に活かす。	年1回	85名
62	HIV/AIDS院内出前研修(開催場所:内科Ⅱ)	HIV感染症に関する基礎知識、感染対策、感染者へのケア等について情報を得ることで今後の診療やケア、患者対応に活かす。	年1回	27名
63	HIV/AIDS院内出前研修(開催場所:11-2病棟)	HIV感染症に関する基礎知識、感染対策、感染者へのケア等について情報を得ることで今後の診療やケア、患者対応に活かす。	年1回	14名
64	第22回HIV学習会	HIV感染症に関する基礎知識、感染対策、感染者へのケア等について情報を得ることで今後の診療やケア、患者対応に活かす。	年1回	59名
65	HIV/AIDS院内出前研修(開催場所:リハビリテーション科)	HIV感染症に関する基礎知識、感染対策、感染者へのケア等について情報を得ることで今後の診療やケア、患者対応に活かす。	年1回	22名
66	医事課職員オリエンテーション	新人医事課事務補助員(クランク)に対して、必要な基礎知識を付与。	年1回	20名
67	看護助手オリエンテーション	新人看護助手に対して、必要な基礎知識(実習含む)を付与。	年1回	13名

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名 等	目 的 等		
68	平成29年度病院初任職員感染オリエンテーション	病院初任病院職員に対して、必要な基礎知識を付与。	年1回	118名
69	新規感染対策マネージャー講習会	北海道大学病院院内感染対策指針と感染対策マネージャーの役割について付与する。	年2回	19名
70	院内感染対策合同講演会	1. インシデントを振り返り、医療安全に関する理解を深める 2. 感染制御のための対策を理解する	年4回	1616名
71	専門領域別研修会	職員に対して、必要な基礎知識を付与。	年2回	62名
72	HIV学習会	職員に対して、HIV感染症関する必要な知識の付与および理解を深める。	年2回	144名
73	看護助手研修	チーム医療における看護助手の役割を理解し、実践できる感染について基礎知識を学び、感染予防策を実践する救命救急処置の基本を理解。	年4回	132名
74	栄養管理部食中毒予防講習会	北大病院栄養管理部管理栄養士および業務委託業者(調理)に対して、必要な知識の付与。	年1回	10名
75	院内感染対策講演会	職員に対して、必要な基礎知識を付与。	年2回	377名
76	検査・輸血部学習会	職員に対して、必要な基礎知識を付与。	年1回	40名
77	リハビリテーション部学習会	職員に対して、必要な基礎知識を付与。	年1回	23名
78	静脈注射エキスパートース認定研修	安全に静脈注射の実践ができるよう知識・技術を獲得し、スタッフに指導ができる	年1回	42名
79	清掃教育研修会	感染制御部および安全衛生管理部から業務委託業者(清掃)職員に対して、必要な知識を付与。	年2回	69名
80	院内学級(ひまわり分校)感染対策講習会	院内学級生徒および教諭等に対して、必要な基礎知識(実習含む)を付与。	年3回	35名
81	院内学級(ひまわり分校)教員講義	院内学級教諭に対して、必要な基礎知識を付与。	年1回	5名
82	医療安全に関する講演会 (医療安全管理部)	医療安全の対応について理解を深める	年9回	1244名
83	新任リスクマネージャー集合講習会(医療安全管理部)	1. 新任リスクマネージャーとして役割発揮に必要な知識の修得 2. 北海道大学病院の医療安全管理体制の理解	年2回	28名
84	専門領域に関する講習会 (医療安全管理部)	人工呼吸器が稼働している部署の管理水準を向上すると共に、現場の人工呼吸器管理に関する指導の人材を育成する。	年6回	158名
85	専門領域に関する講習会 (医療安全管理部)	医療機器の操作に関する知識や技術を習熟し、部署内で効果的な指導ができる	年2回	39名
86	専門領域に関する講習会 (医療安全管理部)	医薬品に関する知識を習熟し、効果的な指導が展開できる	年2回	51名
87	専門領域に関する講習会 (医療安全管理部)	人工呼吸器使用している部署に1～2名の人工呼吸器を指導できる人材を育成し、現場の指導機能を果たし、人工呼吸器パトロールが有効に機能する体制を確立する	年5回	26名
88	専門領域に関する講習会 (医療安全管理部)	人工呼吸器認定者の質を保証を図る	年1回	6名
89	専門領域に関する講習会 (医療安全管理部)	一時救命処置ができる	年2回	28名
90	看護部復職前研修	育児休業者の円滑な職場復帰のために、実践に必要な知識を得て自己のキャリア開発を推進する。	年1回	40名

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名 等	目 的 等		
91	医事課クランクオリエンテーション	必要な知識・技術を学び、実践に結び付ける。	年1回	19名
92	医事課クランク接遇研修	必要な知識・技術を学び、実践に結び付ける。	年1回	18名
93	看護助手接遇研修	医療チームにおける看護助手の役割を理解し、接遇が実践できる。	年1回	14名
94	初任職員オリエンテーション	新たに本院に採用される医療職員及び事務職員に対して、本院職員として必要な基礎知識を習得させる。	年1回	112名
95	病院清掃について	病院における清掃の意義を理解し、適切な方法を学ぶ。	年2回	69名
96	栄養管理部	大量調理施設における基本的な衛生管理について学ぶ。	年1回	100名
97	HKO会(警察OB)勉強会	病院内における暴力の対応について理解を深める。	年1回	60名
98	メンタルヘルスについて	事務職員におけるメンタルヘルスセルフケアについて正しい知識を習得させる。	年1回	12名
99	医療支援課 警察OBへの講義	病院保安業務に携わる新任職員を対象に、病院組織に係る基本的知識を習得させる。	年4回	8名
100	接遇(トラブル・モンスターペイシェント対策)	患者からの暴言暴力に対応できるようになる。	年1回	254名
101	接遇研修(基本コース)	北海道大学病院職員として接遇に関する知識・技術レベルの向上を実現する。	年1回	91名
102	接遇研修(アドバンスコース)	研修を継続的に受講し、各診療科・部署に求められる「接遇・コミュニケーション技術」について指導ができる。	年1回	24名
103	護身術実技訓練	必要な知識・技術を学び、実践に結び付けられる。	年1回	24名
104	医学部医学科社会医学実習(医療廃棄物グループ)	環境汚染対策、防疫の実践を学ぶ。	年1回	6名
105	腰痛予防対策	必要な知識・技術を学び、実践に結び付けられる。	年1回	24名
106	パワハラ・セクハラの正しい知識	パワハラとセクハラに関する正しい知識を得る。	年1回	33名
107	平成29年度第二診療室救急シミュレーション (小児・障害者歯科)	患者急変時の対応訓練のため	年1回	20名
108	放射線障害防止のための教育訓練(春季・臨時)(歯科放射線科 / 放射線部)	放射線同位元素等の安全な取り扱い・防護の実践を学ぶ	年1回	150名
109	放射線障害防止のための教育訓練(秋季・臨時)(歯科放射線科 / 放射線部)	放射線同位元素等の安全な取り扱い・防護の実践を学ぶ	年1回	150名
110	平成29年度救急シミュレーション(歯科診療センター歯科麻酔科)	歯科麻酔科診療に携わる歯科医師、看護師の緊急時対応スキル向上を目的とする。	年1回	19名

2 業務の管理に関する研修の実施状況

NO	主 な 内 容		日 程	参加人数
	研 修 名	目 的 等		
1	ISO15189内部監査員養成セミナー (病理部/病理診断科、検査・輸血部)	平成30年度内の認証取得に向けた職員研修として、内部監査の概要の聴講と監査実習を行う。	年1回	30名
2	リーダー研修Ⅰ	看護チームにおけるリーダーの役割を理解しリーダーシップを発揮できることを目的とする	年1回	45名
3	リーダー研修Ⅱ	問題解決能力を高め、チーム医療の中でリーダーシップを発揮できることを目的とする	年1回	27名
4	リーダー研修Ⅱ(継続)	問題解決能力を高め、チーム医療の中でリーダーシップを発揮できることを目的とする	年1回	25名
5	新任副看護師長オリエンテーション	副看護師長の役割が理解できることを目的とする	年1回	85名
6	看護師長研修	経営改善のために看護管理者としての役割を学ぶことを目的とする	年1回	39名
7	看護師長研修のまとめ	経営改善のために看護管理者としての役割を学ぶことを目的とする	年1回	39名
8	新任看護師長オリエンテーション	看護師長の役割を理解することを目的とする	年1回	3名
9	新任看護師長研修	看護師長に求められるスキルを高め看護管理者としての役割を発揮できることを目的とする	年2回	6名
10	副看護師長研修	副看護師長に求められるスキルを高め看護管理者としての役割を発揮できることを目的とする	年1回	76名

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 寶金 清博
管理担当者氏名	総務課長 医事課長 医療支援課長 薬剤部長

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	診療録管理室
		看護記録	診療録管理室
		検査所見記録	診療録管理室
		エックス線写真	診療録管理室
		紹介状	診療録管理室
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録管理室
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	医事課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	総務課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課及び薬剤部
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療支援課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療支援課
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療支援課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療支援課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療支援課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療支援課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療支援課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療支援課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療支援課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療支援課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療支援課	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療支援課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療支援課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療支援課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療支援課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医療支援課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療支援課
		監査委員会の設置状況	医療支援課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療支援課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療支援課
職員研修の実施状況	医療支援課		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別		①. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名		総務課長 阿部 康成, 経営企画課長 西村 敏信	
閲覧担当者氏名		総務係長 伊東 武志, 経営企画係長 鈴木 雅樹	
閲覧の求めに応じる場所		総務課事務室, 経営企画課事務室	
閲覧の手続の概要			
利用者は必要に応じ, 文書により閲覧責任者に閲覧を申し出, 閲覧担当者は閲覧に応じる。			

(注)既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 本院の医療安全管理に関する基本的な考え方 2 医療に係る安全管理のための委員会等に関する組織の基本的事項 3 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本的事項 4 医療機関における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6 医療従事者と患者間の情報の共有に関する基本方針 7 患者等からの相談に関する基本方針 8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> 設置の有無（有） 開催状況：年13回 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理上の問題が発生した場合の対応並びに原因究明のための調査及び分析に関すること 2 医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施に関すること 3 医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関すること 4 医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握及び必要に応じた方策の見直しに関すること 5 医療安全に関わる職員の教育・研修に関すること 6 医療事故報告等に関する改善のための方策に関すること 7 その他医療事故等に関すること 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年13回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の内容 <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全に関する講演会「2016年度のインシデントを振り返って」×3回 2 医療安全に関する講演会「採血・穿刺時の神経損傷予防」 3 医療安全に関する講演会『「群馬大学病院医療事故調査で“私”が学んだこと」-大学病院に期待すること-』 4 医療安全に関する講演会「病院内の自殺事故予防と事後対応，スタッフ・ケア」 5 医療安全に関する講演会「インシデントレポートについて」 6 医療安全に関する講演会「肝炎ウイルスのリスク-HBV再活性化と肝炎陽性者アラートシステムについて-」 7 医療安全に関する講演会『法医学からのフィードバック～医療現場における「しまった！」を減らすために～』 8 医療安全の日講演会「説明と記録について～医賠償保険担当者の目から～」 9 医療安全に関する講演会「医療事故調査制度～施行後2年を経過して」 10 医療安全に関する講演会「医薬品等副作用救済制度について」 11 医療安全に関する講演会「平成29年度 歯科インシデントより」 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 医療機関内における事故報告等の整備（有） 	

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 報告書に伴う問題点の把握方法（各部署、安全管理部門の問題点の認識）

インシデント報告に関する分析からフィードバックまでの対応（職員への周知と再発防止）

- 1) 専任リスクマネジャー（GRM）が当該リスクマネジャー（RM）へ事実確認を行い、報告内容の監査・分析を行い、問題事例や有害事象の場合は、当該RMとの検討、患者の影響度、患者への対応状況などを協議し対応している。
- 2) レベル3 bの有害事象の場合は、当該部署のRMに当該部署として検討を行った結果と再発防止策について、事例報告書として詳細報告を要請し、事例報告書に基づき原因・起因を分析し、病院長に報告している。
- 3) レベル4、5の有害事象は、GRMが聞き取り・現場検証などの事実調査を行い、当該RM・関係者との事象の検討、患者の影響度、患者への対応などを協議している。GRMが作成した検証資料に基づき、病院長・医療安全管理部長・当該部署の責任者とRMにより原因検討を行い、重篤な事案の場合は医療事故対策特別部会で原因検討の上、病院の見解を明確にしている。

2. 問題点の分析方法（各部署、安全管理部門の問題点の分析方法）

- 1) 必要な事例については、専門分野の医員を指名し、WG、院内医療事故検討会を設置し、原因分析・再発防止策を作成する。
- 2) 医療事故等調査・分析専門委員会において、3 a以上の報告については、月ごとにレベル・過誤の判定と合併症の妥当性の検討を行っている。
- 3) レベル3 b以上の報告は、毎週月曜日に報告内容を分析し、原因と患者への影響度を検討し、医療事故報告制度への報告対象事例の判定を行っている。

3. 改善策の検討方法

- 1) 報告の全体的分析は、毎月と年間において実施し、発生レベル・報告状況・場面別に集計し、発生場面別や職種別の発生状況について定量的分析を行い「医療安全に関する報告集計」を作成し、各委員会に周知を図っている。また、病院運営会議においても報告し、周知を図っている。
- 2) 各診療科・部署の安全管理を図るために、前年度の当該診療科・部署での報告について年間集計し、当該診療科・部署での優先的課題を分析し、年度前半で、診療科・部署RM等で対策を検討し、年度末に再度、今年度の当該診療科・部署での報告について集計し、優先的課題の評価を実施し、次年度に向けて継続事項を検討している。
- 3) 医薬品・医療機器に関する事象については、関係専門委員会で再発防止策を検討し、システム改善・教育体制などの企画を検討している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <p>北海道大学院内感染指針は以下の項目から成っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 院内感染対策に関する基本的な考え方 2 院内感染対策に関する管理組織機構 <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内感染対策委員会 (2) 院内感染対策特別部会 (3) 感染制御部 (4) 感染防止対策チーム (5) 感染対策マネージャー連絡会議 3 職員研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 アウトブレイクあるいは異常発生時の対応に関する基本方針 6 患者等への情報提供と説明に関する基本方針 7 その他院内感染対策の推進のために基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染防止対策の検討及び推進 ・ 院内感染防止の対応及び原因究明 ・ 院内感染等の情報収集及び分析 ・ 院内感染防止等に関する職員の教育・研修 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年31回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医科研修医オリエンテーション：「感染対策研修」×2回 ・ 歯科研修医オリエンテーション：「院内感染予防対策(総論・各論)」 ・ 医事課事務補助員(クランク)：「院内感染予防対策」 ・ 看護助手オリエンテーション：「感染管理と手洗い(演習)」 ・ 平成29年度病院初任職員感染オリエンテーション：「院内感染予防」 ・ 新規感染対策マネージャー講習会：「感染対策マネージャーの役割」×2回 ・ 第70回院内感染対策講演会(医療安全管理部と共催)×3回 <ul style="list-style-type: none"> 「2016年度のインシデントを振り返って」 「2016年度の感染症とその対策を振り返って」 ・ 第73回院内感染対策講演会 医療安全管理部・感染制御部合同講演会 <ul style="list-style-type: none"> 「インシデントレポートについて」 「ICTラウンドって何だろうな!？」 ・ 専門領域別看護師研修会①：スタンダードプリコーション」 ・ 専門領域別看護師研修会②：血管内留置カテーテル管理」「尿道留置カテーテル管理」 ・ 看護助手研修：「感染管理の基本について」×4回 ・ 異動後医師研修：「北大病院の感染制御」×2回 ・ 第72回感染対策講演会：「抗菌薬の慣習的投与の背景と患者・医療に及ぼす負の影響について」 ・ 第74回感染対策講演会：「感染性腸炎とインフルエンザ対策」 ・ 静脈注射エキスパートコース認定研修(医療職者)：「静脈注射と感染管理」 ・ 職場復帰プログラム(看護師)： <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度復帰者復帰直前講習『感染対策の実践と最新情報』 ・ 外注職員調理担当食中毒防止講習会：「安全と衛生」「食中毒防止のための手洗い」 	

- ・ 外注職員清掃教育研修会：「病院清掃について」× 2 回
- ・ 院内学級感染対策講習会：「院内感染予防」実習「手洗い」× 3 回
- ・ 院内学級感染対策講習会：「感染対策の基礎知識」
- ・ DVD研修
- ・ eラーニング
 - 「ノロウイルス胃腸炎対策」
 - 「微生物培養検査の検体採取方法」
 - 「インフルエンザ」
 - 「標準予防策」
 - 「標準予防策その 2」
- ・ 部署内研修

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)
- ・ 「感染症のアウトブレイク発生に伴う保健所への報告基準」を制定し、保健所や大学内の報告に係る基準及び方法等について整備済みである。(平成 23 年 6 月 17 日医政指発第 1 号に基づき、平成 23 年 8 月 25 日病院執行会議において承認)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 感染防止対策チームを設置して、院内感染状況、抗菌薬の適正使用、職員の感染防止策等の実施状況の把握と指導を行っている。
 - ・ 耐性菌サーベイランス等、感染症法に基づく院内感染症発生状況の迅速な把握と対応を行っている。
 - ・ 感染防止対策加算 1 を算定する医療機関として、同じく加算 1 を算定する医療機関との相互評価・加算 2 を算定する各連携医療機関とのカンファレンスおよび加算 1 の連携医療施設と加算 2 の連携医療施設（各加算 1 連携医療施設の加算 2 医療連携施設を含む）合同カンファレンスの開催等により道内の医療機関との連携を図っている。
 - ・ 平成 24 年 4 月から、感染制御部専任の医師（医員）1 名を新たに配置した。
 - ・ 感染制御部専任の事務補佐員（非常勤職員）1 名を継続して配置し、平成 24 年 7 月から、事務職員（常勤職員）1 名を配置した。
 - ・ 平成 28 年 11 月から、感染制御部専従の看護師 1 名を新たに配属した。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年10回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 研修医オリエンテーション「処方全般」 開催回数：3回（2017年4月4日、6日、7日）、対象：医師、歯科医師 医薬品に関する講習会「インスリンに関する講習会」 開催回数：1回（2017年8月1日）、対象：全職種 医薬品に関する講習会「危険薬の取扱い」 開催回数：2回（2017年8月23日、8月30日）、対象：看護師、臨床工学士 異動後医師研修「危険性の高い薬剤の取り扱い」 開催回数：2回（2017年6月6日、12月13日）、対象：医師 糖尿病治療薬に関する講習会 開催回数：1回（2017年9月21日）、対象：全職種 医薬品に関する講習会「医薬品等副作用救済制度について」 開催回数：1回（2018年2月13日）、対象：全職種 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成（有） 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>医薬品安全使用に関する手順書</p> <ol style="list-style-type: none"> 医療安全上、注意を要する薬剤リスト <ol style="list-style-type: none"> 特に安全管理が必要なリスト 配合注意・投与ルートで注意を要する注射薬 誤認に注意が必要な薬剤 指示・伝達ルール <ol style="list-style-type: none"> 指示・伝達ルール 口頭指示は原則禁止 内服薬に関する管理基準 <ol style="list-style-type: none"> 内服薬管理基準 薬剤管理指導業務手順書 入院患者の持参薬確認業務手順書 誤調剤に対する調剤室対応手順 注射薬に関する管理基準 <ol style="list-style-type: none"> 注射業務管理基準 注射薬混合調製(ミキシング)手順書 危険性の高い薬剤に関する手順書 <ol style="list-style-type: none"> 危険性の高い薬剤の取扱い手順書 アナフィラキシーショックへの対応 抗凝固・抗血小板療法施行時における出血性合併症および処置・手術時の対応 ビグアナイド系糖尿病薬服薬中のヨード造影剤使用の検査について 抗がん薬に関する手順書 <ol style="list-style-type: none"> 院内がん化学療法要項 がん化学療法実施運用手順書 抗がん薬の投与に関する手順書 抗がん薬被曝防止に関するマニュアル 	

<p>(5) 院内におけるがん化学療法の安全性に関する取り決め</p> <p>(6) 血管外漏出およびアレルギー反応発生時の対応について</p> <p>7) 医療安全情報管理</p> <p>(1) 医療安全性情報管理体制</p> <p>(2) 薬剤部における医薬品情報管理マニュアル</p> <p>8) 医薬品管理</p> <p>(1) 病棟における注射剤管理業務手順書</p> <p>(2) 病棟における薬剤業務基準</p> <p>(3) 麻薬管理取扱い手順書</p> <p>9) インスリン療法マニュアル</p> <p>(1) インスリン療法マニュアル</p> <p>(2) インスリンラインナップ</p> <p>(3) 各製剤の使い方</p> <p>(4) 参考資料</p> <p>10) 医薬品の採用に関する手順書</p> <p>11) 他施設との連携に関する手順書</p>	<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 <p>1) 1%パテントブルー注：悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節生検および、リンパ管静脈吻合術でのリンパ管・リンパ節の同定</p> <p>2) I-131 MIBG注射液：神経内分泌腫瘍の治療（治験対象外となる患者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 医薬品の情報管理体制として、薬剤部における医薬品情報管理手順を作成し、それに基づき、日本医療機能評価機構からの医療安全情報は「医療安全情報」として、医薬品医療機器総合機構（PMDA）からの医療安全情報は「PMDA医療安全情報」「緊急安全性情報」「安全性速報」「PMDAから医薬品適正使用のお願い」としてメールにより診療科・部門に提供している。また、関係機関からの医薬品に関する情報、新聞報道からの事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」にて情報提供とともに現場での業務点検を依頼している。 ・ 医薬品に関するインシデント集計・分析結果により、専門委員会やワーキング等で医薬品に関するインシデント防止対策や講習会内容の検討を行っている。 ・ 未承認薬に関して、未承認新規医薬品等管理部」を設け、当院で使用したことのない医薬品または高度管理医療機器であって「医薬品医療機器法」による承認または認証を受けていないものの提供に関する申請の受理および提供の可否について審査する体制としている。 ・ 適応外使用に関しては、従来から薬剤部においては調剤時に確認・記録を実施している。また、医薬品適応外使用（禁忌含む）の把握と申請の徹底を図るため、ならびに医薬品適正使用に関するワーキンググループが適応外使用等の申請窓口となり、その申請状況を医薬品安全管理体制専門委員会に諮ることとなっている。また、薬剤部においては適応外ならびに禁忌薬使用状況を疑義照会履歴等で定期的に同委員会に報告し、問題がある場合は適宜、委員会から指導を行う体制としている。
---	---

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年67回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1 人工心肺装置・大動脈内バルーンポンプ装置・経皮的心肺補助装置 計8回実施（2017/4/10, 4/19, 6/19, 7/3, 7/10, 7/19, 7/20, 7/31）</p> <p>2 人工呼吸装置 計9回実施（2017/7/11, 8/21, 8/26, 8/27, 9/14, 12/14, 2018/3/14, 3/20, 3/26）</p> <p>3 人工呼吸器安全管理講習会 計6回実施（院内ワーキング認定試験の講習として基礎課程3回を2クール）</p> <p>4 血液浄化装置 計5回実施（2017/6/9, 6/12, 7/27, 9/21, 12/21）</p> <p>5 除細動器・自動体外式除細動器（AED） 計5回実施（2017/6/15, 8/29, 11/8, 11/9, 2018/2/1）</p> <p>6 閉鎖式保育器 計4回実施（2017/9/11, 11/27, 11/30, 2018/2/8）</p> <p>7 輸液ポンプ・シリンジポンプ 計2回実施（2017/6/1, 6/8）</p> <p>8 その他の医療機器 計23回実施（2017/4/10, 4/24, 5/1, 5/8, 5/9, 5/10, 5/11, 5/12, 5/15, 5/22, 6/5, 7/10, 10/4, 11/20, 11/29, 12/4, 12/7, 12/18, 12/25, 2018/1/15, 1/22, 2/5, 2/19） （1-8の研修で延べ人数587人の参加）</p> <p>9 診療用高エネルギー放射線発生装置 計2回実施（2017/11/27, 2018/2/28）</p> <p>10 診療用放射線照射装置 計2回実施（2017/8/21, 10/5）</p> <p>11 陽子線治療装置 計1回実施（2017/12/4）</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定（有）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>電子カルテ内のアプリケーション「ME管理」や「医療機器管理」等を活用し、機種ごとに保守点検計画を策定し、実施及び、実施の確認をしている。</p> <p>【中央管理機器】</p> <p>ME機器管理センターにおける、①使用後の医療機器の清拭と消毒、終業点検を実施、②定期点検は添付文書の記載に基づき計画的（1～12ヶ月）に実施、③故障や不具合発生時は故障点検および修理を行い、必要に応じて現場の使用方法を調査する。院内で対応不能な故障はメーカーに依頼する。</p> <p>【放射線部管理機器】</p> <p>放射線治療機器における、①始業点検、②2回/月以上の出力線量測定、③3ヶ月及び6ヶ月毎に放射線特性及び幾何学的点検、④漏洩線量等の放射線管理に関する測定を実施している。</p> <p>他に製造メーカーと保守契約を結び年間4回の定期メンテナンスを実施している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備（有）</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例：該当なし</p>	

・ その他の改善のための方策の主な内容：

医療機器の情報管理組織として医療機器安全管理責任者を委員長とした医療機器安全管理体制専門委員会を設置・開催し、医療機器の保守管理状況の集約と、適応外使用等を把握している。関係機関やメーカーからの医療機器に関する情報、事故情報などは「緊急情報提供と点検のお願い」等にて各部署に情報提供する。

医療安全管理部から日本医療機能評価機構の医療安全情報を各診療科・中央診療部門のリスクマネージャーに電子メールで配信している。

ME機器管理センターからMEセンターニュースとして医療機器の特性や情報を全診療科、全病棟、外来、中央管理部門に対し二ヶ月に一度、定期配布している。

汎用性のある医療機器のマニュアルを電子カルテ上に表示し、添付文書と取り扱い説明書については電子カルテからアクセスできるようにシステムを作成している。

危険性の高い人工呼吸器と人工心肺装置はeラーニングシステムを構築し活用している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 <p>医療安全管理責任者として、病院長補佐（医療安全担当）（医師）を配置し、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 3名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 薬剤部において、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認の徹底並びに適応外、禁忌等の処方に係る確認等については、薬剤師を指名して同様の業務を実施している。 ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 薬剤部において、医薬品情報の整理、周知及び周知状況の確認の徹底並びに適応外、禁忌等の処方に係る確認等については、薬剤師を指名して同様の業務を実施している。 ・担当者の指名の有無（有） ・担当者の所属・職種： （所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師（室長）） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ） 	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ 有 ） ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：インフォームド・コンセントについては、院内マニュアルに沿って実施し、診療録管理室が現状のモニタリングを行い、指導等を行っている。また、説明する機会も増えていることから、関連部門（各診療科・看護部）・医療安全管理部と協議してマニュアルの改正等（要項を含む）があれば、職員に周知する。 	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録の記載内容の確認について、毎年、各部署の診療録点検を実施し指導している。 また、点検結果をリスクマネジャー連絡会議において報告し、各部署へ周知し、適切に診療録等の管理が行われるようにしている。 	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員：専従（6）名、専任（ ）名、兼任（5）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： 1 医療事故及びインシデント（以下「医療事故等」という。）報告の受理及び分析に関すること。 	

<p>2 医療安全管理委員会の運営並びにその記録等の作成及び保存，その他医療安全管理委員会の庶務に関すること。</p> <p>3 リスクマネジャー連絡会議の運営並びにその記録等の作成及び保存，その他リスクマネジャー連絡会議の庶務に関すること。</p> <p>4 医療安全に関する教育及び研修に関すること。</p> <p>5 医療現場からの医療事故等の相談に関すること。</p> <p>6 医療事故等に関する診療録や看護記録等への記載内容の確認及び指導に関すること。</p> <p>7 医療事故等の発生時における患者又はその家族への対応状況の確認及び必要な指導に関すること。</p> <p>8 医療事故等に対する原因究明の実施状況確認及び必要な指導に関すること。</p> <p>9 医療安全に係る連絡調整に関すること。</p> <p>10 医療安全の確保に資する診療の状況の把握に関すること。</p> <p>11 職員の医療安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。</p> <p>12 その他医療安全対策の推進に関すること。</p> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>
<p>⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（5件）、及び許可件数（3件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有） ・活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 高難度新規医療技術の提供に関する実施申請の受理及び提供の可否について審査すること。 2 高難度新規医療技術の実施における手順等の遵守状況の確認に関すること。 3 その他高難度新規医療技術に関すること。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）
<p>⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有） ・活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1 未承認新規医薬品等の提供に関する申請の受理及び提供の可否について審査すること。 2 未承認新規医薬品等の提供に関する実施状況の確認に関すること。 3 その他未承認新規医薬品等に関すること。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）
<p>⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年217件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年81件

<ul style="list-style-type: none"> ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 1 医療安全管理上の問題が発生した場合の対応並びに原因究明のための調査及び分析に関すること 2 医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施に関すること 3 医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関すること 4 医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握及び必要に応じた方策の見直しに関すること 5 医療安全に関わる職員の教育・研修に関すること 6 医療事故報告等に関する改善のための方策に関すること 7 その他医療事故等に関すること
<p>⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：熊本大学医学部附属病院）） ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：福井大学医学部附属病院）） ・技術的助言の実施状況 1 画像診断レポート等の確認に関する安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に「確認漏れ」を予防するための独自システムを構築している。 ・「通知医の追加」ができるシステムを十分に活用することが望ましい。特に研修医師に周知をするための教育体制の整備が望まれる。 ・今後更に、能動的に「確認漏れ」を調べるシステムの構築をされる予定であり、利用することが望ましい。 2 医薬品安全使用 ①適応外使用②未承認新規 <ul style="list-style-type: none"> ・組織・体制が整備されている。 ・適応外、未承認等の医薬品についての情報収集は行われているが、患者への説明（IC等）が適切にされているかまでの確認については今後の課題。 ・兼任で活動している職員が多いため、責任の所在が明白でないことが不安と感じた。専任で活動できる体制整備が望まれる。 3 高難度新規医療技術部門 <ul style="list-style-type: none"> ・組織・体制が整備され、診療科からの申請もあり、承認の有無も審議され、サイクルが回っていることがわかる。 ・有害事象が発生した場合に速やかに報告され、再審議できるシステムが構築され、実際に機能している。
<p>⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制の確保状況 <p>患者相談室を設置し、医療支援課が対応している。医療支援課長が室長となり、業務を総括している。窓口の周知方法は、外来ホールにポスターを掲示し周知している。なお、医療安全に係る情報は、GRMに連絡し、調査を行う。また、医療支援課と患者相談窓口・医療安全管理部合同会議を月1回開催し、情報を共有している。</p>
<p>⑫ 職員研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施状況 1 医療安全に関する講演会「2016年度のインシデントを振り返って」×3回 2 医療安全に関する講演会「採血・穿刺時の神経損傷予防」 3 医療安全に関する講演会『「群馬大学病院医療事故調査で“私”が学んだこと」-大学病院に期待すること-』 4 医療安全に関する講演会「病院内の自殺事故予防と事後対応、スタッフ・ケア」 5 医療安全に関する講演会「インシデントレポートについて」 6 医療安全に関する講演会「肝炎ウイルスのリスク-HBV再活性化と肝炎陽性者アラートシステムについて」 7 医療安全に関する講演会『法医学からのフィードバック～医療現場における「しまった！」を減らすために～』

8 医療安全の日講演会「説明と記録について～医賠責保険担当者の目から～」

9 医療安全に関する講演会「医療事故調査制度～施行後2年を経過して」

10 医療安全に関する講演会「医薬品等副作用救済制度について」

11 医療安全に関する講演会「平成29年度 歯科インシデントより」

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

医療安全管理責任者，医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者：平成29年度受講済

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

病院長候補者の選考は、医療法第10条に規定する者であって、人格が高潔で、学識に優れ、かつ、組織管理能力等の病院を管理する上で必要な資質及び能力並びに医療の安全の確保のために必要な資質及び能力を有するもの。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ☒ 有 ・ ☐ 無 ）

・ 公表の方法

本学ホームページで公表。

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無

有 ・ ☒ 無

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ 有 ・ 無 ）

・ 公表の方法

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の 関係
笠原 正典	北海道大学理事	○	総長が指名する理事	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
吉岡 充弘	北海道大学大学院 医学研究院		医学研究院長	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
八若 保孝	北海道大学大学院 歯学研究院		歯学研究院長	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
寶金 清博	北海道大学病院		病院長	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
篠原 信雄	北海道大学大学院 医学研究院		医学研究院教授会が推薦する教授	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
畠山 鎮次	北海道大学大学院 医学研究院		医学研究院教授会が推薦する教授	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
鄭 漢忠	北海道大学大学院 歯学研究院		歯学研究院教授会が推薦する教授	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
佐藤 ひとみ	北海道大学病院看 護部長		病院執行会議が推薦する職員	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
保科 豊次	北海道大学病院事 務部長		病院執行会議が推薦する職員	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
中村 隆	札幌総合法律事務 所		学外有識者（弁護士）	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
松村 明	筑波大学医学医療 系脳神経外科学		学外有識者（元他大学病院長）	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
大島 寿美子	北星学園大学		学外有識者（私大教授）	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無

**規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況**

合議体の設置の有無	有		
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理上の問題が発生した場合の対応並びに原因究明のための調査及び分析に関すること。 2 医療安全確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施に関すること。 3 医療安全確保を目的とした方策の職員への周知に関すること。 4 医療安全確保を目的とした方策の実施状況の把握及び必要に応じた方策の見直しに関すること。 5 医療安全に関わる職員の教育・研修に関すること。 6 医療事故報告等に関する改善のための方策に関すること。 7 その他医療事故等に関すること。 <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 病院執行会議 2 リスクマネジャー連絡会議 <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（ 無 ）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（ 無 ）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
寶金 清博	○	医師	病院長
秋田 弘俊		医師	副病院長
北川 善政		歯科医師	副病院長
南須原 康行		医師	医療安全管理責任者／医療安全管理部長
根岸 淳		歯科医師	医療安全管理部副部長
岡林 靖子		看護師	ゼネラルリスクマネジャー
本田 秀子		看護師	ゼネラルリスクマネジャー
沖 洋充		薬剤師	ゼネラルリスクマネジャー
石田 晋		医師	手術部長
武富 紹信		医師	物流管理センター部長
遠藤 晃			医療情報企画部長
本間 明宏		医師	ME機器管理センター部長
井関 健			薬剤部長／未承認新規医薬品等管理部長

佐藤 ひとみ		看護師	看護部長
澁谷 斉		臨床検査技師	医療技術部長
石黒 信久		医師	感染制御部長
篠原 信雄		医師	高難度新規医療技術管理部長
佐藤 典宏		医師	臨床研究開発センター長
平野 聡		医師	臨床研修センター長
保科 豊次		事務	事務部長
坂本 直哉		医師	消化器内科教授
豊嶋 崇徳		医師	血液内科教授
八若 保孝		歯科医師	小児・障害者歯科教授

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有・☒無 ）
- ・ 規程の主な内容
病院長は、副病院長を総長へ推薦、病院長補佐を指名、診療科長、中央診療施設等の長を命ずる権限を有している。
病院執行会議、病院経営委員会、病院教員人事委員会等病院の管理運営・経営・人事に係る重要な会議において議長となり議決している。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
副病院長（医科担当）は、医科診療科の総括及び他部署との連絡調整を行い、副病院長（歯科担当）は、歯科診療科の総括及び他部署との連絡調整を行い、副病院長（業務運営担当）は、中央診療施設等及び医療技術部の総括並びに他部署との連絡調整を行っている。

また、病院長補佐（総務担当、手術部・地域医療担当、教育担当、歯科担当、国際担当、研究担当、医療安全担当、病院経営担当、看護部担当、経営戦略担当、経営・事務担当）は、病院長が特に命じた事項について、企画及び立案並びに病院に各部署間の連絡調整を行っている。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
本院職員のうち、長年職務に精通し、経験豊富な者から人選する。研修は今後実施予定。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					有
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1 北海道大学病院の医療に係る安全管理の業務執行の状況について、北海道大学病院長等から報告を求め、又は必要に応じて確認を実施すること。</p> <p>2 病院の医療に係る安全管理について、北海道大学総長及び病院長に報告し、必要に応じて是正措置を講じるよう意見を述べること。</p> <p>3 前 2 号に掲げる業務について、その結果を公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有 ）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（ 有 ）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（ 有 ）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）</p> <p>・ 公表の方法：北海道大学ホームページ</p>					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
大島寿美子	北星学園大学		医師・患者関係に精通	無	2
加藤紘之	斗南病院		医療安全に精通	無	1
中村 隆	札幌総合法律事務所	○	法律に精通	無	1
橋本暁佳	札幌医科大学		医療安全に精通	無	1
生駒一憲	北海道大学病院		医療を提供する者	有	3
				有・無	

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
既存の大学規程や内部規程で対応。
- ・ 専門部署の設置の有無（ 有・☒ ）
- ・ 内部規程の整備の有無（ 有・☒ ）
- ・ 内部規程の公表の有無（ 有・☒ ）
- ・ 公表の方法

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <p style="margin-left: 40px;">病院の管理運営に関する状況を点検する会議体を設置，委員については選考中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議体の実施状況（ 年 回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（ 年 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・<input checked="" type="checkbox"/> ） ・ 公表の方法 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：北海道大学病院管理運営協議会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
選考中	(医療に係る識見を有する者)		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
選考中	(法律に関する識見を有する者)		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
選考中	(病院の管理及び運営に関する識見を有する者)		有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ）・ 通報件数（年 16 件）・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ）・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ）・ 周知の方法
リスクマネジャー連絡会議
医療安全管理委員会
研修会等

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	④・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構、平成26年 1 月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
・情報発信の方法、内容等の概要 広報誌及びウェブサイトにて、本院の理念と目標、地域の中核としての役割、先進的な医療に関する情報提供などを行っている。 また、市民公開講座を主催し、地域社会へ医療に関する最新情報の提供を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 診療科間の連携についてのルールが整備されており、他診療科への受診依頼、依頼先においての検査結果等の患者情報が電子カルテを通して共有されている。患者の情報が不足している場合は補足説明を電話で直接行う等により緊密かつ緊急に連携できる体制を整えている。	